Victor

"HIS MASTER'S VOICE"

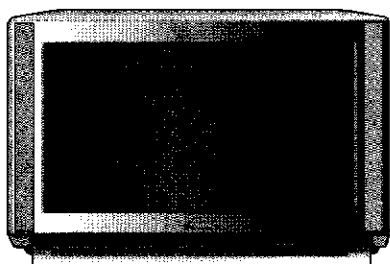
取扱説明書

BSチューナー内蔵
フラットワイドテレビ

型名 **AV-28MP900**
AV-32MP900

目次は6、7ページです。

⚠ご使用の前に**安全上のご注意**（2～5ページ）を必ずお読みください。

There are important safety precautions on pages 2 to 5 in this instruction booklet. Please have someone who reads Japanese explain them to you.

お買い上げいただきありがとうございます

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そしてお読みになったあとは、後日役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管してください。

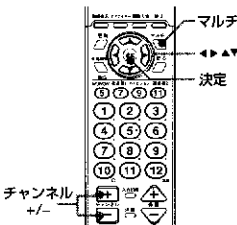
この取扱説明書の読みかた／使いかた

2. 操作で使うボタン位置を確認します。
このページの操作で使うボタンの位置を示しています。

知っておくと、便利。そんな情報が書いてあります。

お願い：この絵表示があるときは、必ず従ってもらいたい「お願い」が書いてあります。

裏番組を見る

現在ご覧になっている番組（ビデオ）のほかに、3つの番組を画面に映して、その中から好きな番組を選びます。

メモ

裏番組画面を表示中に静止ボタンを押すと

もう1度静止ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

次のようなときは裏番組画面にすることはできません。

次の映像は裏番組内の画面には表示されません。

裏番組表示中は、次の操作はできません。
- 2つ以上のBS放送の映像を映す。
- ビデオからの映像を右画面に映す。

裏番組表示中は…

1 マルチメニューを表示する
次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印を「裏番組」に合わせて、決定ボタンを押す

3 操作画面を変更する

4 見たい裏番組を探す

5 裏番組を1画面で映す

20

1. 数字の順番に操作していきます。
実際の操作と使うボタンを示しています。

3. この通りの結果が得られれば、そこまでの操作には間違いがないということです。
操作の結果を示しています。

安全上のご注意

「安全上のご注意」の絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵（マーク）が表示されています。
これらは、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、死亡したり重傷を負うことが想定される内容です。十分注意してください。

この絵表示（文字含む）は、そこに書かれていることを無視すると、傷害を負ったり、物的損害が想定される内容です。十分注意してください。

絵表示の説明

●注意（警告を含む）が必要なことを示す記号

一般的注意

指をはさまれないよう注意

感電注意

●してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

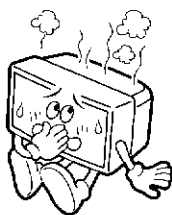
禁止

水場での使用禁止　ぬれ手禁止

分解禁止

接触禁止　水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為（強制・指示行為）を示す記号

プラグをコンセントから抜く

万一、次のような異常が発生したときは

●煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。
●画面が映らない、音が出ないなどの故障のとき。
●テレビの内部に水や物が入ってしまったとき。
●テレビを落としたり、キャビネットが破損したとき。

このようなときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、（煙などが出ていたときは、それが出なくなったことを確かめてから）販売店に修理を依頼してください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
なお、お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

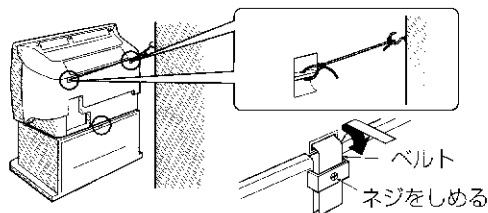
転倒防止の処置をしてください

地震などの非常時の安全確保と、事故を防止するために、次のような処置をしてください。

製品専用のテレビ台を使用するとき

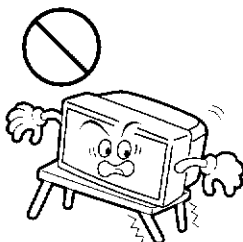
転倒防止用部品を使って固定してください。

壁や柱などに固定するとき

テレビ後面左右の穴を利用し、市販の丈夫なひもなどで結んでください。柱や壁は、確実に固定できる場所を選んでください。

※説明図は実際の外観と異なることがあります。

⚠警告　設置するときの警告

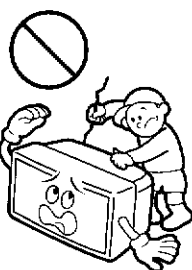
●不安定な場所に置かない

ぐらついている台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする原因となります。

●指定の電源電圧（交流100V）以外で使用しない

表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

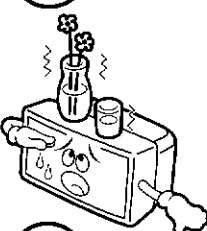
警告　使用するときの警告

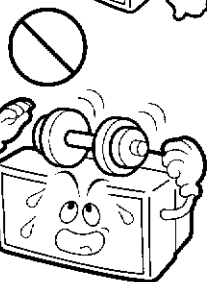
●テレビ内部に物を入れない

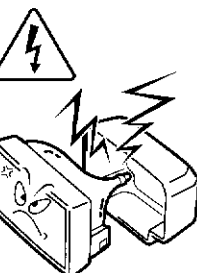
金属や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

●テレビに水をかけない

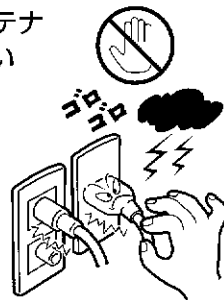
風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

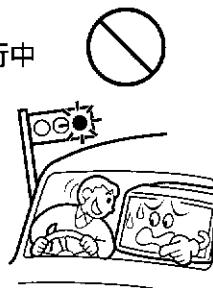
水などの入った容器（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、テレビの上に置かないでください。

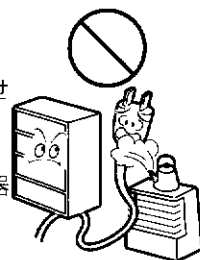
また、雨天、降雪中、海岸、水辺での使用中はご注意ください。

●テレビの上に物を置かない

重いものを置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

●テレビの裏ぶたは外さない

テレビ内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

●自動車などの運転中や歩行中はテレビを見ない

交通事故や転倒の原因となります。

●電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードを加工したり・無理に曲げたり・ねじったり・引っ張ったり、電源コードを熱器具に近づけたりしないでください。火災・感電の原因となります。

電源コードが切れたり、芯線が出たりしたときは、販売店に電源コードの交換を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠警告　使用するときの警告（つづき）

●テレビを改造しない

火災・感電の原因となります。

●ボタン電池の取り扱いに注意する（ボタン電池使用機器の場合）

ボタン電池は幼児の手の届かないところへおいてください。万一、お子様があやまって飲みこんだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意　設置するときの注意

●次のような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くまた、直射日光の当たるところに置くと、キャビネットやブラウン管が変質することがあります。

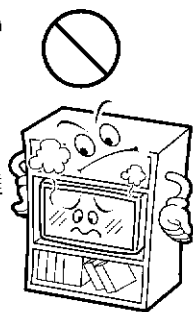
●テレビの通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げませんので、火災の原因となることがあります。次のことにご注意ください。

- 壁や家具などから10cm以上離す
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- あお向け、横倒し、逆さまにしない

●移動するときは接続コード類を外す

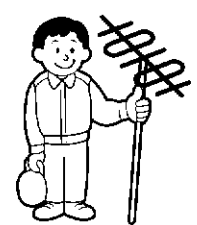
コードを傷つけますので、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線などの接続コードをはずしてください。コードに傷がつくと、火災・感電の原因となることがあります。

また、テレビは重いので必ず2人以上で持ってください。

●キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスター止め（受け皿など）で動かないようにしてください。けがの原因となることがあります。

●アンテナ工事は販売店に依頼する

技術と経験が必要ですので、販売店に依頼してください。

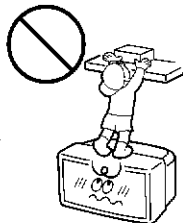
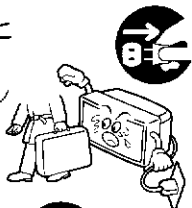
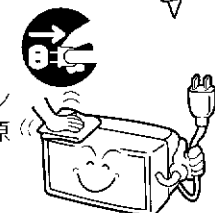
- 倒れても電線に触れない場所に設置するよう依頼してください。感電の原因となることがあります。
- BS、CS放送用アンテナは、風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けるよう依頼してください。

⚠注意　使用するときの注意

●**テレビに乗らない**
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

●**長期間テレビを使用しないときは、電源プラグを抜く**
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

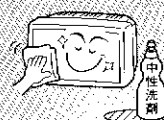
●**お手入れをするときは電源コードを抜く**
安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

●**電源コードは電源プラグを持って抜く**
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。
また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●**電源プラグのほこりに注意する**
電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると火災の原因になります。定期的に電源プラグを抜き掃除してください。

●**カセットテープの挿入口から手や物を入れない（ビデオ内蔵テレビの場合）**
内部の機構で手が挟まれます。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

●**レーザー光源をのぞきこまない（ビデオCD内蔵テレビの場合）**
レーザー光が目に当たると視力障害を起す原因となることがあります。

●**5年に一度はテレビ内部の掃除を販売店に依頼する**
テレビの内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

●**乾電池の使い方に注意する**
電池は間違った使い方をすると、破裂したり液がもれて、火災・けが・故障・周囲の汚損の原因となることがあります。次のことにご注意ください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 電池ケースのプラス（＋）とマイナス（－）の表示どおりに入れる
- 指定された電池以外は使わない

お手入れのしかた

●**キャビネットやブラウン管面の汚れは**
柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

●**キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。**
- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

目次

お使いになる前に

ふだんの操作

チャンネル設定

BSの設定

AV機器の接続

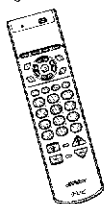
設置・接続後の設定

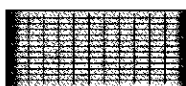
ご参考に

テレビを見る前に

次の準備はお済みですか？　まだでしたら、参照ページをご覧になり準備を済ませてください。

1 付属品を確認する

万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

リモコン

単3電池2本
（動作確認用）

局名シール

アンテナコネクター

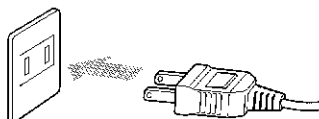
2 アンテナをつなぐ

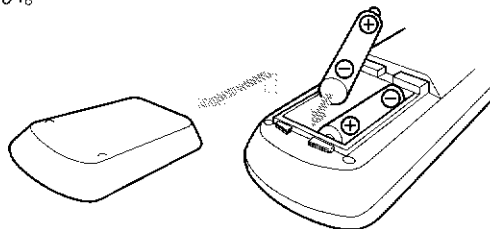
- VHF、UHFアンテナをつなぐには（☛P.34）
- BSアンテナをつなぐには（☛P.44）
- CATVケーブルをつなぐには（☛CATV各社にお問い合わせください。）

3 AV機器などをつなぐ

- ビデオデッキ、MUSUデコーダーなどのビデオ機器をつなぐには（☛P.51～P.67）
- テレビゲーム機をつなぐには（☛P.51）
- アンプ（オーディオシステム）をつなぐには（☛P.68）
- ノートパソコンをつなぐには（☛P.69）

4 電源プラグを差し込む

電源プラグをコンセント（交流100V）に差し込みます。

5 リモコンに電池を入れる

単3乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池の⊖（マイナス）側を先に入れてください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 長期間使用しないときは取り出しておいてください。
- 電池はふつうの使いかたで、6か月から1年間使えます。
  ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなることがあります。操作しにくくなったら交換してください。

6 地磁気による影響を減らす

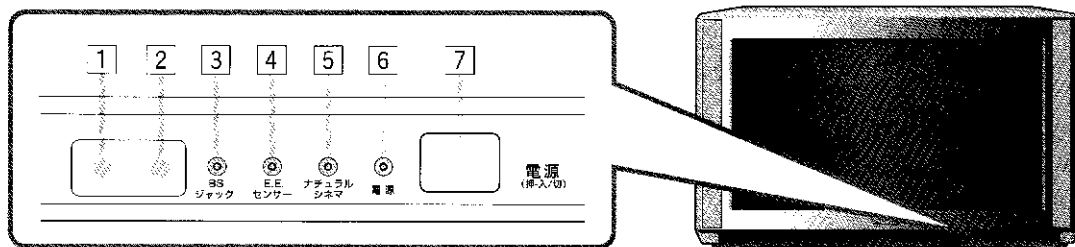
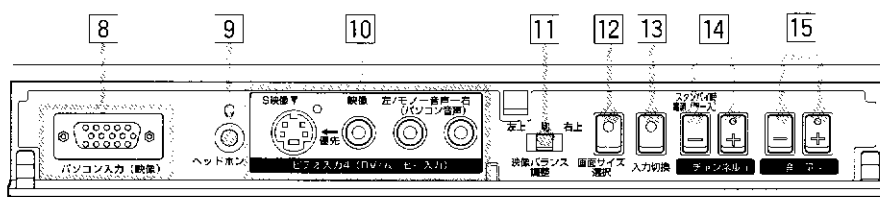
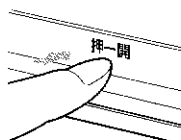
大型テレビは地球による磁気の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁気による影響をなるべく少なくしてからお使いください。

- 地磁気による影響を少なくする（☛P.80）
- 映像バランスを調整する（☛P.81）

7 受信チャンネルを合わせる

- 地域の放送局を一括して設定するには（☛P.36）
- 放送局をひとつずつ設定するには（☛P.38）
- CATVを見るには（☛P.40）
- BSチャンネルの設定を変更するには（☛P.48）

各部のなまえとはたらき

本体前面

1 **リモコン受光部**
リモコンで操作するときは、リモコンの先端をここに向けます。

2 **E.E.センサー（☛P.22）**
E.E.センサーが「入り」のときに、周囲の明るさを感知する部分です。

3 **BSジャックランプ（☛P.32）**
BSジャックが「入り（BS固定）」のときにオレンジ色に点灯します。

4 **E.E.センサーランプ（☛P.23）**
E.E.センサーが「入り」のときに緑色に点灯します。

5 **ナチュラルシネマランプ（☛P.25）**
ナチュラルシネマが「入り」のときに緑色に点灯します。

6 **電源ランプ（☛P.14）**
本体の電源が入っているときに赤く点灯します。

7 **電源ボタン（☛P.14）**
電源を入り／切りします。

8 **パソコン入力（映像）端子（☛P.69）**
本機でノートパソコンの映像を見るときに、ノートパソコンの映像出力端子とつなぎます。

9 **ヘッドホン端子（☛P.14）**
ヘッドホンをつなぎます。

10 **ビデオ入力4（DV/ムービー入力）端子（☛P.51）**
ビデオムービーやテレビゲーム機の映像と音声などをつなぎます。（S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子の入力信号が優先されます。）

11 **映像バランス調整スイッチ（☛P.81）**
映像バランスを調整するときに使います。

12 **画面サイズ選択ボタン（☛P.17）**
画面サイズを選ぶときに使います。

13 **入力切換ボタン（☛P.15）**
入力を切り換えるときに使います。

14 **チャンネル＋／－ボタン（☛P.15）**
チャンネルを変えるときに使います。
- **リモコンの電源ボタンでテレビの電源を切ったときは、－ボタンを押して電源を入れます。**

15 **音量＋／－ボタン（☛P.14）**
音量を調節するときに使います。

本体後面

入力
S映像
S1
優先
映像
音声
左
右
左/モノ
ビデオ3
DVD
音声入力
ビデオ2
BS/MUSE
デコーダー入力
ビデオ1
W-VHS
音声入力
BSデコーダー入力として
使用する場合はメニュー
(BSデコーダー入力設定)
で設定してください。
音声
右
左
オーディオ出力
(固定)
モニター
BS出力
映像
ビデオ2
MUSE
デコーダー
入力
コンポーネント映像入力
Y
PB
PR
音声
映像
入力
D3入力(ビデオ5)
BSデジタルアダプター入力
BSアンテナ入力
BSコンバーター
電源重畳
DC15V
最大4W
VHF/UHF
アンテナ入力
AV
コンピュリンクII
検波出力
ビットストリーム出力
AFC入力
BS/
MUSE
デコーダー
接続
PB/CB
PR/CR
ビデオ3
DVD
ビデオ1
W-VHS
コンポーネント映像入力
ご注意:
●コンポーネント映像入力からの信号はモニター出力されません。
●ビデオ1入力からの信号はモニター出力されません。(ただし、メニュー設定で出力することができます。)
●BS出力として使用する場合には、BSジャックを使用してください。(ただし、S1映像端子からの映像信号は出力されません。)
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

1 **ビデオ3／DVD音声入力端子**
(☛P.56)
ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの映像・音声出力端子をつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。)

2 **オーディオ出力(固定)端子(☛P.68)**
AVアンプなどの音声入力端子とつなぎます。

3 **モニター／BS出力端子(☛P.52)**
モニター出力端子として使うときは、ビデオデッキの映像・音声入力端子とつなぎます。(テレビに映っている映像・音声信号を出力します)。
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1/W-VHS端子、ビデオ2/MUSEデコーダー、ビデオ3/DVD端子)から入力した信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- D3入力(ビデオ5)端子から入力した映像信号は、モニター出力端子からは出力されません。
- 2画面中、裏番組中、番組一覧中や静止画面表示中は、S映像端子からは出力されません。

BS出力端子として使うときは、BSの映像・音声信号を出力します。(このとき、BSの映像信号はS映像端子からは出力されません。)

4 **BSアンテナ入力端子(☛P.44)**
BSアンテナをつなぎます。

5 **VHF/UHFアンテナ入力端子(☛P.34)**
VHF、UHFのアンテナをつなぎます。

6 **BS/MUSEデコーダー接続端子(☛P.55、58、60～62、65)**
BSデコーダーを接続するときは、BSデコーダーのビットストリーム入力端子と検波入力端子とつなぎます。
MUSEデコーダーを接続するときは、MUSEデコーダーの検波入力端子とAFC出力端子とつなぎます。

7 **AVコンピュリンクII端子(☛P.52、56、57、64)**
AVコンピュリンクII対応のビデオデッキをつなぎます。
- この端子を使うときは、メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を「使用する」に設定してください。(☛P.73)

8 **ビデオ2／BS／MUSEデコーダー入力端子**
(☛P.55、58、60～62、65)
ビデオ2入力端子として使うときは、ビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。
BSデコーダーやMUSEデコーダーの入力端子として使うときは、BSデコーダーやMUSEデコーダーの映像・音声出力端子をつなぎます。

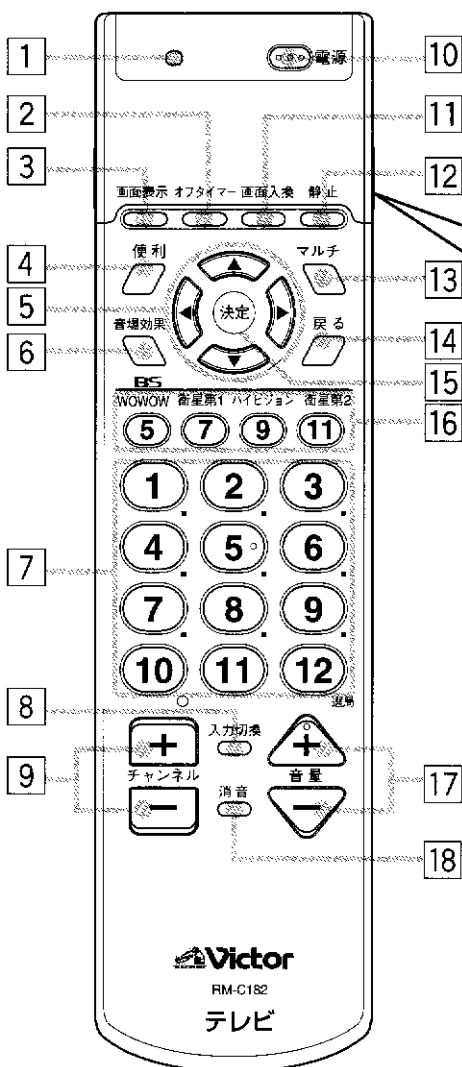
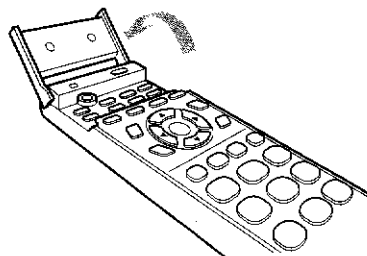
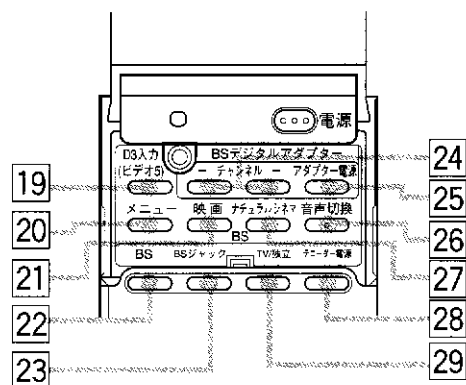
9 **ビデオ1／W-VHS音声入力端子**
(☛P.52、54、58)
W-VHSデッキやビデオデッキなどの映像・音声出力端子をつなぎます。(S映像端子と映像端子が同時に使われたときは、S映像端子からの入力信号が優先されます。)

10 **コンポーネント映像入力:ビデオ2/MUSEデコーダー入力端子(☛P.60～62、65)**
MUSEデコーダーのコンポーネント映像出力端子(Y、P_B、P_F)とつなぎます(音声はビデオ2入力端子と共用)。

11 **BSデジタルアダプター入力:D3入力(ビデオ5)端子(☛P.67)**
BSデジタルアダプターなどのD端子をもった機器とつなぎます。

12 **コンポーネント映像入力:ビデオ1/W-VHS端子(☛P.64)**
W-VHSデッキのコンポーネント映像出力端子(Y、P_B、P_R)とつなぎます(音声はビデオ1入力端子と共用)。

13 **コンポーネント映像入力:ビデオ3/DVD端子(☛P.56)**
DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子(Y、C_B、C_R)とつなぎます(音声はビデオ3入力端子と共用)。

リモコン

ふたの開けかた

■ふたを開けたとき：

1 **操作ランプ**
リモコンのボタンを押すと点滅します。ランプが暗くなり、操作しにくくなったら電池を交換してください。

2 **オフタイマーボタン(☛P.15)**
電源を一定時間後に自動的に切りたいときに使います。

3 **画面表示ボタン(☛P.14)**
チャンネル番号などを画面に表示するときに使います。

4 **便利ボタン**
便利メニュー(画面サイズ、映像選択、おトク)を使うときに使います。

5 **カーソルボタン**
メニューの項目を選ぶときや設定を変えるときに使います。

6 **音場効果ボタン(☛P.30)**
スペシャライザーを使って音場効果を高めたいときに使います。

7 **チャンネルボタン(☛P.15)**
VHF、UHF、CATV放送のチャンネルを選ぶときに使います。

8 **入力切換ボタン(☛P.15)**
ビデオ機器の映像を見るときに使います。ご覧になるビデオ機器の番号(ビデオデッキをつないだ入力端子の番号)を選びます。

9 **チャンネル+/ーボタン(☛P.15)**
チャンネルを変えるときに使います。

10 **電源ボタン(☛P.15)**
テレビの電源を入り/切りするときに使います。

11 **画面入換ボタン(☛P18)**
2画面中に左右の画面を入れ換えるときに使います。

12 **静止ボタン(☛P.19)**
映像を静止して見るときに使います。

13 **マルチボタン**
マルチメニュー(2画面、裏番組、番組一覧)を使うときに使います。

14 **戻るボタン**
前のメニュー画面に戻りたいときに使います。

15 **決定ボタン**
メニュー画面で選んだ項目を確定するときに使います。

16 **BSチャンネルボタン(☛P.15)**
BS放送のチャンネルを選ぶときに使います。

17 **音量+/ーボタン(☛P.14)**
音量を調節するときに使います。

18 **消音ボタン(☛P.14)**
急いで音を消すときに使います。

19 **D3入力(ビデオ5)ボタン(☛P.33、67)**
本機後面のD3入力(ビデオ5)端子に接続したBSデジタルアダプターなどの機器の映像を見るときに使います。

20 **メニューボタン**
設定メニューを使うときに使います。

21 **映画ボタン(☛P.25)**
映画番組や映画ソフトを見るときに使います。

22 **BSボタン(☛P.15)**
チャンネルボタン(0(10)~9)でBSチャンネルを選ぶときに使います。

23 **BSジャックボタン(☛P.32)**
BS放送を録画するときに使います。

24 **BSデジタルアダプター チャンネル+/ーボタン(☛P.33)**
ビクター製BSデジタルアダプターのチャンネルを切り換えるときに使います。

25 **BSデジタルアダプター アダプター電源ボタン(☛P.33)**
ビクター製BSデジタルアダプターの電源を入り/切りするときに使います。

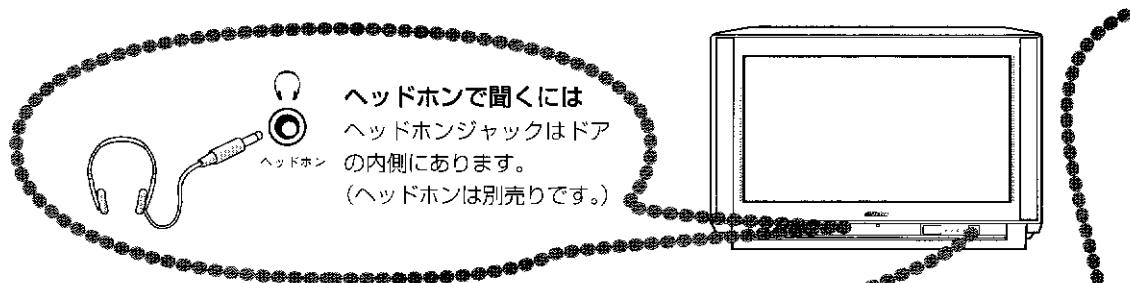
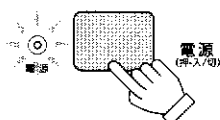
26 **音声切換ボタン(☛P.30)**
二重音声放送やステレオ放送の音声を選ぶときに使います。

27 **ナチュラルシネマボタン(☛P.25)**
映画番組や映画ソフトまたは、アニメ番組を見るときに使います。

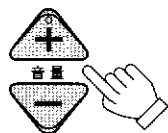
28 **デコーダー電源ボタン(☛P.55、59、66)**
BSデコーダーの電源を入り/切りするときに使います。

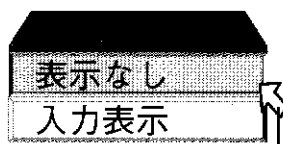
29 **TV/独立ボタン(☛P.30)**
BS放送の独立音声を聞きたいときに使います。

テレビを見る

この取扱説明書ではリモコンを使っての操作を説明しています。
テレビ本体にある同じ名前のボタンでもリモコンと同じように操作できます。

1 待機状態にする

電源ランプが赤く点灯します。

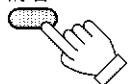
2 電源を入れる

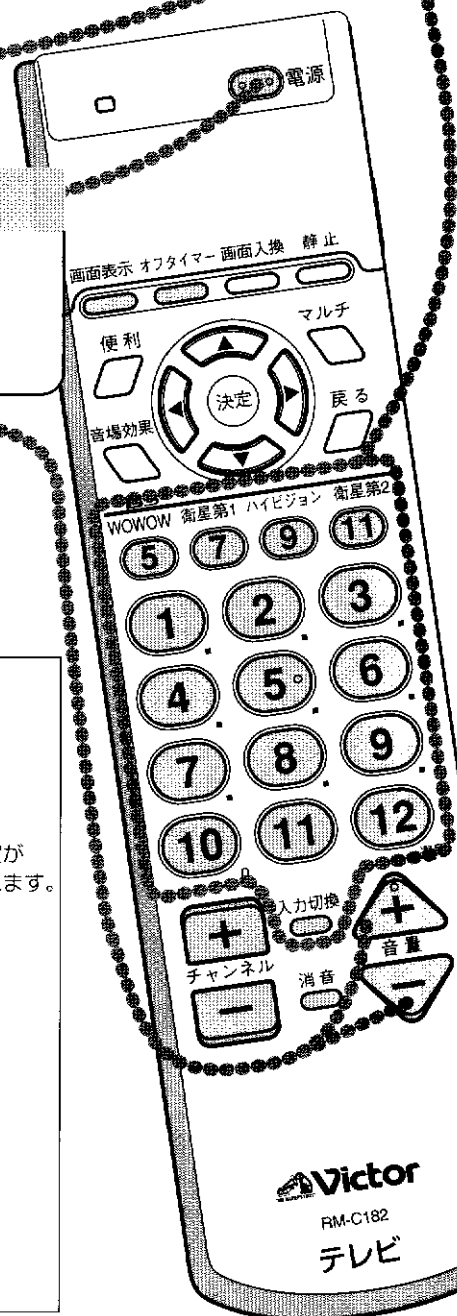
3 音量を調節する

いろいろな表示を出すには

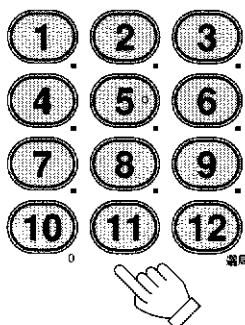
チャンネル番号、ビデオなどの外部入力表示(「入力表示」)などを画面に出したままにするときに使います。

選択中の設定が矢印で示されます。

● 映像が映っていないときは、チャンネル番号やビデオ入力番号などの表示を消すことはできません。

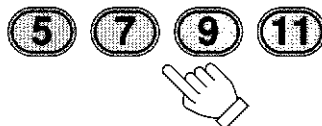
1度押すと、現在の設定が表示されます。その後押すたびに、入力が次のように切り換わります。
「表示なし」→「入力表示」→「表示なし」→…。

急いで音を消すには

電話がかかってきたときなど、一時的に音を消します。もう1度押すと、元の音量に戻ります。

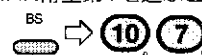
消費電力0W機能搭載：テレビ本体の電源ボタンを押し電源を切ると、コンセントから電源プラグを抜いた状態と同じになり、一切電力を消費しません。節電のために本機能のご利用をお勧めします。

4 チャンネルを選ぶ

VHF/UHF/CATV放送を見るとき：

チャンネルを順番に選ぶには
チャンネル＋／－ボタンを押します。

BS放送を見るとき：

WOWOW 衛星第1 ハイビジョン 衛星第2

次の操作でも選べます。

1 リモコンのふたを開け、**BS**ボタンを押す
2 0(10)から9ボタンを押して、BSチャンネルを選ぶ

例1：NHK衛星第1を選ぶとき
BS ⇨ (10)(7)

例2：NHK衛星第2を選ぶとき
BS ⇨ (1)(1)

ビデオを見るとき：

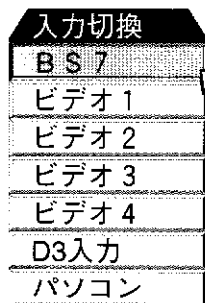
入力切換

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

「テレビ(VHF/UHF/CATV/BS)」→「ビデオ1」→「ビデオ2」→「ビデオ3」→「ビデオ4」→「D3入力」＊→「パソコン」→「テレビ」→…。

入力切換
BS 7
ビデオ 1
ビデオ 2
ビデオ 3
ビデオ 4
D3入力
パソコン

選択中の設定が矢印で示されます。

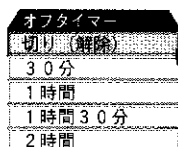
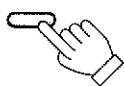
設定メニューの「BS設定」で「ビデオ2へのBSデコーダー入力」(☛P.70)が「使用する(自動切換)」または「使用する(固定)」になっているときは、「ビデオ2」は選べません。

＊D3入力とは？
BSデジタル放送をご覧になるときに選びます。(☛P.33、67)
● BSデジタルアダプターが本機に接続されていないときは、選べません。

5 電源を切る

リモコンの電源ボタンを押し、電源を切ります。次に電源を入れるときは、リモコンの電源ボタンを使います。本体の電源ボタンでは、電源を入れることはできません。

電池が消耗し、リモコンの電源ボタンを押しても、電源が入らないときは
本体の**チャンネル－(スタンバイ時 電源)**ボタンを押してください。テレビの電源を入れることができます。

おやすみタイマーを使う

テレビを見ながら寝てしまいそうなとき使います。設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。

選択中の設定が矢印で示されます。

1度押すと、設定画面を表示します。その後押すたびに、設定時間が変わります。
設定後しばらくすると、画面に残り時間が表示されます。

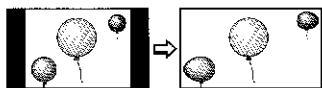
残り時間表示
残り時間はテレビの操作をすると消えます。
ただし、動作3分前になると、残り時間が強制的に表示されます。

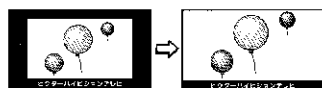
再設定あるいは解除するには
オフタイマーボタンを押し、設定時間を表示してから、時間を選び直してください。

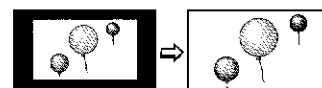
ワイド画面で楽しむ

画面サイズについて

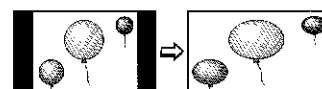
ご自分の好みやご覧の番組に適した画面サイズで映像をお楽しみください。
画面サイズを変更するには、次のページをご覧ください。

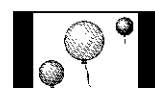
「パノラマ」サイズ

従来のテレビサイズの映像を、不自然に見えないように拡大した映像です。

「字幕パノラマ」サイズ

下側に字幕の入った映画番組の字幕部分を圧縮して、字幕が切れないようにします。

「シネマ」サイズ

劇場サイズの映画番組や映画ソフトをそのまま拡大した映像です。

「フル」サイズ

従来のテレビサイズの映像をそのまま横に拡大し、画面いっぱいに映します。

● MUSEデコーダーをつないでハイビジョン放送をご覧のときは、画面サイズは自動的に「フル」になります。画面サイズは変更できません。

「ノーマル」サイズ

従来のテレビサイズ(4:3)の映像です。

お願い

画面サイズのご利用について

ワイド画像でない従来(通常)の4：3の映像を「パノラマ」、「字幕パノラマ」、「シネマ」サイズでご覧になると、周辺画像の一部が見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、「ノーマル」サイズでご覧になれます。

映像の見え方について

このテレビは各種の画面サイズ選択機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。

著作権の侵害について

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、画面サイズ選択機能(パノラマ)等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

「ノーマル」サイズで視聴する場合のご注意

長時間「ノーマル」サイズでご覧になると、画面の左右に帯びが残る「焼きつき」が発生しやすくなります。
また、非常に明るい画面で視聴すると、さらに焼きつきが発生しやすくなります。

パソコンの映像を見ているときは
「フル」または「ノーマル」のみ選ぶことができます。

コンポーネント映像端子につないだW-VHSデッキの映像を見ているときは
画面サイズとして、「サイズ1」または「サイズ2」を選ぶことができます。
通常は「サイズ1」にしておきます。

BSデジタル放送(☛P.33、67)を見ているときは(D3入力を選んでいるとき)
- 480pの映像信号を受信しているときは、「シネマ」、「フル」または「ノーマル」の中から選ぶことができます。
- 1080iの映像信号を受信しているときは、自動的に「サイズ2」になります。

「オートパノラマ」のときは
「パノラマ」(または「ノーマル」)、「シネマ」、「字幕パノラマ」の中から最適な画面サイズが自動的に設定されます。
- 「パノラマ」サイズになるか「ノーマル」サイズになるかは、設定によります。詳しくは、「オートパノラマでふつうの映像を見るときの画面サイズを設定する」(☛P.75)をご覧ください。
- 黒帯のある映画や暗い映像では、判別のために数秒間かかることがあります。
- 暗いシーンなど、映像によっては動作しないことや、途中で画面サイズが切り換わることがあります。このときは、「オートパノラマ」以外の画面サイズを選んでください。画面サイズが固定されます。

ワイドクリアビジョン放送*を受信すると
画面サイズは自動的に「シネマ」に切り換わります。

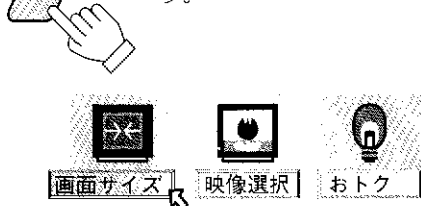
(*「用語解説」☛P.94)

画面サイズを選ぶ

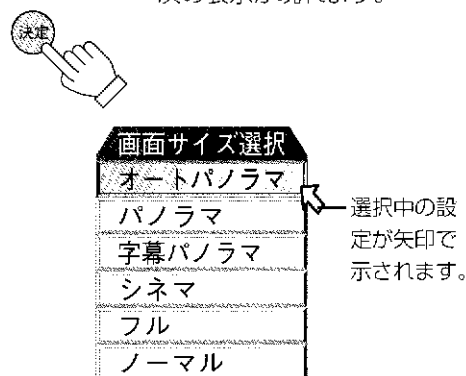
ご覧になっている映画や番組に合わせて、最適な画面サイズを選びます。

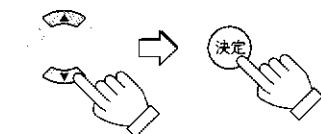
1 便利メニューを表示する

便利

次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印が「画面サイズ」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す

次の表示が現れます。

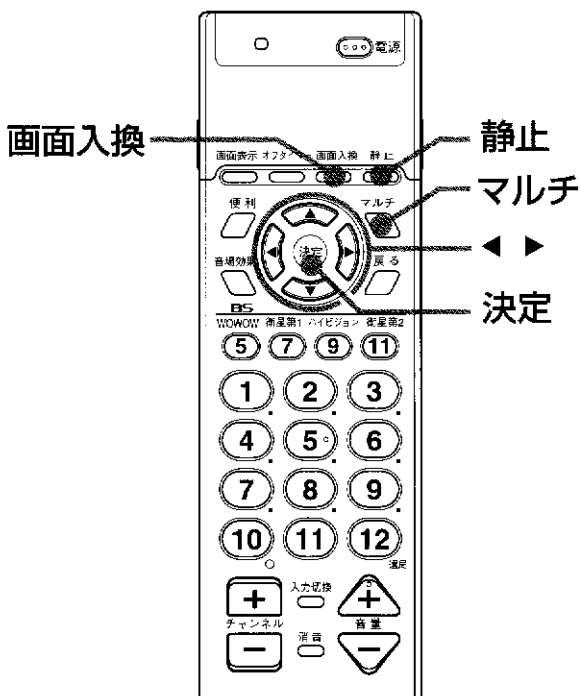
選択中の設定が矢印で示されます。

- 画面サイズ選択の表示項目は、映像により変わります。

3 最適な画面サイズを選ぶ

- **決定**ボタンを押さなくても、約5秒後には自動的に表示は消えます。

本体のボタンで操作するときは

画面サイズ選択ボタンを繰り返し押します。
1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびに画面サイズが切り換わります。

2画面で楽しむ

2つの画面に、異なるチャンネルの番組や、ビデオの映像を映して、同時にお楽しみいただけます。
映像を静止したときも、2画面になります。

2画面中にヘッドホンをつなぐと…

スピーカーからは左画面の音声、ヘッドホンからは右画面の音声が聞こえてきます。(ヘッドホンからのテレビ放送の音声はモノラル音声になります。)

- **ヘッドホンを接続中に2画面にすると、**左画面の音声はスピーカーから聞こえなくなります。左画面の音声を聞きたいときは、操作画面を左画面にしてから、**音量＋／－**ボタンを押し、音量を上げてください。

次のような2画面表示はできません。

- 左右の画面に同じチャンネルや同じビデオ入力の映像を映す。(また、ビデオ3とビデオ4の映像を同時に映すこともできません。)
- 左右の画面で同時にBS放送を見る。
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1～3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を映す。

2画面中は…

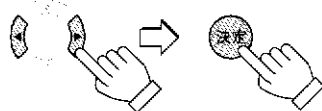
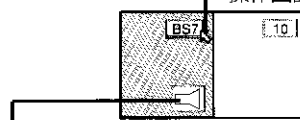
オートパノラマ(☛P.17)は使えません。

2画面にする

今見ている映像と異なる番組などの映像を、2画面で見ることができます。

1 マルチメニューを表示する

次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印を「2画面」に合わせて、決定ボタンを押す

2画面のときは、操作画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。

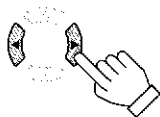
左右の画面を入れ換えるには

2画面中に

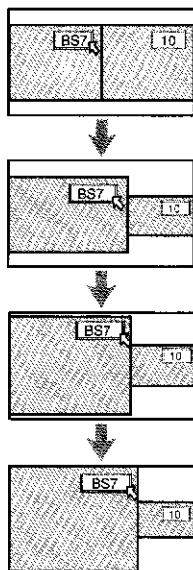
押すたびに、左右の画面が入れ換わります。操作画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。

操作画面を変えるには

2画面にしたときは、左画面が操作画面になっています。2画面中にどちらの画面を操作するかを選べます。

2画面中に

操作画面の音声がスピーカーから聞こえてきます。

操作画面を拡大するには

2画面中に

例:左画面を拡大するとき

- 左画面を操作画面にして、◀ボタンを繰り返し押します。
- 右画面を操作画面にして、▶ボタンを繰り返し押します。

押すたびに、操作画面が大きくなります(3段階)。

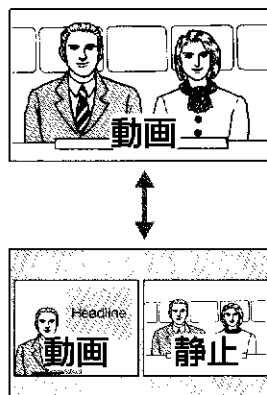
1画面に戻すには

2画面中に**決定**ボタンを押します。操作画面の映像が1画面になります。

- 次の方法でも1画面に戻せます。
  1. 2画面中に**マルチ**ボタンを押し、マルチメニューを表示する
  2. 矢印が「**1画面**」に合っていることを確認して、**決定**ボタンを押す

メモ機能を使う(静止画)

今見ている映像を静止して、2画面表示で見ることができます。
応募先の住所などをメモするときに、あわてる心配がありませんので便利です。

2画面になり、右画面に静止画が映ります。

元の画面に戻すには、もう1度**静止**ボタンを押します。

2画面中に静止ボタンを押すと

操作画面の動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度**静止**ボタンを押すと、元の2画面に戻ります。

裏番組(☛P.20)を見ているときに、静止ボタンを押すと

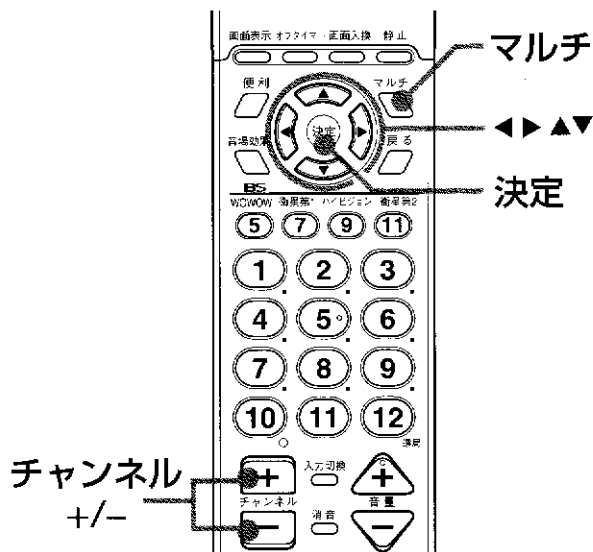
操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていたチャンネルの動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度**静止**ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

- 操作画面が右画面のときは、**静止**ボタンは働きません。

次のようなときは静止画をご覧になることはできません。

- 番組一覧を表示中のとき。
- コンポーネント映像入力端子(ビデオ1～3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているとき。

裏番組を見る

現在ご覧になっている番組(ビデオ)のほかに、3つの番組を画面に映して、その中から好きな番組を選びます。

裏番組画面を表示中に静止ボタンを押すと
操作画面が左画面のときは、裏番組は解除され、ご覧になっていたチャンネルの動画が左画面に、静止画が右画面に映ります。
もう1度**静止**ボタンを押すと、裏番組に戻ります。

● 操作画面が右画面のときは、**静止**ボタンは働きません。

次のようなときは裏番組画面にすることはできません。
コンポーネント映像入力端子(ビデオ1〜3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているとき。

● DVDプレーヤーをコンポーネント映像入力端子(ビデオ2)に接続したときに、S映像入力端子も接続すると、DVDの映像を表示しているときでも、裏番組を表示することができます。裏番組画面中は、S映像入力端子からの映像を表示します。(☛P.56)

次の映像は裏番組内の画面には表示されません。
コンポーネント映像入力端子(ビデオ1〜3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像。

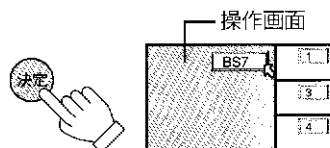
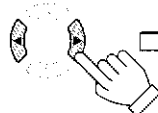
裏番組表示中は、次の操作はできません。

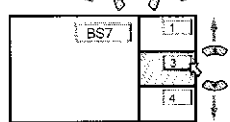
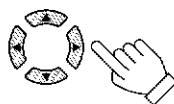
● 2つ以上のBS放送の映像を映す。
● ビデオからの映像を右画面に映す。

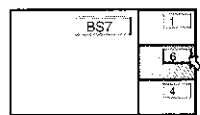
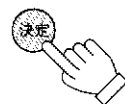
裏番組表示から1画面表示に戻すと
「カチッ」という音がしますが、表示切り換えの動作音であり、異常ではありません。

1 マルチメニューを表示する

次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印を「裏番組」に合わせて、決定ボタンを押す

画面の右側に3つの裏番組が映ります。
裏番組画面はコマ送りの映像になります。

3 操作画面を変更する

例: 中央の裏番組画面を操作画面にしたとき

4 見たい裏番組を探す

5 裏番組を1画面で映す

● 次の方法でも1画面に戻せます。
1 裏番組を表示中に**マルチ**ボタンを押し、マルチメニューを表示する
2 矢印が「**1画面**」に合っていることを確認して、**決定**ボタンを押す

放送中の番組を一覧する

現在放送中の番組を一覧できます。
受信できる放送局の数に応じて、画面が9、12、または16分割されます。

BSジャック(☛P.32)が「入り(BS固定)」のときは
BSチャンネルはBSジャックしているチャンネルだけが映ります。
他のBSチャンネルは一覧できません。

チャンネル+/−ボタンで選べないチャンネル(☛P.39、43)は…
一覧することはできません。

次のようなときは放送中の番組を一覧することはできません。
コンポーネント映像入力端子(ビデオ1〜3)、パソコン入力端子、D3入力(ビデオ5)端子からの映像を見ているとき。

● コンポーネント映像入力端子(ビデオ1あるいはビデオ3)の映像が480iの信号(☛P.67)のときは番組一覧を表示することができます。

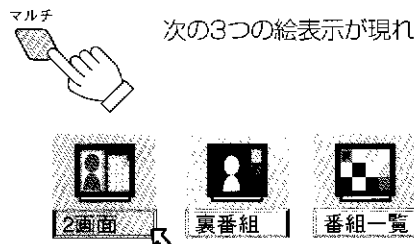
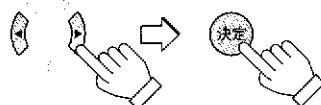
番組一覧中は、次の操作はできません。

● オートパノラマを使う。
● 便利、メニュー、映画、ナチュラルシネマ、音場効果、音声切換、静止、画面入換、オフタイマー、チャンネル+/−、BSジャック、入力切換ボタンを使う。

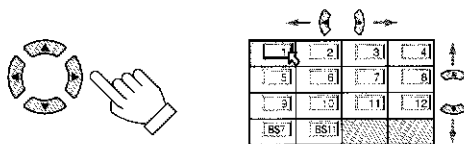
見たい番組を選ぶ

番組一覧を表示して、見たい番組を選ぶことができます。

1 マルチメニューを表示する

次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印を「番組一覧」に合わせて、決定ボタンを押す

画面が(9、12または16)分割されて、現在放送中の番組が静止画で映ります。(このときは音声は聞こえません。)
受信できる放送局が16以上あるときは、▼(または▲)ボタンを押すと、番組一覧の続きを見ることができます。

● 分割表示の一覧が終わると、左上の画面から順番に、数秒間ずつ動画が再生されます。(このときは音声も聞こえます。)

3 見たい番組を選ぶ

● ボタンを押したままにすると、素早く番組を選ぶことができます。

4 選んだ番組を1画面で見る

ふだんの操作

節電機能を上手に使う

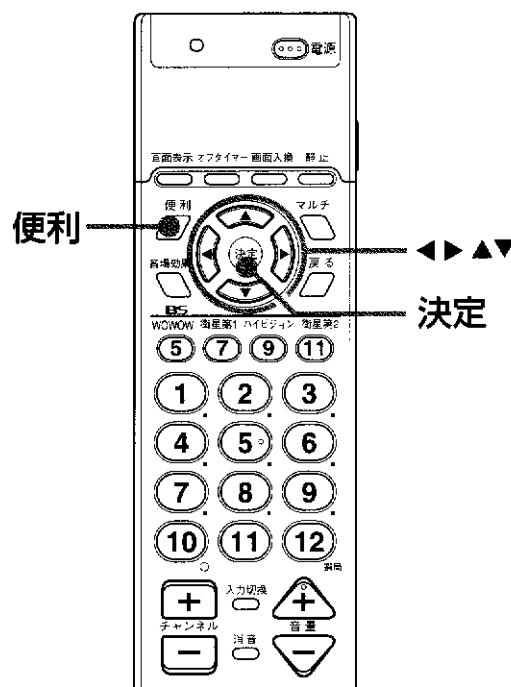
本機には、次のような節電機能があります。
これらの機能を上手に組み合わせて効率よく節電してください。

E.E.センサー:
Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+Electronic Eye(電子の目)の略です。
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調節します。節電になる上、目にやさしい機能です。
● 「**入り**」「**切り**」を選びます。

無信号電源オートオフ:
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。放送終了後やビデオの終了などで、映像信号がなくなったとき、約4分間経過すると電源を切って節電します。
● 設定の「**する**」「**しない**」を選びます。

BS電源オートオフ:
BSチャンネルを見ていないときやBSジャックを「切り」にしているときに、BS回路部の電源やBSコンバーターへの電源供給を自動的に切って節電します。
● 設定の「**する**」「**しない**」を選びます。

テレビ消し忘れ防止:
テレビの消し忘れを防ぐ機能です。
約3時間何も操作しなかったときに電源を切って節電します。
● 「**設定する**」「**設定しない**」を選びます。

AVコンピュリンクII機能を使わないときは
設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」の設定を「使用しない」にしてください。(☛P.73)
リモコンの電源ボタンを押して、テレビを待機状態にしたときの消費電力を抑えることができます。

「おトク」をすべて使う

便利メニューの「おトク」設定で次の3つの節電機能を簡単に設定できます。
●E.E.センサー
●無信号電源オートオフ
●BS電源オートオフ

1 便利メニューを表示する

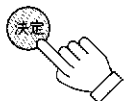
便利

次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印を「おトク」に合わせて、決定ボタンを押す

おトク設定
すべて設定する
設定しない
選んで設定する

おトク設定画面が表示されます。

3　矢印が「すべて設定する」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す

テレビ本体前面のE.E.センサーランプが緑色に点灯します。
画面には設定の内容が数秒間表示されます。

すべて設定

次のように設定しました		
E．E．センサー	：	入り
無信号電源オートオフ	：	する
ＢＳ電源オートオフ	：	する

「おトク」を選んで使う

便利メニューの「おトク」機能を別々に設定します。

1　便利メニューを表示する

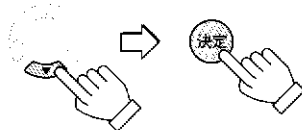
次の3つの絵表示が現れます。

2　矢印を「おトク」に合わせて、決定ボタンを押す

おトク設定

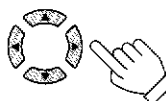
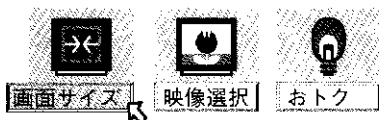
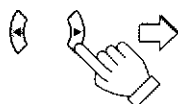
すべて設定する
設定しない
選んで設定する

おトク設定画面が表示されます。

3　矢印を「選んで設定する」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

選んで設定の選択

E．E．センサー	入り	切り
無信号電源オートオフ	する	しない
ＢＳ電源オートオフ	する	しない
この設定を	終わる	

4　必要な機能を設定する

1　▼(または▲)ボタンで、矢印を上下に移動し、設定する機能を選ぶ
2　►または◄ボタンで、設定値を選ぶ。

5　設定が終わったら、矢印を「この設定を『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

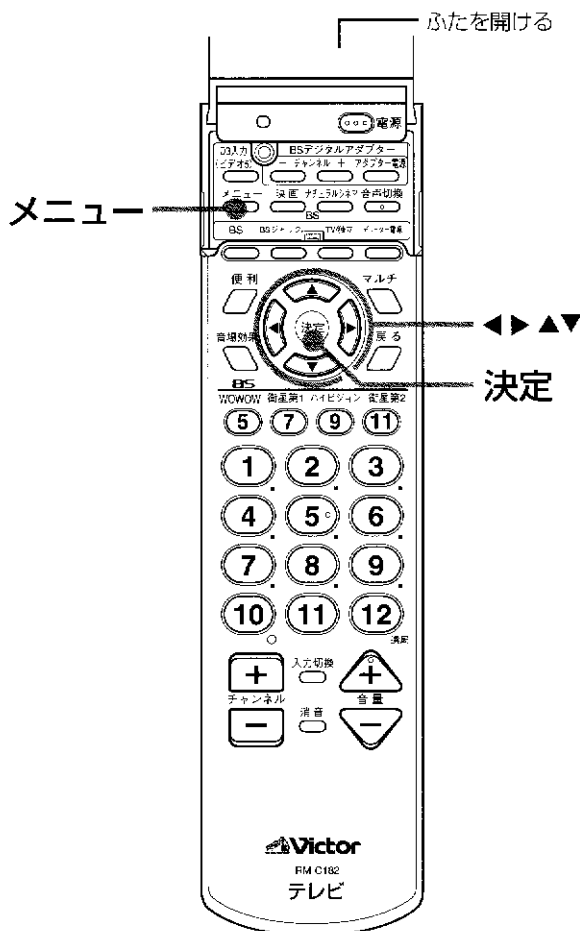
「おトク」をすべて解除するには

1　**便利ボタン**を押し、便利メニューを表示する

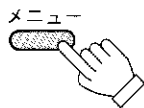
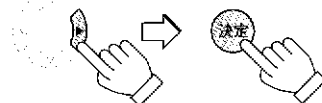
2　►(または◄)ボタンを押し、矢印を「**おトク**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す

おトク設定

すべて設定する
設定しない
選んで設定する

3　矢印を「**設定しない**」に合わせて、**決定**ボタンを押す
テレビ本体前面のE.E.センサーランプが消えます。

テレビを消し忘れないために

約3時間何も操作しなかったときにテレビの電源を自動的に切るか切らないかを設定します。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

各種設定 1ページ

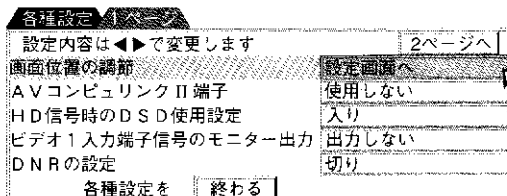
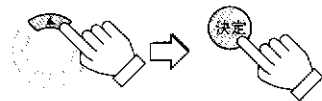
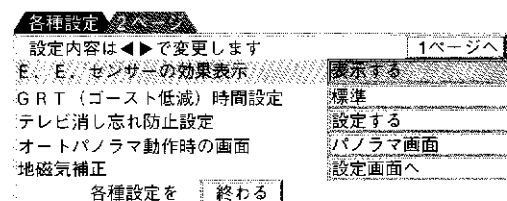
設定内容は◀▶で変更します	2ページへ
画面位置の調節	設定画面へ
AVコンピュリンクⅡ端子	使用しない
HD信号時のDSD使用設定	入り
ビデオ1入力端子信号のモニター出力	出力しない
DNRの設定	切り
各種設定を 終わる	

● 各種設定画面は全部で2ページあります。

3 矢印を「2ページへ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

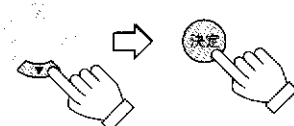
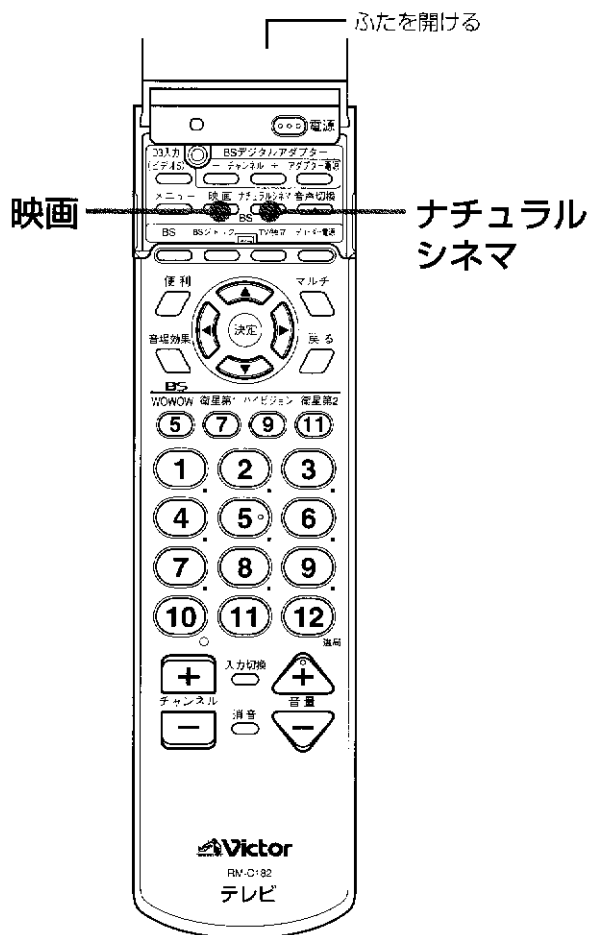
各種設定 2ページ

設定内容は◀▶で変更します	1ページへ
E. E. センサーの効果表示	表示する
GRT(ゴースト低減)時間設定	標準
テレビ消し忘れ防止設定	設定する
オートパノラマ動作時の画面	パノラマ画面
地磁気補正	設定画面へ
各種設定を 終わる	

4 矢印を「テレビ消し忘れ防止設定」に合わせる

5 設定を変更する

● 「**設定する**」:何も操作しない状態が約3時間続くと、自動的に電源が切れます。

● 「**設定しない**」:この機能を使わないときに選びます。

6 設定が終わったら、矢印を「各種設定を『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

映像設定を選ぶ／調節する

映画に最適な映像・画面サイズを選ぶ

映画番組や映画ソフトに最適な画面サイズ、しっとりとした映像、目にやさしい明るさになります。

押すたびに、「入り」「切り」が切り換わります。

「入り」にすると、画面サイズ、映像選択、E.E.センサー、白バランスが自動的に設定されます。

画面に「映画に最適な映像設定にしました。」というメッセージが現れます。

● 2画面中、裏番組中、番組一覧中は**映画**ボタンを押しても、画面サイズは設定されません。

映画やアニメを自然な動きに見せる

フィルム撮影された映画やアニメをご覧になるときに、動きが速いところがカクカクとした、ぎこちない動きに見えたり、動きのゆっくりしたところでは、輪郭がぼんやりと見えることがあります。
このようなときに、ナチュラルシネマを「入り」にします。
動きの速いところは、自然な動きに、ゆっくりした動きのところは、ぼんやり感のない映像でご覧になれます。

押すたびに、ナチュラルシネマの「入り」「切り」が切り換わります。

「入り」にすると、「ナチュラルシネマモードにしました。」というメッセージが現れ、ナチュラルシネマランプが緑色に点灯します。

● 2画面中、裏番組中、番組一覧中は**ナチュラルシネマ**ボタンは使えません。

お願い

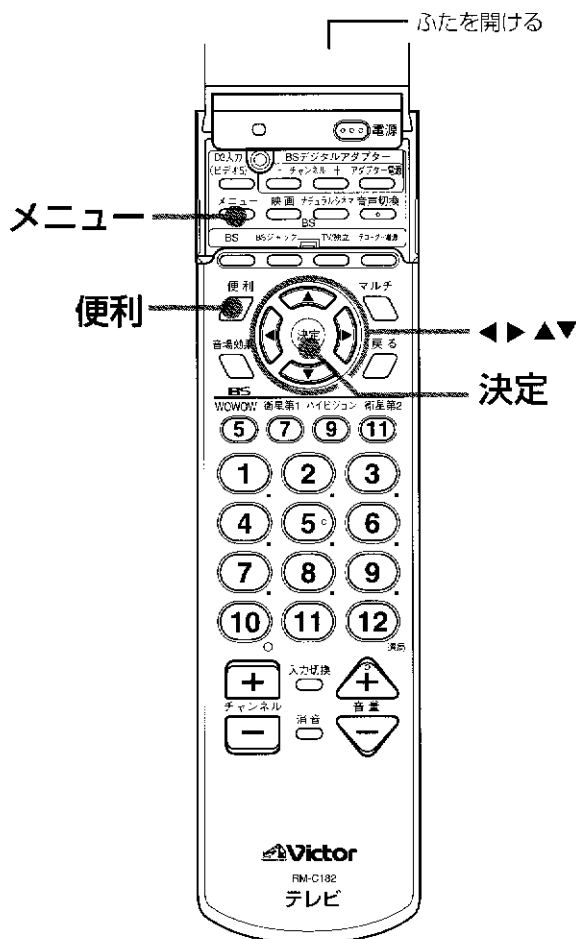
通常は、ナチュラルシネマは「切り」にしてお使いください。上記のような映像以外のときに、設定を「入り」にすると輪郭が二重になったり、不自然な映像になることがあります。

次のようなときは映画ボタンの設定は「切り」になります。

● ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
● S1映像信号*が入力されたとき
● チャンネルや入力を切り換えたとき

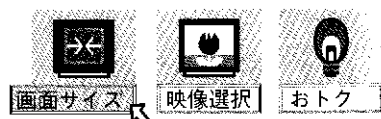
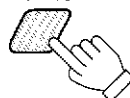
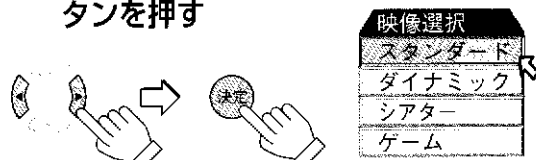
次のようなときはチュラルシネマボタンの設定は「切り」になります。

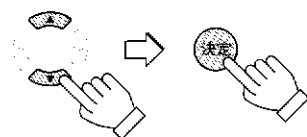
● ワイドクリアビジョン放送を受信したとき
● チャンネルや入力を切り換えたとき
● 2画面、裏番組や番組一覧に画面を切り換えたとき
また、ハイビジョン放送を見ているときや、2画面中、裏番組中や番組一覧中は設定を「入り」にすることはできません。

(*「用語解説」☛P.94)

映画やテレビゲームなどに適した映像設定を選ぶ

ご覧になっている番組やお部屋に、最も適した映像設定を選びます。

1 便利メニューを表示する

次の3つの絵表示が現れます。

2 矢印を「映像選択」に合わせて、決定ボタンを押す

映像選択画面が表示されます。

3 最適な映像設定を選ぶ

● **決定**ボタンを押さなくても、数秒後には自動的に表示は消えます。

映像設定	こんなときに使います
スタンダード	ふつうの部屋でテレビを見るとき
ダイナミック	直射日光が差し込むような明るい部屋でテレビを見るとき
シアター	映画番組や映画ソフトを見るとき
ゲーム	テレビゲームを楽しむとき

● 各映像設定の調節項目（ピクチャー・黒レベル・シャープネスなど）を変更するには、「映像を調節する」（☛P.28）をご覧ください。
「シアター」を設定中は、より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。（☛P.76）

画面の位置を調節する

映画の字幕が隠れてしまうときなどに、画面の位置を調節します。

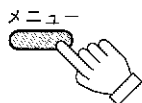
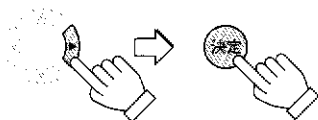
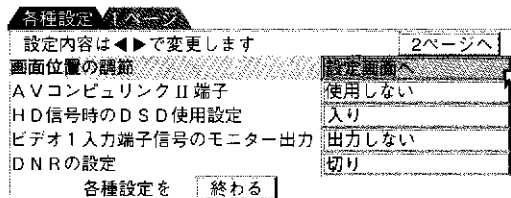
1　設定メニューを表示する

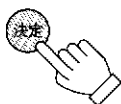
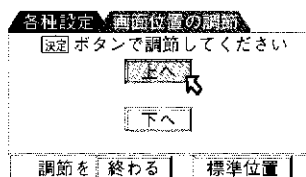
次の画面が表示されます。

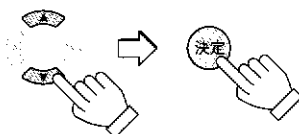
2　矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

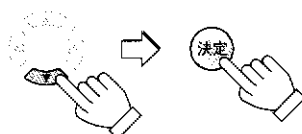
次の画面が表示されます。

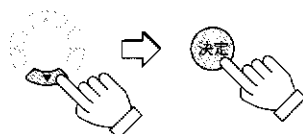
各種設定　1ページ

設定内容は◀▶で変更します	2ページへ
画面位置の調節	設定画面へ
AVコンピュリンクⅡ端子	使用しない
HD信号時のDSD使用設定	入り
ビデオ1入力端子信号のモニター出力	出力しない
DNRの設定	切り
各種設定を	終わる

● 各種設定画面は全部で2ページあります。

3　矢印が「画面位置の調節」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

4　画面の位置を調節する

● 画面を上に移動するときは、矢印を「**上へ**」に合わせて、**決定**ボタンを繰り返し押す。
● 画面を下に移動するときは、矢印を「**下へ**」に合わせて、**決定**ボタンを繰り返し押す。

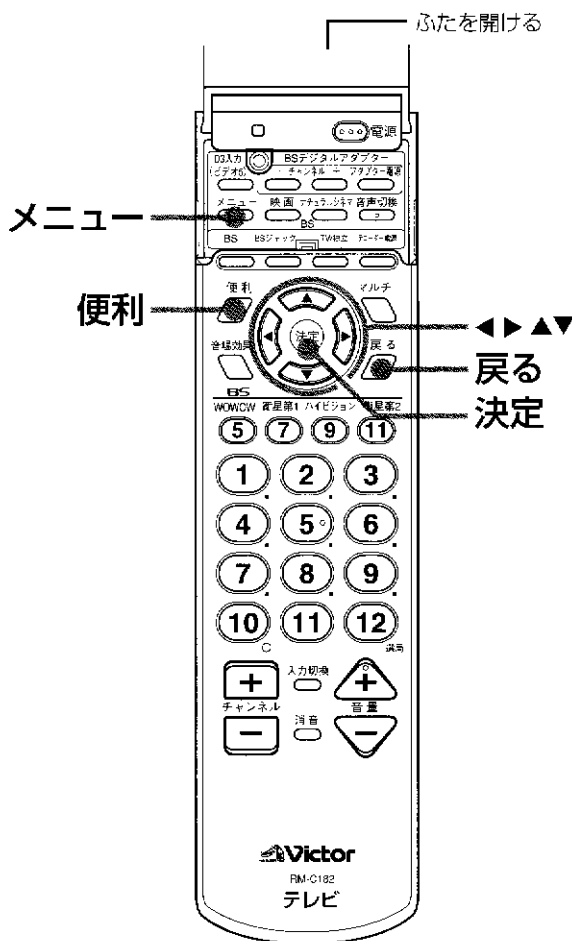
5　調節が終わったら、矢印を「調節を『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

ふたたび、手順**2**の画面が表示されます。

6　各種設定画面から抜けるために、矢印を「各種設定を『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

画面の位置を元に戻すには

手順**5**で、画面位置の調節画面の「**標準位置**」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押します。

「ノーマル」サイズの画面は…
位置調節はできません。

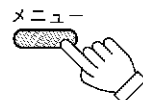
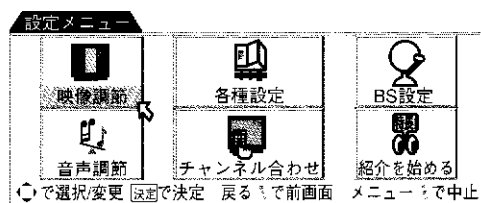
パソコンの画面の位置を調節するときは
左右への位置調節もできます。「画面の位置を調節する」の手順**4**で次の操作をしてください。
● 画面を右に移動するときは、矢印を「**右へ**」に合わせて、決定ボタンを繰り返し押す。
● 画面を左に移動するときは、矢印を「**左へ**」に合わせて、決定ボタンを繰り返し押す。

ふだんの操作

映像を調節する

映像調節は各映像設定(☛P.26)に対して行い、記憶させせることができます。

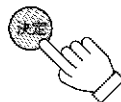
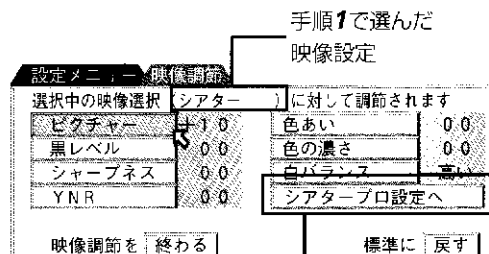
1 調節する映像を選ぶ(☛P.26)

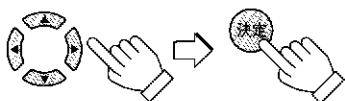
1 **便利**ボタンを押す
画面に絵表示が現れます。
2 ►(または◄)ボタンを押し、矢印を「**映像選択**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す
3 ▼(または▲)ボタンを押し、調節したい映像設定を選ぶ
4 **決定**ボタンまたは**戻る**ボタンを押す

2 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

3 矢印が「映像調節」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

映像設定が「シアター」のときに表示されます。
より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。(☛P.76)

メモ

映像選択で「シアター」を選んでいるときは
矢印を「**シアタープロ設定へ**」に合わせて、**決定**ボタンを押すと、より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。(☛P.76)

4 矢印を調節したい項目に合わせて、決定ボタンを押す

選んだ項目の調節画面が表示されます。

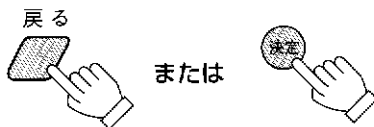
例：「ピクチャー」を選んだとき

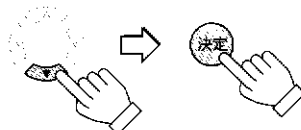
例：「白バランス」を選んだとき

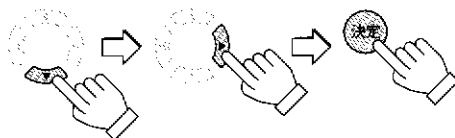
5 調節する

● 数秒間、操作を行わないと、手順**3**の映像調節画面に戻ります。

6 他の項目も調節するときは、映像調節画面に戻る

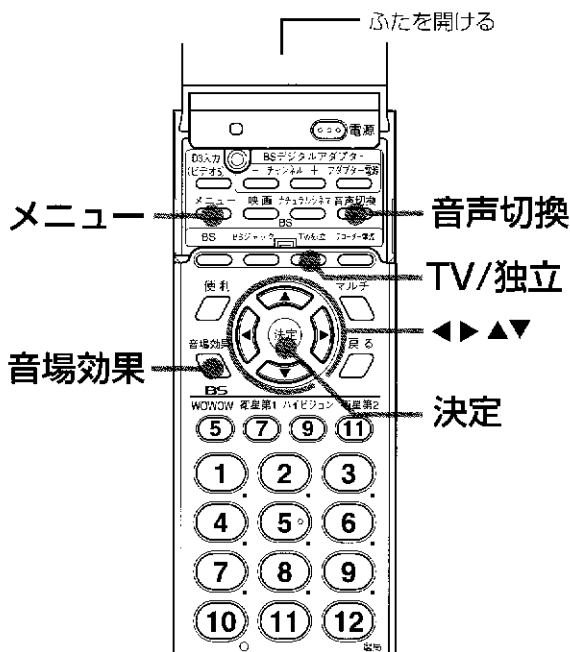
または

7 手順4から6を繰り返し、他の項目も調節する

8 調節が終わったら、「映像調節を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

映像設定の調節を元に戻すには

手順**3**で、映像調節画面の「標準に『**戻す**』」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押します。

映像の調節

項目	◀ ボタンを押すと	▶ ボタンを押すと	調節の目安
ピクチャー	薄くなる	濃くなる	部屋の明るさに合わせて、見やすい映像の明るさや濃さに
黒レベル	暗くなる	明るくなる	見やすい明るさに
シャープネス*	柔らかい感じになる	くっきりする	お好みの鮮明さに
YNR*	ノイズを少し低減する	ノイズをたくさん低減する	細かな表示がつぶれない程度に
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	自然な肌色になるように
色の濃さ	薄くなる	濃くなる	見やすい色の濃さに
項目	**▼▲ボタンで選ぶ**	**調節の目安**	
白バランス	高い色温度	青みが強くなり、爽やかさを強調	
	低い色温度	赤みが強くなり、暖かみを強調	

* 映像選択で「シアター」を選んでいるときは、映像調節の「シャープネス」は調節できません。
また、パソコンの映像を見ているときは、映像調節の「シャープネス」と「YNR」は調節できません。

音声を選ぶ／調節する

二重音声やステレオ放送の音声を選ぶ

二重音声放送やステレオ音声放送のときに聞きたい音声を選びます。

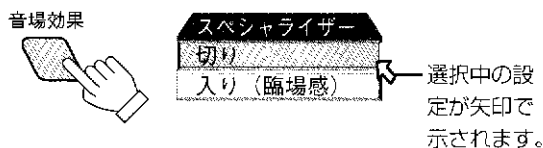
例：二重音声放送受信中は

1度押すと、現在の設定が表示されます。
押すたびに、次のように音声と表示が切り換わります。

二重音声放送受信中は（BS放送、ふつうのテレビ放送）：
「主音声」→「副音声」→「主＋副音声」→「主音声」→…。

ステレオ放送受信中は（ふつうのテレビ放送）：
「ステレオ」→「モノラル」→「ステレオ」→…。

音に臨場感をもたせる

ステレオ音声、モノラル音声に臨場感をもたせることができます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。
その後押すたびに、スペシャライザー*（臨場感）の「入り」「切り」が切り換わります。

- ビデオテープを再生したときなど、音声を自動判別できないときは、「入り（臨場感）」の代わりに、「ステレオスペシャライザー入り」と「モノラルスペシャライザー入り」と表示されます。ステレオ放送のときは「ステレオスペシャライザー入り」、モノラル放送のときは「モノラルスペシャライザー入り」を選んでください。
- ヘッドホンの音声には、この機能は働きません。

BS放送の独立音声を聞く

Aモード音声**で放送されているBS放送の番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

1度押すと、現在の設定が表示されます。
その後押すたびに、テレビ音声と独立音声が切り換わります。

St.GIGAなどのBS有料放送の独立音声を聞くには
BSデコーダーで音声を切り換えてください。

（**「用語解説」☛P.94）

* スペシャライザーはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドからの実施権に基づき製造されています。
SPATIALIZERおよびシンボルマークはデスパー・プロダクツ・インコーポレイティッドの登録商標です。

音声を調節する

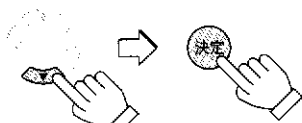
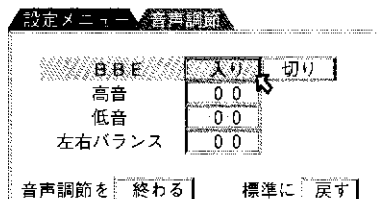
1 設定メニューを表示する

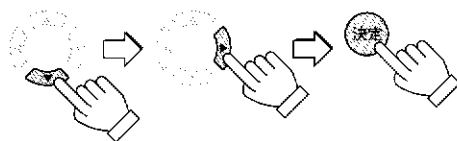
次の画面が表示されます。

2 矢印を「音声調節」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

3 必要な項目(下表参照)を設定する

1 ▼(または▲)ボタンを押し、矢印を設定したい項目に合わせる
2 ◄または►ボタンを押し、設定を変更する
3 手順**1**と**2**を繰り返し、必要な設定を行う

4 調節が終わったら、「音声調節を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

音声の調節を元に戻すには

手順***3***で、音声調節画面の「標準に『**戻す**』」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押します。

音声をヘッドホンで聞いているときは
設定メニューの「音声調節」は使えません。

BBEは、BBE Sound社の登録商標です。

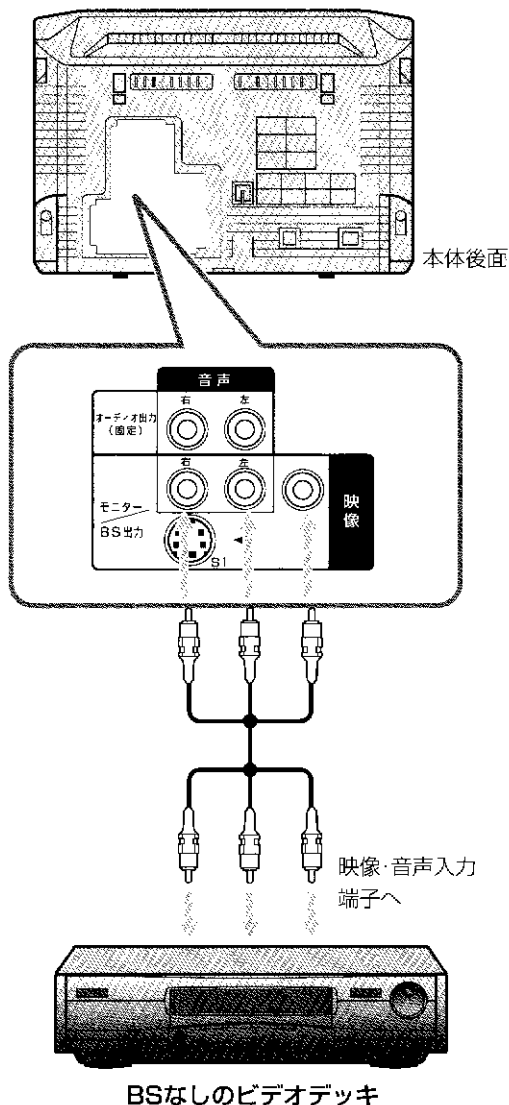
音声の調節

項目	◄ ボタンを押すと		► ボタンを押すと
BBE	どちらのボタンを押しても、押すたびに「入り」「切り」が切り換わります。「入り」にしておくと、原音に忠実で聞きやすい音を再現します。		
低音	低音が弱まる	⇔	低音が強まる
高音	高音が弱まる	⇔	高音が強まる
左右バランス	左側の音が大きくなる	⇔	右側の音が大きくなる

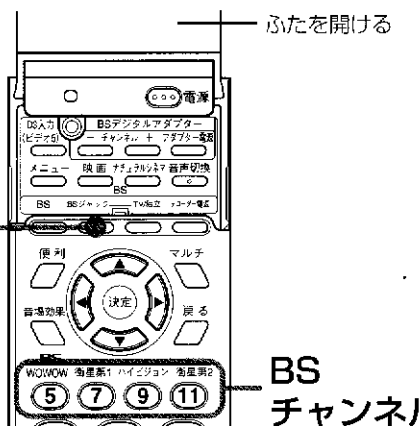
BS番組を録画する

本機のBSチューナーを使えば、BSの付いていないビデオデッキでもBSチャンネルを録画することができます。

接続

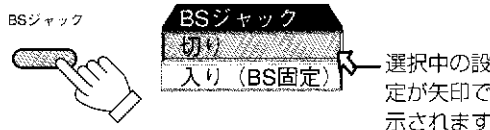
BSなしのビデオデッキ

BSジャックが「入り(BS固定)」のときは

- 他のBSチャンネルは選べません。
- BSの音声切換はできません。
- 本体の**電源**ボタンを押して、テレビの電源を切らないでください。電源を切るとモニター／BS出力端子からはBSチャンネルの映像と音声が出力されなくなります。

録画する

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ

- 必要ならば、二重音声や独立音声を選びます。(☛P.30)

2 BSジャックを「入り(BS固定)」にする

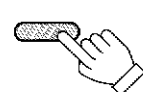
選択中の設定が矢印で示されます

1度押すと、現在の設定を表示します。その後押すたびにBSジャックの「入り(BS固定)」「切り」が切り換わります。

- **「入り(BS固定)」**：BSチャンネルが固定され、モニター／BS出力端子からは、選んだBSチャンネルの映像と音声が出力されます。
  BSジャック中はテレビ本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
- **「切り」**：BSジャックは解除され、モニター／BS出力端子からは、テレビ画面に写っている映像と音声が出力されます。

3 ビデオデッキで録画を始める

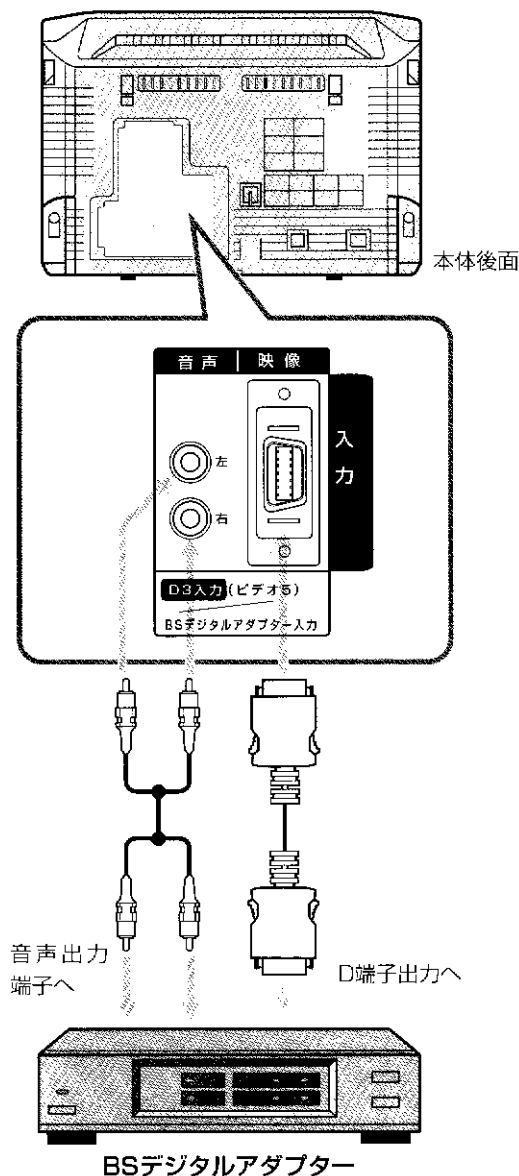
ビデオデッキの操作については、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

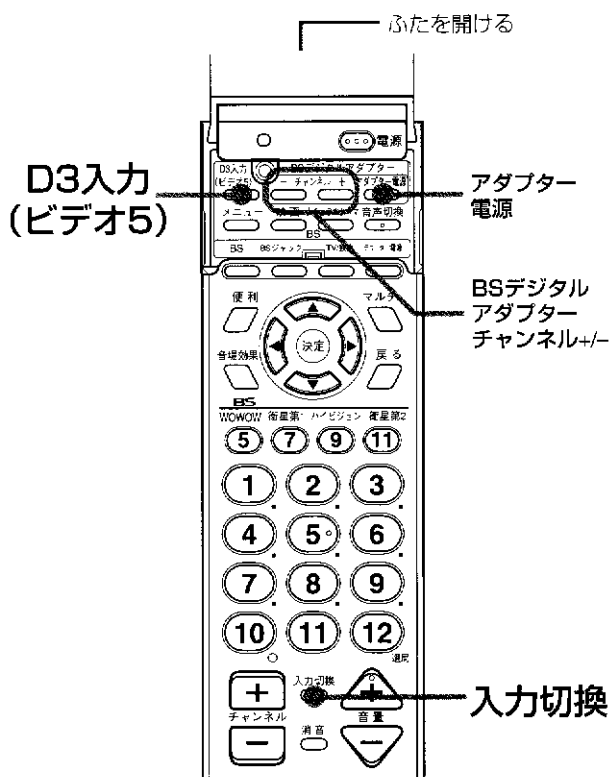
- 録画中でも、BS以外の番組はご覧になれます。(裏番組録画)

録画が終わったら、BSジャックを「切り」にする

BSジャックが解除され、テレビ本体前面のBSジャックランプが消えます。

BSデジタル放送を見る

BSデジタル放送(平成12年放送開始予定)をご覧になるには、別売のBSデジタルアダプター*が必要です。

接続

(*「用語解説」☛P.94)

BS デジタル放送を見る

1 BSデジタルアダプターの電源を入れる

● ビクター製BSデジタルアダプターをお使いのときは、本機のリモコンのBSアダプター **アダプター電源**ボタンで電源が入れられます。

2 「D3入力」を選ぶ

または

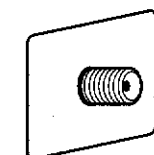
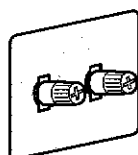
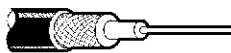
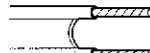
● BSデジタルアダプターが本機に接続されていないときは、「D3入力」は選べません。

3 BSデジタルアダプター側で、BSデジタル放送のチャンネルを選ぶ

● ビクター製BSデジタルアダプターをお使いのときは、本機のリモコンのBSアダプター **チャンネル+/−**ボタンでチャンネルを選ぶことができます。

VHF、UHFアンテナをつなぐ

まず、はじめにVHF、UHFアンテナをつなぎます。
お部屋の壁面アンテナ端子の種類や据置型ビデオデッキの有無によって、つなぎかたが異なります。一番近い例を選んで、接続してください。

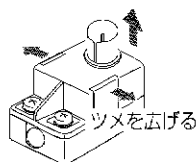
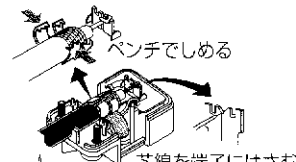
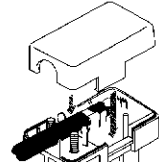
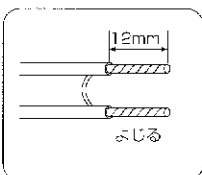
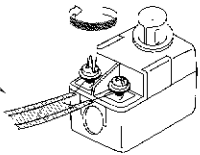
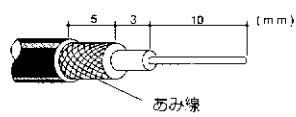
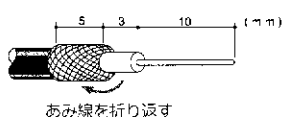
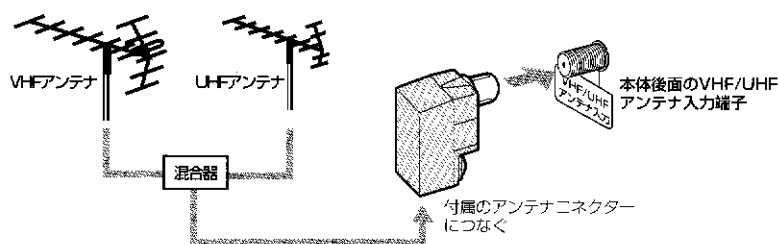
●壁面アンテナ端子の形とアンテナ線の種類

同軸ケーブル用端子

フィーダー線用端子

同軸ケーブル

フィーダー線

F型コネクター

※壁面アンテナ端子に F型コネクターが付いているときは、そのまま本機のアンテナ端子につなぎます。

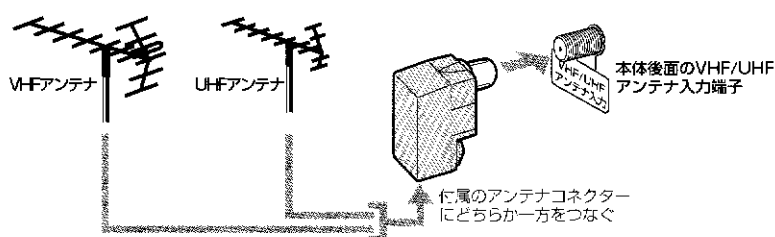
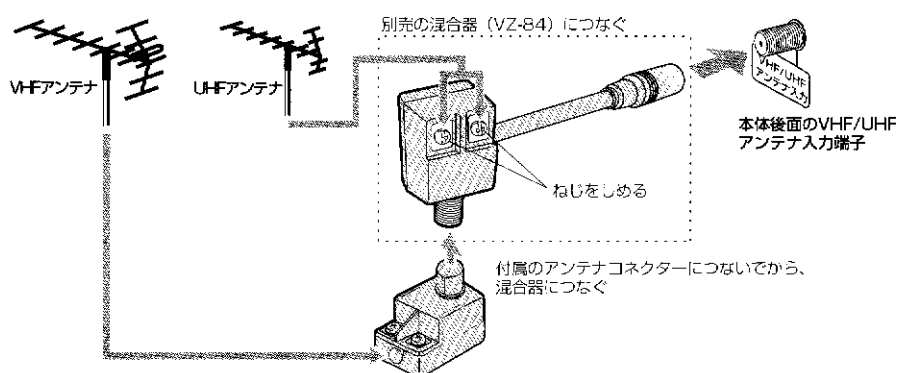
- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
- 妨害電波の影響を避けるため、道路や電車の架線、ネオンなどから離して設置するよう依頼してください。
- アンテナは定期的に点検・交換してください。特にばい煙や潮風があるところでは、傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、サービス取扱所にご相談ください。
- フィーダー線を使用すると、電波妨害を受けやすくなります。できるだけ同軸ケーブルをお使いください。
お部屋（壁面）のアンテナ端子がフィーダー線用端子の場合は、サービス取扱所にご相談ください。

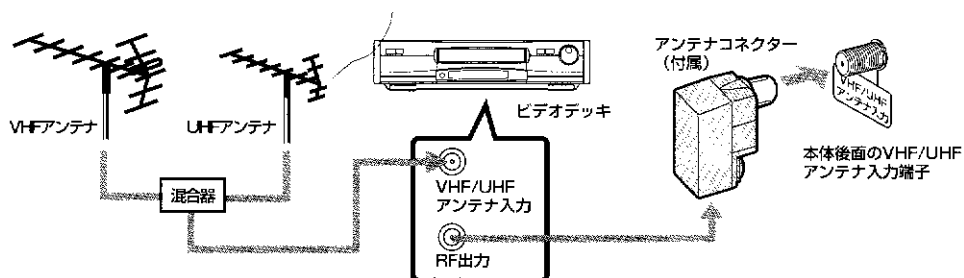
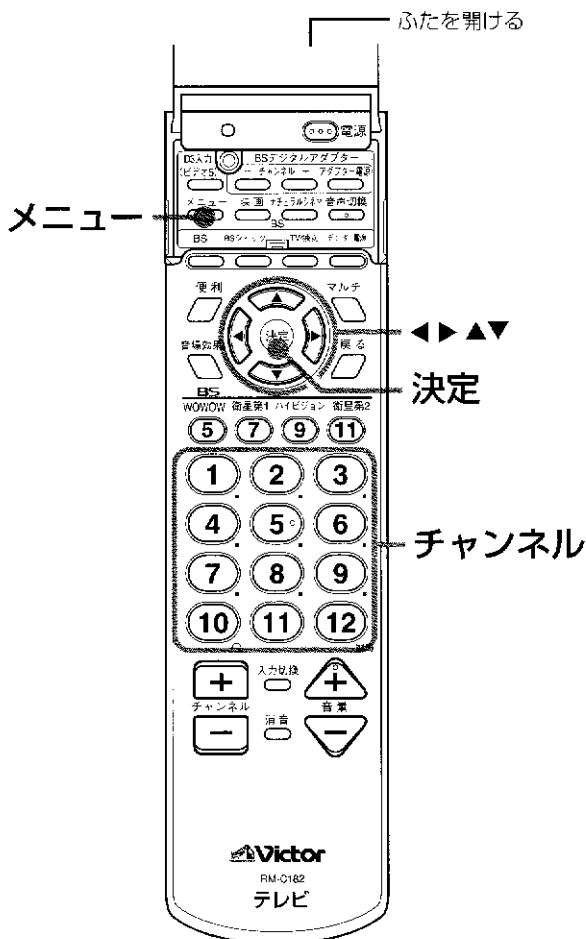
■アンテナコネクターのつなぎかた

同軸ケーブルのとき

■ VHFとUHFが混合されているとき

■ VHFとUHFが別々になっているとき

A VHF、UHFのどちらか一方を接続する

B VHF、UHFの両方を接続する

チャンネル設定

ビデオデッキを接続するとき

アンテナのケーブルはビデオデッキに接続し、ビデオデッキのRF出力からのケーブルを本機のVHF/UHFアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。

チャンネルを合わせる

地域の放送局を一括して設定する

本機は工場出荷時、VHFの1～12チャンネルが映るように設定されています。
UHF放送がある場合など、この設定ですべての放送局を受信できないときは、以下の操作で地域内のテレビ局を受信できるようにします。

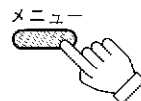
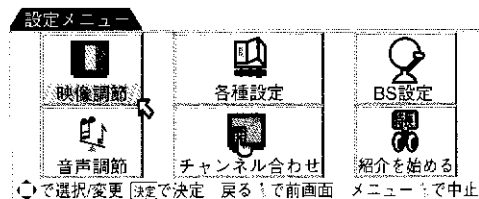
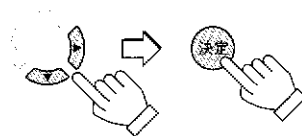
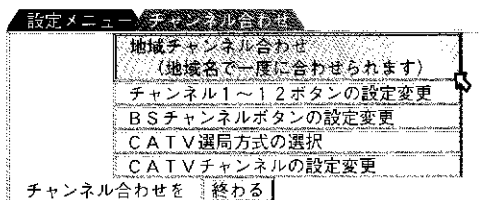
- **一括して設定される地域ごとの放送局については、「地域番号表」(☛P.90～93)をご覧ください。**
- **CATV放送のチャンネル設定をするときは38または42ページをご覧ください。**

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「チャンネル合わせ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

メモ

地域チャンネル合わせで、お住まいの地域に合った放送局が設定できないとき
近県の地域を選び、再度地域チャンネル合わせを行ってみてください。

操作を途中で中止するには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

3 矢印が「地域チャンネル合わせ」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す

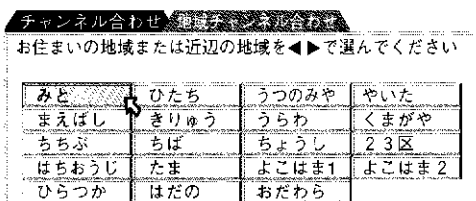
次の画面が表示されます。

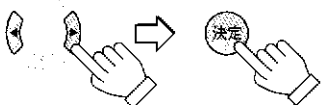
4 お住まいの地方を選ぶ

1 ▼/▲/►/◄ボタンを押し、お住まいの地方に矢印を合わせる
2 **決定**ボタンを押す

チャンネル合わせ　地域チャンネル合わせ

お住まいの地域または近辺の地域を◄►で選んでください

みと	ひたち	うつのみや	やいた
まえばし	きりゅう	うらわ	くまがや
ちちぶ	ちば	ちょうし	23区
はちおうじ	たま	よこはま1	よこはま2
ひらつか	はだの	おだわら	

例：手順**3**で「関東」を選んだとき

5 地域チャンネル合わせを実行する

1 ►または◄ボタンを押し、お住まいの都市（または近隣の都市）を選ぶ
2 **決定**ボタンを押す
地域チャンネル合わせが実行され、受信チャンネルの一覧表が表示されます。

チャンネル合わせ　チャンネル1〜12ボタンの設定変更

□はリモコンチャンネルボタン　□は見るチャンネルです

変更したいチャンネルボタンを選んでください

1	1	2	14	3	3
4	4	5	16	6	6
7	38	8	8	9	42
10	10	11	46	12	12

この設定を　終わる　　初期設定に戻す

例：「23区」を選んだとき

6 矢印をリモコンのチャンネルボタンに合わせ、希望のチャンネルが受信できるか確認する

7 チャンネル合わせが終わったら、「この設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

● チャンネル合わせを中止して、お買い上げ時の設定に戻すときは、矢印を「**初期設定に戻す**」に合わせて、**決定**ボタンを押します。

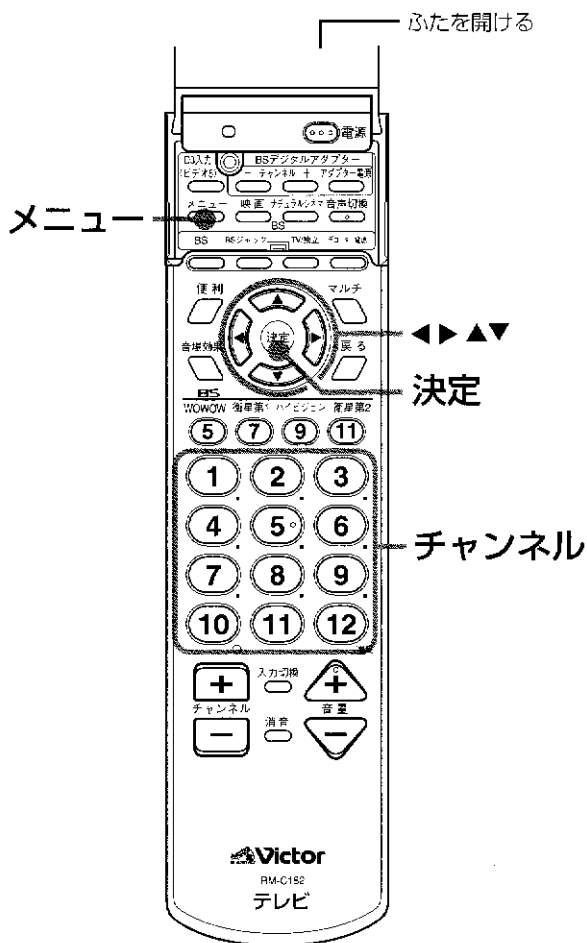
ふたたび、手順**2**の画面が表示されます。

8 矢印を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

これで地域チャンネル合わせは終了しました。

地域チャンネル合わせで設定した受信チャンネルを変更するには

地域チャンネル合わせで設定されなかったチャンネルを設定したいときは、手順**7**で、設定を終了する前に、次の操作を行います。

1 ▼/▲/►/◄ボタンを押し、変更したいリモコンのチャンネルボタンを選ぶ
2 **決定**ボタンを押す
3 「放送局をひとつずつ設定する」の手順**4**からの操作(☛P.39)を行う

放送局をひとつずつ設定する

地域の放送局が「地域チャンネル合わせ」の受信チャンネルに当てはまらないときや、受信チャンネルの順番を変えたいときに設定します。

また、**CATVをご覧になる場合に、CATVのチャンネル数が少ないときは、以下の方法でリモコンの1～12ボタンに割り当てます。**

1 36ページの手順*1*と*2*までを行う

1 **メニュー**ボタンを押し、設定メニューを表示する

2 ►ボタンを押し、矢印を「**チャンネル合わせ**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す
チャンネル合せ画面が表示されます。

2 矢印を「チャンネル1～12ボタンの設定変更」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

3 設定したいリモコンのチャンネルボタン番号に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

例: リモコンのチャンネルボタン「1」を選んだとき

メモ

操作を途中で中止するには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

2画面、裏番組、番組一覧中は…
設定メニューの「チャンネル1～12ボタンの設定変更」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

4　必要な項目を設定する

1　▼(または▲)ボタンを押し、矢印を設定したい項目に合わせる
2　►または◄ボタンを押し、設定を変更する
● 受像微調整を選んだときは、**決定**ボタンを押してから、►または◄ボタンを押し、調整する

3　手順**1**と**2**を繰り返し、必要な設定を行う
4　続けて、他のリモコンのチャンネルボタンの設定も変更するときは、変更したいリモコンの**チャンネル**ボタンを押す

チャンネルボタン番号が変わります。

チャンネル合わせ　チャンネル1～12ボタンの設定変更
チャンネルボタン（3）の設定を変更できます

見るチャンネル	1	
画面の表示	1	
＋－ボタン選局	見る	見ない
GRT（ゴースト低減）	入り	切り
受像微調整	する（調整画面へ）	
設定変更を	終わる	

5　手順**1**から**3**を繰り返し、必要な設定を行う
● 設定を変更すると、自動的に変更内容が記憶されます。
6　手順**4**から**5**を繰り返し、必要なチャンネルボタンの設定を行う

5　変更が終わったら、「設定変更を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

ふたたび、手順**2**の画面が表示されます。

チャンネル合わせ　チャンネル1～12ボタンの設定変更
□はリモコンチャンネルボタン　□は見るチャンネルです
変更したいチャンネルボタンを選んでください

1	1	2	14	3	3
4	4	5	16	6	6
7	38	8	8	9	42
10	10	11	46	12	12

この設定を　終わる　　初期設定に戻す

● ここで、手順**4**と**5**を繰り返して、他のリモコンのチャンネルボタンの設定を変更することもできます。

6　設定が終わったら、「この設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

● チャンネル合わせを中止して、お買い上げ時の設定に戻すときは、矢印を「**初期設定に戻す**」に合わせて、**決定**ボタンを押します。

ふたたび、チャンネル合せ画面が表示されます。

7　矢印を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

これでチャンネル合わせは終了しました。

項目	こんなときに使います
見るチャンネル	受信するチャンネルの番号を選びます。(1～12:VHF放送、13～62:UHF放送、C13～C38:CATV放送)
画面の表示	テレビ画面に表示するチャンネル番号を選びます。
＋－ボタン選局	チャンネル＋/－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。放送を受信していないときは、「**見ない**」にします。
GRT(ゴースト低減)*	ゴースト(映像が2重・3重になって映る現象)を低減するか、しないかの設定をします。 1チャンネルまたは2チャンネルでビデオデッキの映像を見るときは、そのチャンネルの設定は「**切り**」にします。
受像微調整	受信状態が悪いときに調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

(* 裏表紙の「ゴースト低減機能とは？」をご覧ください。)

チャンネル設定

CATVを見る

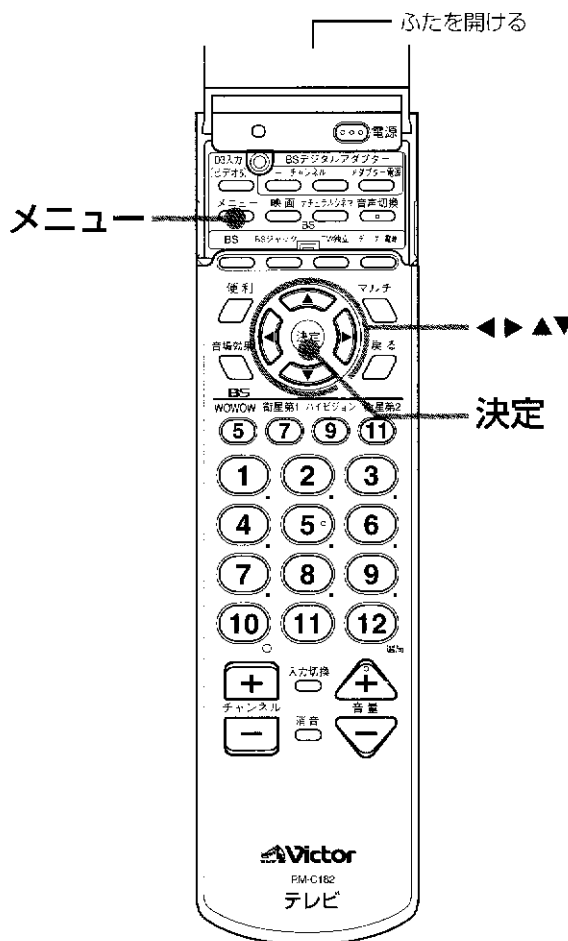
CATV(ケーブルテレビ)はサービスの行われている地域でだけ受信できます。
CATVを受信するには、使用する機器ごとにCATV各社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴や録画にはアダプターが必要です。詳しくはCATV各社にご相談ください。

CATV を見るための準備

- **CATV会社と受信契約をする**
  詳しくはCATV各社にお問い合わせください。
- **CATVケーブルを接続する**
  ケーブルのつなぎかたはCATV各社にお問い合わせください。
- **CATVのチャンネル合わせをする**

CATV のチャンネル合わせをするには

- **CATVのチャンネル数が12より少ないとき:**
  リモコンのチャンネルボタン1から12に、空きがあるときは「放送局をひとつずつ設定する」(☛P.38)の説明に従ってチャンネル合わせを行います。

- **CATVのチャンネル数が12より多いとき:**
  CATVの選局方式を「数字入力方式」(☛P.41)にしてから、CATV放送のチャンネル合わせを行います。(☛P.42)

操作を途中で中止するには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

CATVチャンネルを直接選べるようにする

チャンネルを2桁の数字で直接選べるようにします。

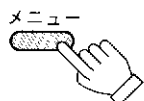
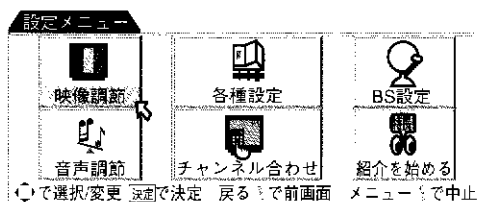
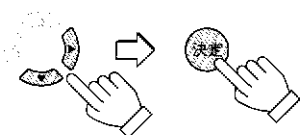
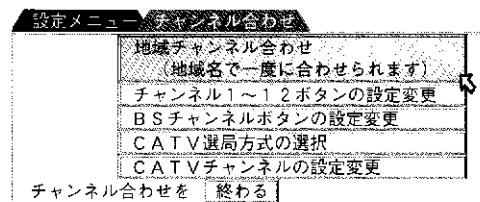
1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「チャンネル合わせ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

設定メニュー　チャンネル合わせ

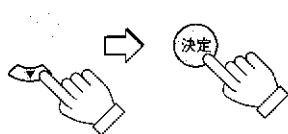
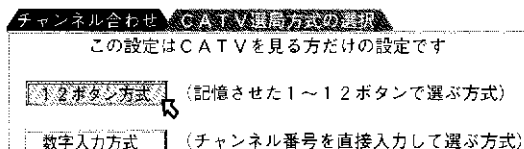
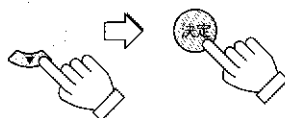
地域チャンネル合わせ
（地域名で一度に合わせられます）
チャンネル１～１２ボタンの設定変更
ＢＳチャンネルボタンの設定変更
ＣＡＴＶ選局方式の選択
ＣＡＴＶチャンネルの設定変更
チャンネル合わせを　終わる

3 矢印を「CATV選局方式の選択」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

チャンネル合わせ　ＣＡＴＶ選局方式の選択

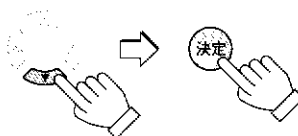
この設定はＣＡＴＶを見る方だけの設定です

１２ボタン方式　（記憶させた１～１２ボタンで選ぶ方式）

数字入力方式　（チャンネル番号を直接入力して選ぶ方式）

4 矢印を「数字入力方式」に合わせて、決定ボタンを押す

ふたたび、手順**2**の画面に戻ります。

5 矢印を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

これで設定は終了しました。

チャンネル設定

「数字入力方式」を選んだときのチャンネルの選びかた

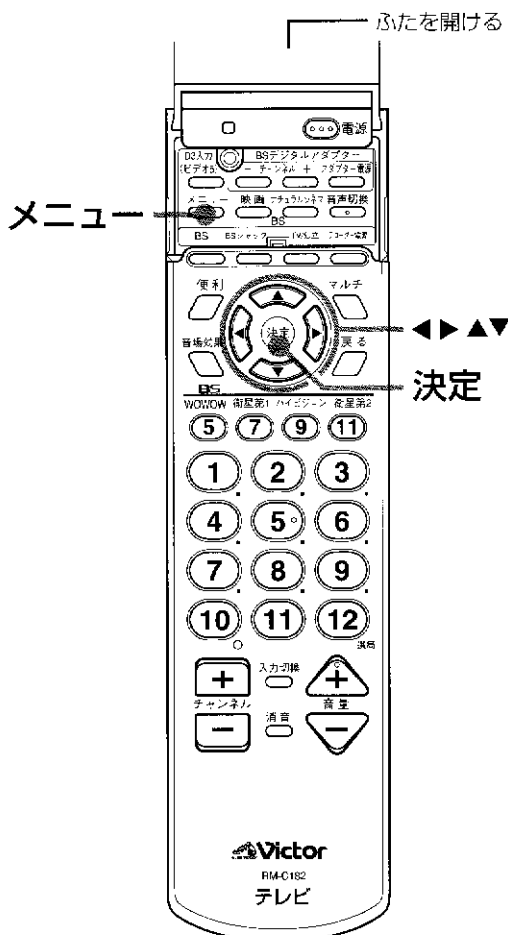
受信チャンネルを2桁の数字で選びます。

例：
- チャンネル1を選ぶときは、**0(10)**、**1**と押します。
- チャンネル12を選ぶときは、**1**、**2**と押します。
- CATVのチャンネル34を選ぶときは、**3**、**4**と押します。

1桁のチャンネルを選ぶときは、以下の方法でもチャンネルを変えられます

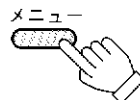
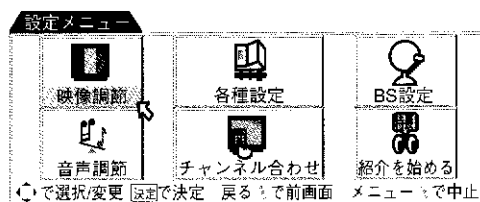
例：チャンネル1を選ぶとき
- 1を押して、しばらく待つ。
- 1を押した後、**12(選局)**を押す。

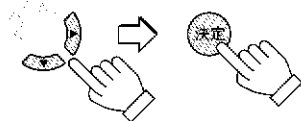
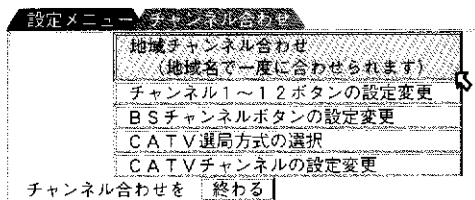
お買い上げ時の設定に戻すには

チャンネルをリモコンの1～12ボタンで選ぶ方式に戻すときは、手順**4**で矢印を「**12ボタン方式**」に合わせてから、**決定**ボタンを押します。

CATVチャンネルを設定する

CATVの受信チャンネル数が少ないときは、リモコンの1〜12ボタンに割り当てられます(☛P.38)。

受信チャンネル数が多くて、CATVの選局方法を「数字入力方式」にしてあるときは、次のようにCATVチャンネルを設定します。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「チャンネル合わせ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

操作を途中で中止するには
戻るボタンを押します。ひとつ前の画面に戻ります。

2画面、裏番組、番組一覧中は…
設定メニューの「CATV選局方式の選択」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

3 矢印を「CATVチャンネルの設定変更」に合わせて、決定ボタンを押す

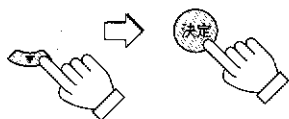
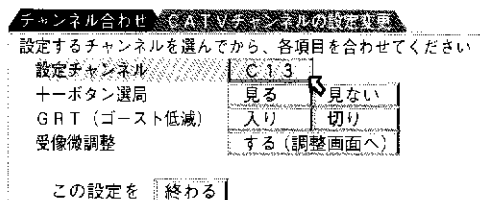
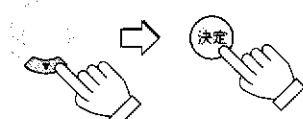
次の画面が表示されます。

4 必要な項目を設定する

1 ▼（または▲）ボタンを押し、矢印を設定したい項目に合わせる
2 ►または◄ボタンを押し、設定を変更する
● 受像微調整を選んだときは、**決定**ボタンを押してから、►または◄ボタンを押し、調整する

3 手順**1**と**2**を繰り返し、必要な設定を行う

5 他のCATVチャンネルの設定も変更するときは

1 ▼（または▲）ボタンを押し、矢印を「**設定チャンネル**」に合わせる
2 ►または◄ボタンを押し、設定チャンネルを変更する
3 ▼（または▲）ボタンを押し、矢印を設定したい項目に合わせる
4 ►または◄ボタンを押し、設定を変更する
5 手順**3**と**4**を繰り返し、必要な設定を行う

6 設定が終わったら、「この設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

ふたたび、手順**2**の画面が表示されます。

7 矢印を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

これで設定は終了しました。

項目	こんなときに使います
設定チャンネル	受信するチャンネルの番号を選びます。 （C13～C38：CATV放送）
＋ーボタン選局	チャンネル＋/ーボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。 放送を受信していないときは、「**見ない**」にします。
GRT（ゴースト低減）*	ゴースト（映像が2重・3重になって映る現象）を低減するか、しないかの設定をします。
受像微調整	受信状態が悪いときに微調整してください。最も映像がきれいに映るように調整します。

（* 裏表紙の「ゴースト低減機能とは？」をご覧ください。）

チャンネル設定

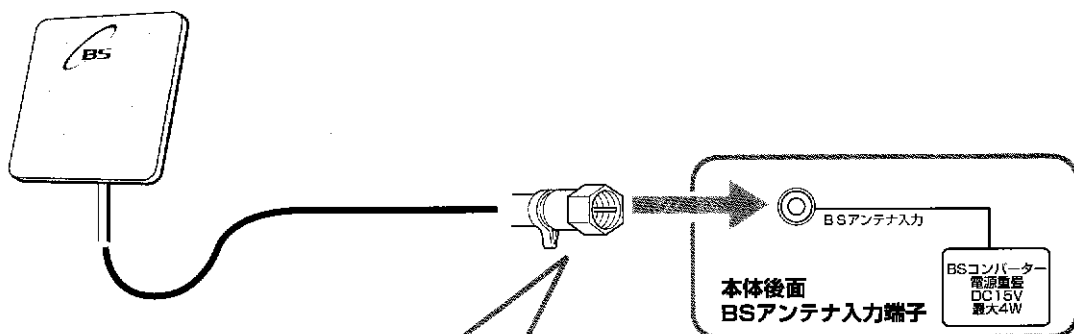
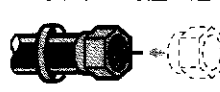
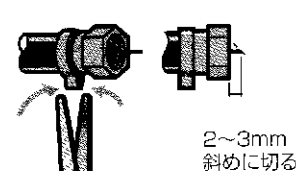
BSアンテナをつなぐ

ビデオデッキの有無や、ビデオデッキの種類によって、BSアンテナ（コンバーター付）のつなぎかたが異なります。一番近い例を選んで、接続してください。

VHF、UHFアンテナをつなぐときは34ページをご覧ください。

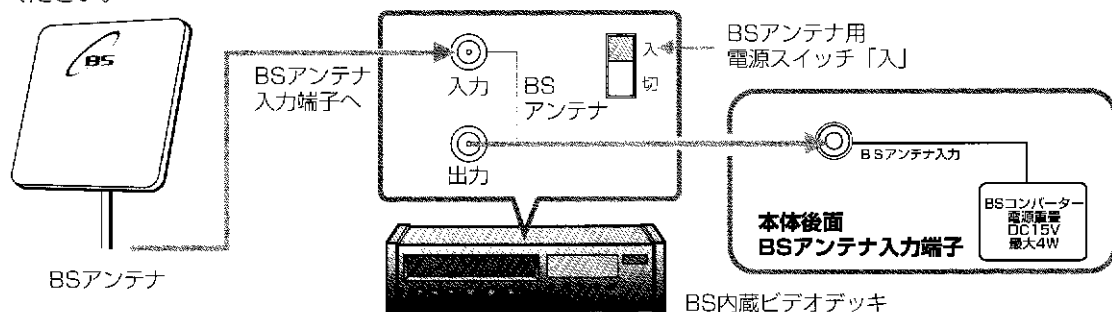
● BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
ご不明な場合は、販売店にお問い合わせください。
● 50ページから69ページの接続もお手持ちの機器に合わせて必ず行ってください。

BS（衛星）放送について

日本の南西、赤道上空約3,600kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成11年4月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。
BS5チャンネルはJSB（日本衛星放送株式会社）がWOWOWを、SDAB（衛星デジタル音楽放送株式会社）がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。
BS9チャンネルは、ハイビジョンを放送しています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSEデコーダー（やMUSE-NTSCコンバーター）が必要になります。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。

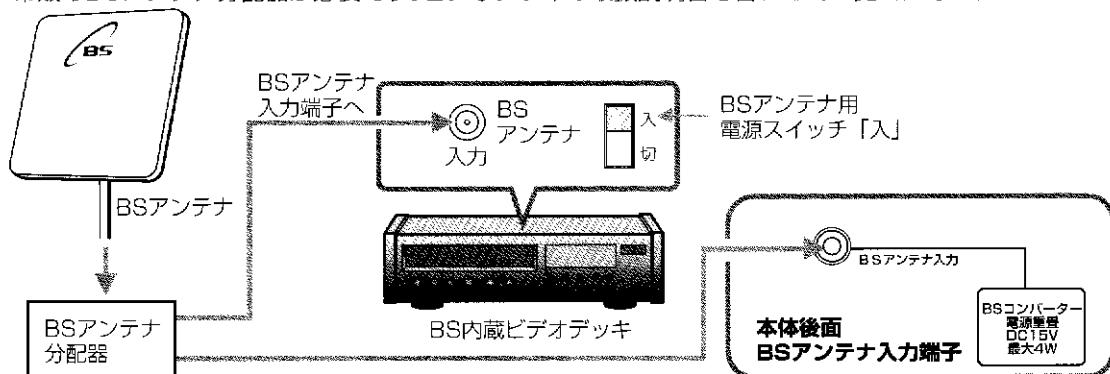
1. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」を設定する。（☛P.46）
2. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。（☛P.47）
3. 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合せ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。（☛P.48）

■BS内蔵のビデオデッキも一緒に接続するとき

アンテナのケーブルはビデオデッキのBSアンテナ入力端子に接続し、ビデオデッキのBSアンテナ出力端子からのケーブルを本機のBSアンテナ入力端子につなぎます。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。

1. 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を「供給しない」にする。(☛P.46)
2. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☛P.47)
3. 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合せ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☛P.48)

■BS内蔵のビデオデッキ（BSアンテナ出力端子なし）も一緒に接続するとき

市販のBSアンテナ分配器が必要です。ビデオデッキの取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。

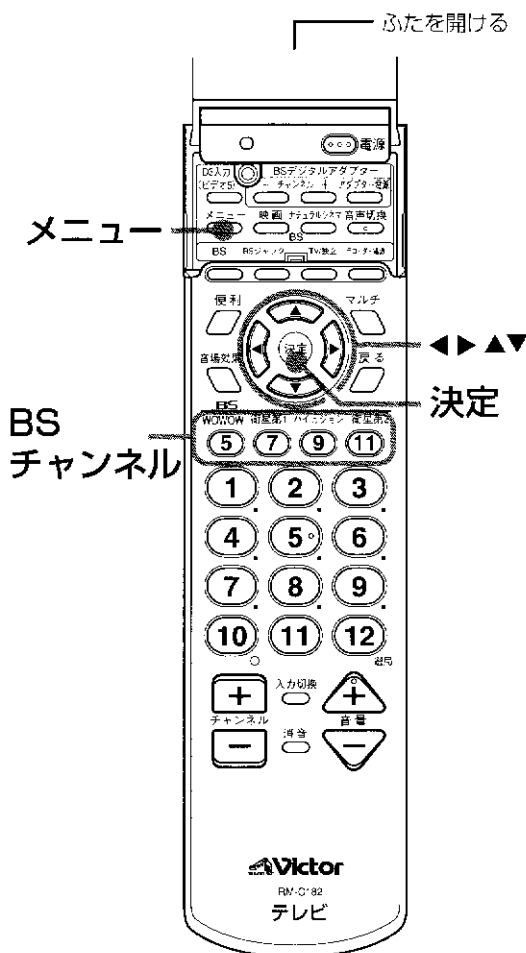
1. 設定メニューの「BS設定」で「BSアンテナへの電源供給」を設定する。(☛P.46)
   - ● BSアンテナ分配器が両通電のとき：「供給する」にする。
     このときは、本装置またはビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
   - ● BSアンテナ分配器が片通電のとき：「供給しない」にする。
     このときは、ビデオデッキからコンバーターへ電力を供給します。
2. 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」で、BSアンテナの向きを調節する。(☛P.47)
3. 必要ならば、設定メニューの「チャンネル合せ」の「BSチャンネルボタンの設定変更」で、BSチャンネルの設定を変更する。(☛P.48)

BSアンテナの設定をする

BSアンテナを設置したときは必ず設定をしてください。

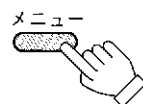
次のようなメッセージが表示されたときは…

BSアンテナに不具合があります。 BS放送にしてから、この設定を選んでください。

「こんなメッセージが表示されたら」(☛P.84)をご覧ください。

BSアンテナに電源を供給する

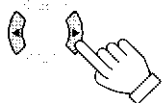
BSアンテナに電源を本機から供給するかどうかを設定します。

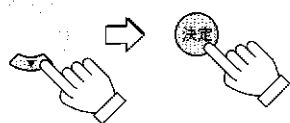
1 放送されているBSチャンネルを選ぶ

2 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

3 矢印を「BS設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

4 **矢印が「BSアンテナへの電源供給」に合っていることを確認して、►または◄ボタンを押し、設定を変更する**

- 「**供給する　テレビ電源連動**」：本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給します。
  ただし、本機の電源を切ったときは、BSアンテナコンバーターには電源は供給されません。
  （リモコンの電源ボタンを押して、電源を切ったときに、BSジャックが「入り（BS固定）」になっていれば、BSアンテナ電源は供給されます。）
- 「**供給しない**」：本機からBSアンテナのコンバーターに電源を供給しません。
  マンションなどで共聴アンテナをお使いのときや、他のBS機器から電源を供給しているときに選びます。

5 **設定が終わったら、「BS設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す**

BSアンテナの向きを調節する

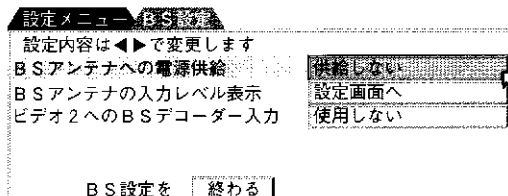
画面に表示されるBSアンテナの入力レベルを見ながら、BSアンテナの向きを調節します。

1 **46ページの手順*1*から*3*までを行う**

1. **BSチャンネル**ボタンを押し、放送のあるBSチャンネルを選ぶ
2. **メニュー**ボタンを押し、設定メニューを表示する
3. ▼/►ボタンを押し、矢印を「**BS設定**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す
   次の画面が表示されます。

設定メニュー　BS設定

設定内容は◀▶で変更します

BSアンテナへの電源供給	供給しない
BSアンテナの入力レベル表示	設定画面へ
ビデオ2へのBSデコーダー入力	使用しない

BS設定を　終わる

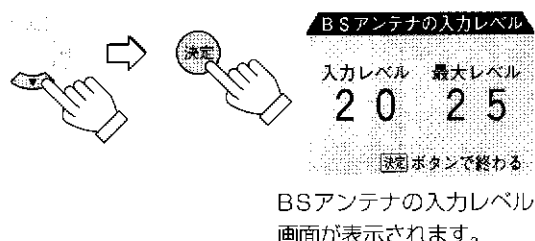
2 **矢印を「BSアンテナの入力レベル表示」に合わせて、決定ボタンを押す**

BSアンテナの入力レベル

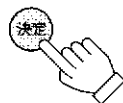
入力レベル　最大レベル

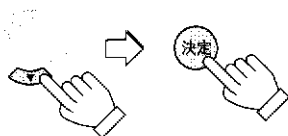
20　25

決定ボタンで終わる

BSアンテナの入力レベル画面が表示されます。

3 **画面を見ながら、アンテナの向きを調節する**

- 画面上の「入力レベル」の数値が「最大レベル」の数値に近づくように調節します。

4 **決定ボタンを押し、調節を終了する**

ふたたび、手順*1*画面に戻ります。

5 **「BS設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す**

入力レベルの数値は…

BSアンテナを調節するときの目安です。
BS放送がきれいに映っていれば、数値を気にする必要はありません。

BSチャンネルの設定を変更する

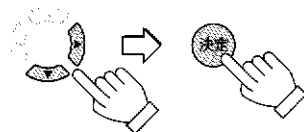
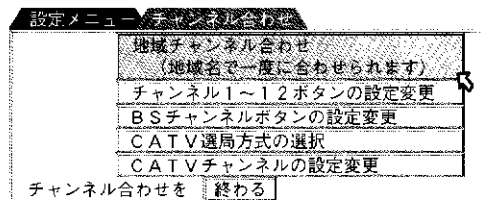
BSチャンネル選局時に画面表示する放送局名の選択と、チャンネル＋／－でBSチャンネルを選ぶときに、選局するかしないかの指定ができます。

1 放送されているBSチャンネルを選ぶ

WOWOW 衛星第1 ハイビジョン 衛星第2

2 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

3 矢印を「チャンネル合わせ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

2画面、裏番組、番組一覧中は…

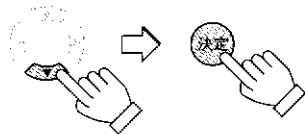
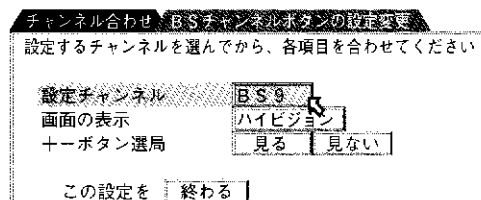
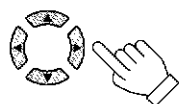
設定メニューの「BSチャンネルボタンの設定変更」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押すと、上記の機能は解除されます。

4 矢印を「BSチャンネルボタンの設定変更」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

チャンネル合わせ　BSチャンネルボタンの設定変更
設定するチャンネルを選んでから、各項目を合わせてください

設定チャンネル	BS9
画面の表示	ハイビジョン
＋－ボタン選局	見る　見ない

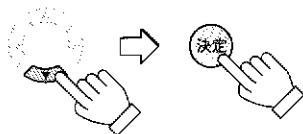
この設定を　終わる

5 必要な項目を設定する

1 ▼(または▲)ボタンを押し、矢印を設定したい項目に合わせる
2 ►または◄ボタンを押し、設定を変更する
3 手順**1**と**2**を繰り返し、必要な設定を行う

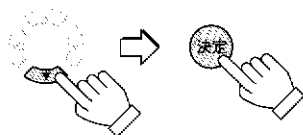
項目	こんなときに使います
設定チャンネル	設定するチャンネルの番号を選びます。(BS1、3、5、7、9、11、13、15)
画面の表示	テレビ画面の表示を選びます。(表示なし、衛星第1、衛星第2、WOWOW、ハイビジョン)
＋－ボタン選局	チャンネル＋/－ボタンでそのチャンネルを選べるようにするか、しないかの設定をします。放送を受信していないときは、「**見ない**」にします。

- ハイビジョン放送をご覧になるには、別売のMUSEデコーダーが必要になります。
- WOWOWをご覧になるには、別売のBSデコーダーが必要になります。

6 他のBSチャンネルの設定も変更するときは

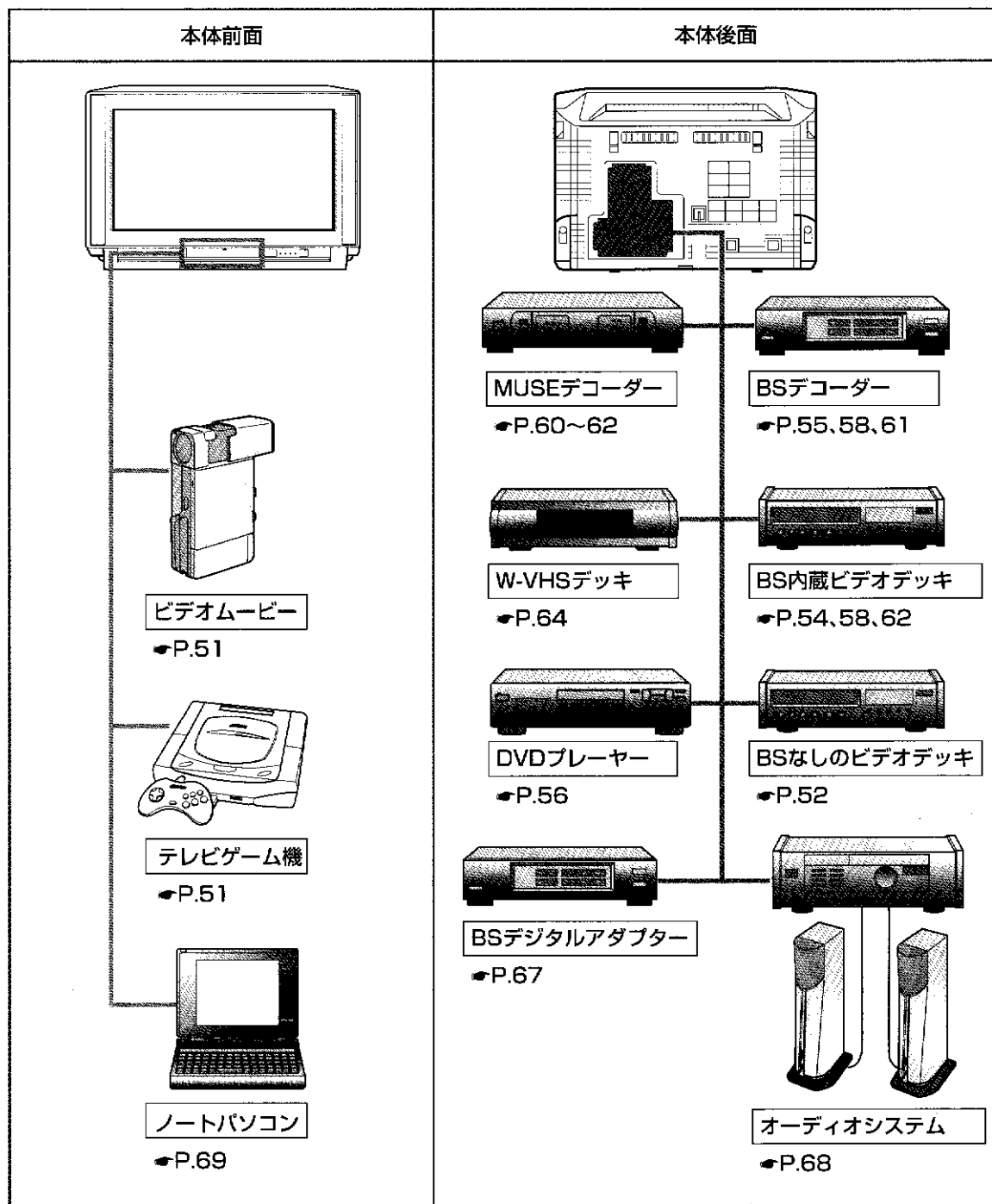
1 ▼(または▲)ボタンを押し、矢印を「**設定チャンネル**」に合わせる
2 ►または◄ボタンを押し、設定チャンネルを変更する
3 ▼(または▲)ボタンを押し、矢印を設定したい項目に合わせる
4 ►または◄ボタンを押し、設定を変更する
5 手順**3**と**4**を繰り返し、必要な設定を行う

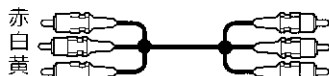
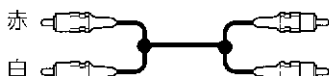
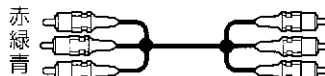
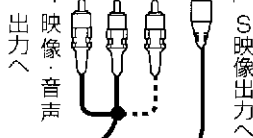
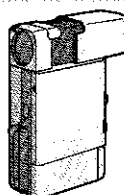
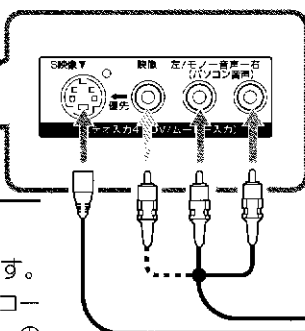
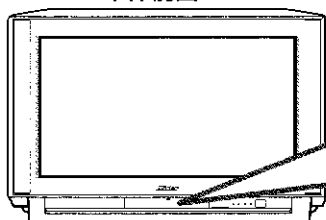
7 設定が終わったら、「この設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

ふたたび、手順**3**の画面が表示されます。

8 矢印を「チャンネル合わせを『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

これでBSチャンネル設定の変更は終了しました。

AV機器などを接続する

次のようなAV機器を本機につないでご利用いただけます。
接続するときには、それぞれの機器の電源を切ってから行います。また、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

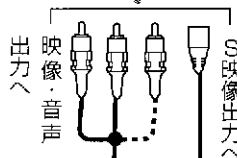
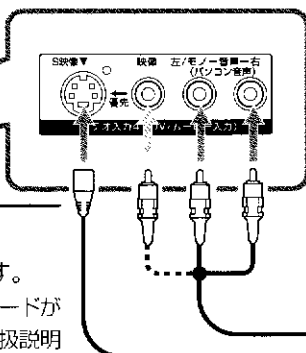
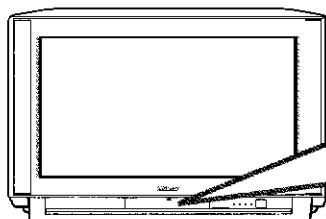
● 下記の機器は、接続できるAV機器の一例です。下記以外の機器をつなぐときは、接続する機器の取扱説明書を参照ください。

接続コードについて

- 接続に必要なコード類は、次のような市販のコードまたは相手機器に付属のコードをお使いください。
- S映像コードと映像コードの両方のコードが使用できるときは、S映像コードで接続すると、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

ビデオムービーを接続する

ビデオムービーを見るときは：

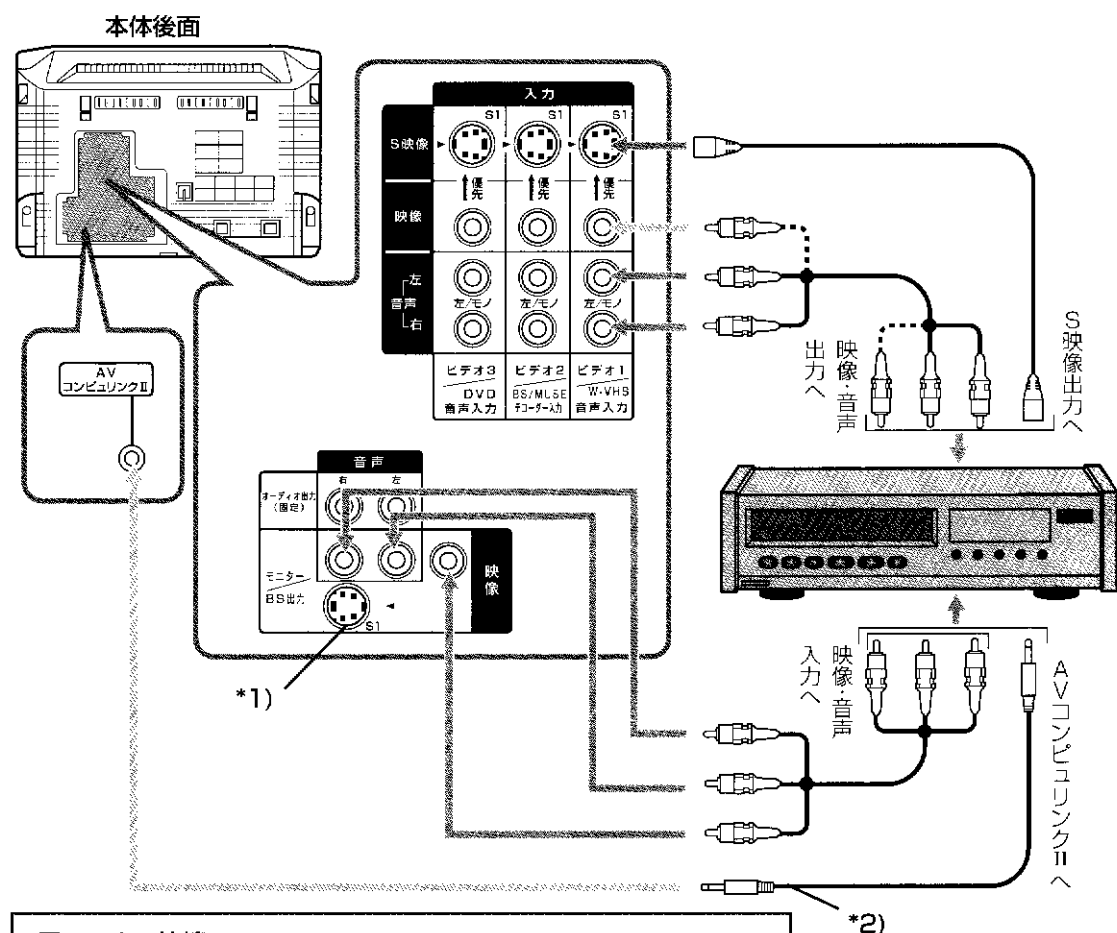
入力切換ボタンを押し、「ビデオ4」を選びます。

- ビデオムービーの接続には、機種により専用のコードが必要になります。詳しくは、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

テレビゲーム機を接続する

ゲームをするときは：

入力切換ボタンを押し、「ビデオ4」を選びます。

- テレビゲーム機の接続には、機種により専用のコードが必要になります。詳しくは、テレビゲーム機の取扱説明書をご覧ください。

BSなしのビデオデッキを接続する

アンテナの接続:

- VHF/UHFアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。(☛P.35)
- BSアンテナは本機につなぎます。(☛P.44)

*1) モニター/BS出力映像端子をS映像コードで接続すると、BSジャックが「**入り(BS固定)**」のときに、BS放送の番組は録画できなくなります。

*2) ビクター製のAVコンピュリンクII端子があるビデオデッキを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクケーブルがないときは、モノラルミニプラグ付接続ケーブル(別売り:CN-120A)をご使用ください。

設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.71)
- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(☛P.73)
- AVコンピュリンクII端子を接続したときは、ビデオデッキのリモコンコードを「Aコード」に設定する。(ビデオデッキをビデオ2入力端子に接続するときは「Bコード」に設定します。)

ビデオを見るときは：

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

BS放送を録画するときは：

「BS番組を録画する」(☛P.32)をご覧ください。

通常のテレビ番組（VHF/UHF/CATV）を録画するには

通常のテレビ番組は、ビデオデッキ側だけで録画します。

操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

ビデオデッキにAVコンピュリンクII端子が付いているときは：

本機とビデオデッキのAVコンピュリンクII端子どうしをつなぎ、設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」(☛P.73)を「使用する」に設定すると、テレビとビデオデッキなどの連係操作ができるようになります。

- ビデオデッキのタイマー予約でBS放送のタイマー録画ができます。(ビデオデッキ側のBSチャンネル設定が必要です。)
  ビデオデッキのBSチャンネル設定やタイマー予約の方法は、お持ちのビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- ツメの折れたビデオテープ(市販のビデオソフトなど)をビデオデッキに入れるだけで、自動的にビデオデッキの電源が入りテープの再生が始まります。テレビの入力は「ビデオ1」に切り換わります。
  (テレビの電源が切れているときは、自動的に電源が入ります。)
- AVコンピュリンクII端子を使うときは、本機後面のモニター/BS出力端子のS映像端子には、ケーブルを接続しないでください。BSジャックが「**入り(固定)**」になると、S映像端子からはBS信号は出力されず、BS放送が録画できなくなります。

ビデオを見るときは:

テープをビデオデッキに入れ、再生ボタンを押します。

BS放送を録画するときは:

1. ビデオデッキで、録画したい番組を選ぶ
   ビデオデッキでBS放送を選ぶと、本機のBSジャックは自動的に「**入り(BS固定)**」になります。
   テレビ本体前面のBSジャックランプがオレンジ色に点灯します。
2. ビデオデッキで録画を始める
3. 録画が終わったら、ビデオデッキでBSチャンネル以外のチャンネルを選ぶ
   本機は自動的にBSジャックを「**切り**」にします。テレビ本体前面のBSジャックランプが消えます。

BS録画中にできること

- 他の番組(VHF/UHF/CATV)を見る。
- 外部接続機器の映像を見る。
- リモコンで電源を切る。
  録画はそのまま継続されます。

絶対に本体の電源ボタンで電源を切らないでください。BSチューナーの電源が切れて、録画が途切れてしまいます。

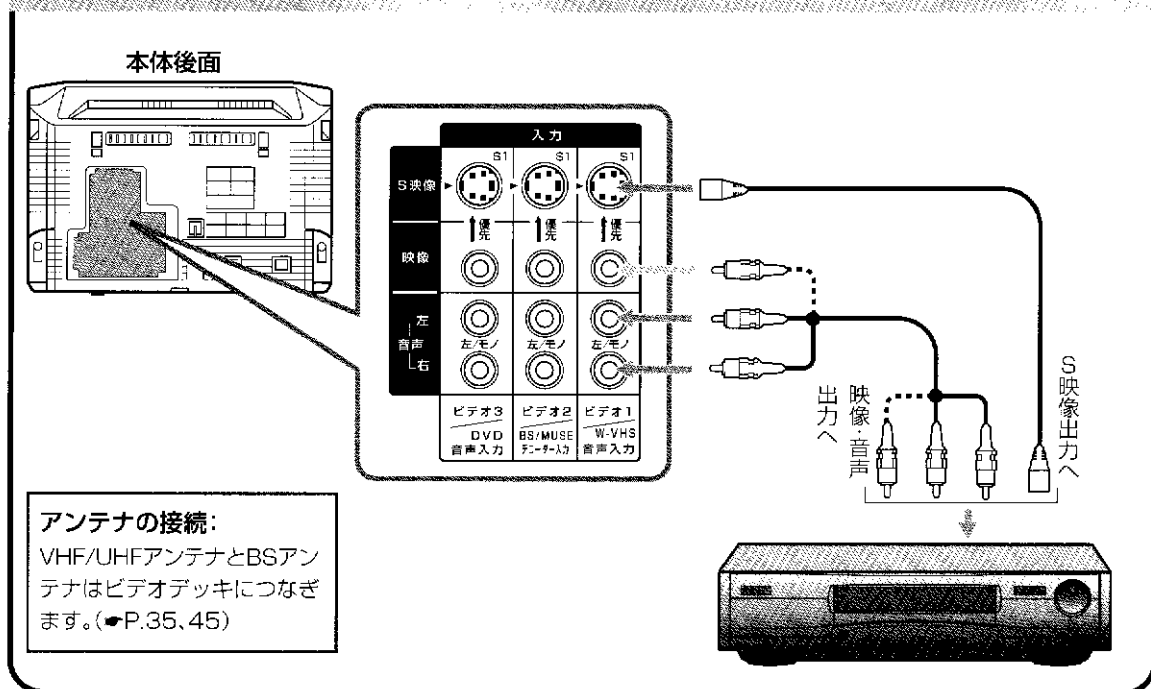
BS録画中にできないこと

- BSチャンネルを切り換える。
- 音声を切り換える。(音声切換、TV/独立)

■ビデオデッキと連動する機能について

ビデオデッキ側で行う操作	テレビの動作
ツメを折ったビデオテープを入れる	テレビの電源が入る
再生の操作をする	ビデオ入力が切り換わる(ビデオ1)
BSチャンネルを選ぶ	BSチャンネルが切り換わる BSジャックが「入り(BS固定)」になる
電源を切る	ビデオデッキ側の操作で、BSジャックが「入り(BS固定)」になっていた場合、BSジャックは「切り」になる

- ビデオデッキのリモコンコードを「Bコード」に設定してお使いのときは、ビデオデッキの映像・音声出力端子を本機のビデオ2入力端子に接続してください。

BS内蔵のビデオデッキを接続する

設置後に次の設定をしてください。

● 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.71)

ビデオを見るときは：

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

通常のテレビ番組（VHF/UHF/CATV）とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。

操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

BSデコーダーを接続する

本体後面

入力

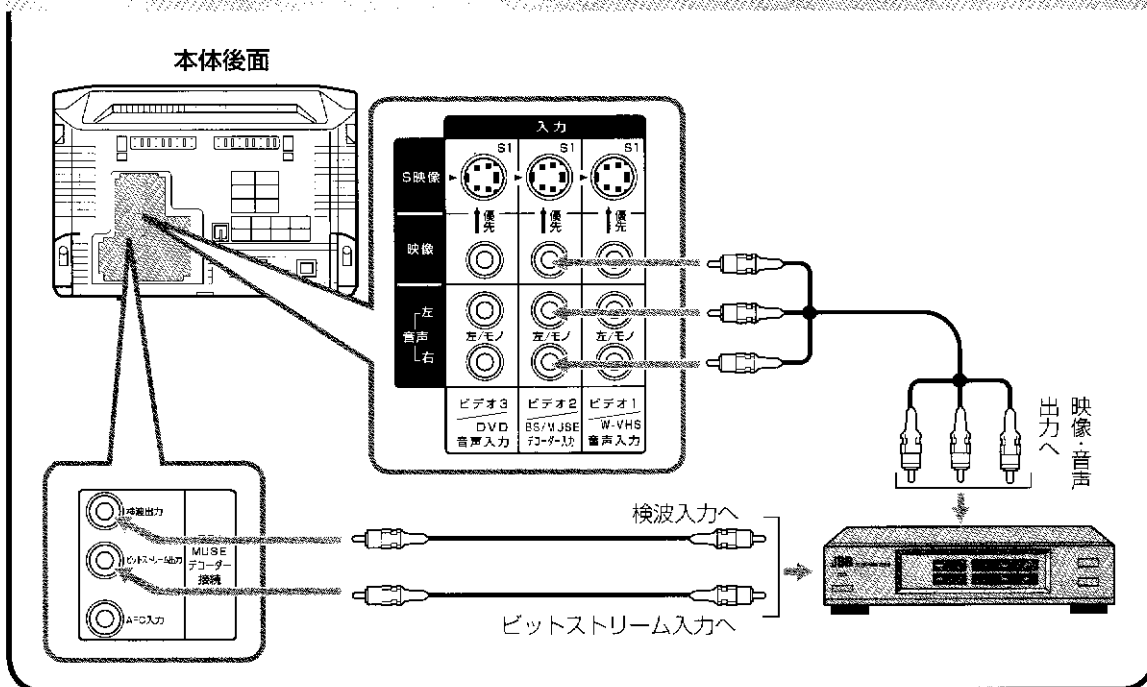
S映像 / 映像 / 音声 左・右

ビデオ3 DVD 音声入力　ビデオ2 BS/MUSE デコーダー入力　ビデオ1 W-VHS 音声入力

映像・音声出力へ

検波出力　ビットストリーム出力　MUSEデコーダー接続　AFC入力

検波入力へ

ビットストリーム入力へ

設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」あるいは「**使用する(固定)**」にする。(☛P.70)

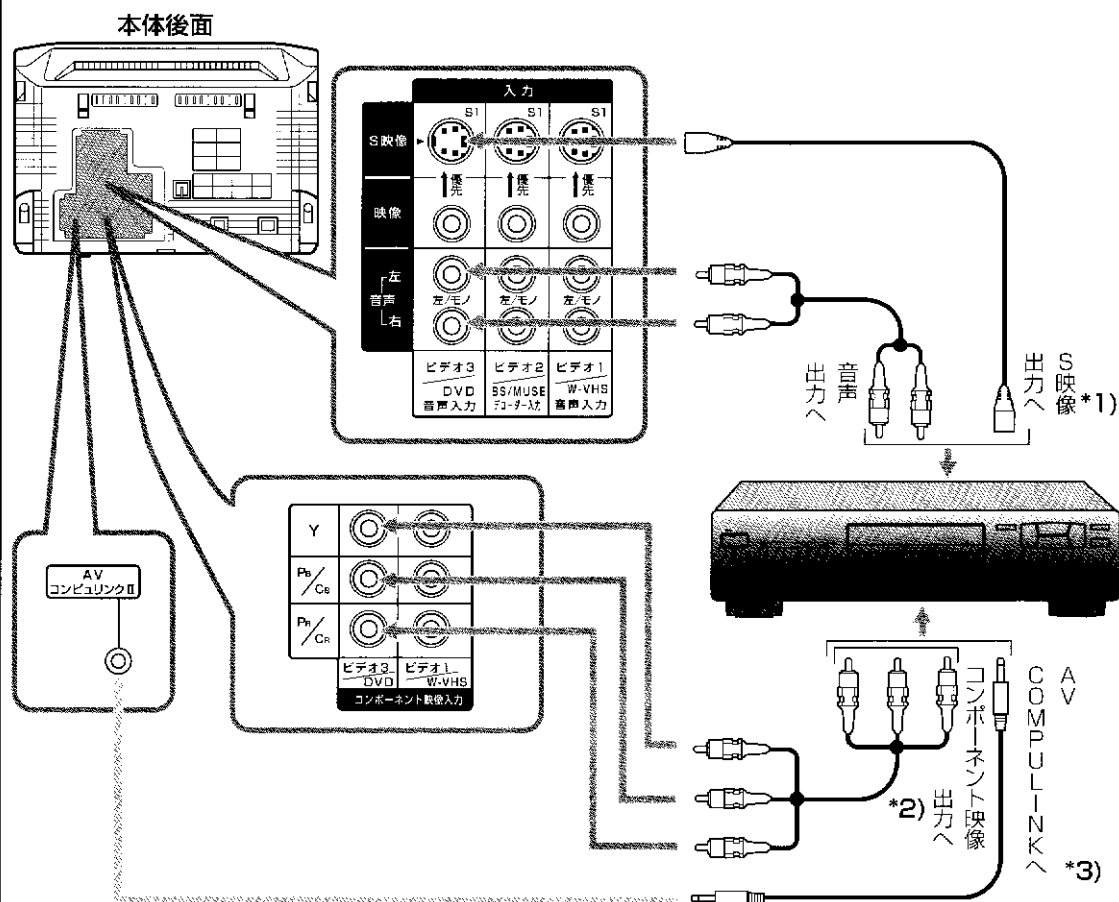
WOWOW を見るときは：

1. **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2. 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.15)
   - 二重音声はBSデコーダー側で選びます。

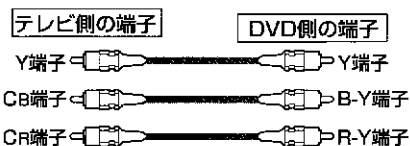
St. GIGA を聞くときは：

1. **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2. 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.15)
3. BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
   - BSデコーダー側で独立音声を選んでSt.GIGAの音声が聞けないときは、設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(固定)**」に設定してください。

DVDプレーヤーを接続する

本体後面

*1) コンポーネント映像入力を使って接続している場合でも、S映像コードを接続することをおすすめします。DVDプレーヤーからの映像の画面サイズを自動で切り換えることができるようになります。
DVDプレーヤーからの映像を2画面(☛P.18)で見たいときは、S映像コードと音声コードで接続してください。
コンポーネント映像コードのみでご使用の場合は、DVDプレーヤーからの映像を2画面で見ることはできません。

*2) お手持ちのDVDプレーヤーにコンポーネント映像出力(Y/CB/CR)端子があるときに接続します。DVD用コンポーネントビデオコード(別売り)などをお使いください。
また、DVDプレーヤーのコンポーネント映像出力端子に「Y/B-Y/R-Y」と記載されているときは、右のように接続してください。

テレビ側の端子	DVD側の端子
Y端子	Y端子
CB端子	B-Y端子
CR端子	R-Y端子

*3) ビクター製のAVコンピュリンク端子があるDVDプレーヤーを接続するときにつなぎます。AVコンピュリンクケーブルがないときは、モノラルミニプラグ付接続ケーブル(別売り:CN-120A)をご使用ください。

設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」を設定する。(☛P.73)
- DVDプレーヤーのマルチアスペクト(画面サイズ)をワイド画面用の設定にしてください。
  詳しくは、お手持ちのDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

DVDを見るときは：

入力切換ボタンを押し、「ビデオ3」を選びます。

DVDプレーヤーにAVコンピュリンク端子が付いているときは：

本機のAVコンピュリンクII端子とDVDプレーヤーのAVコンピュリンク端子をつなぎ、設定メニューの「各種設定」の「AVコンピュリンクII端子」(☛P.73)を「使用する」に設定すると、DVDプレーヤーを操作するだけで、テレビ電源が入り、DVDプレーヤーを接続した入力が自動的に選ばれます。

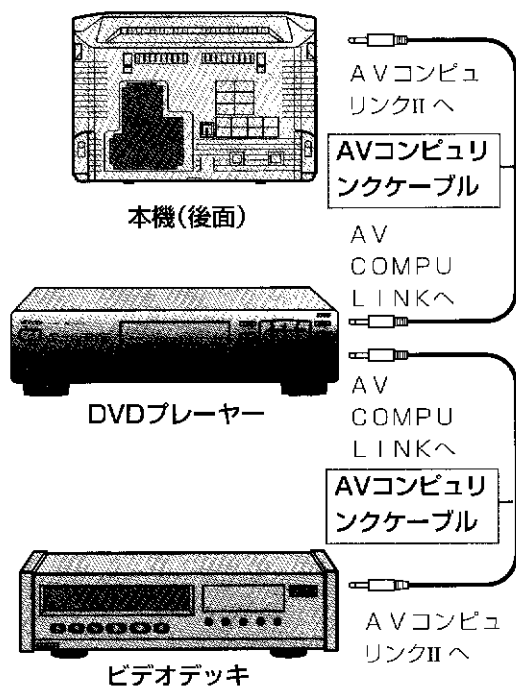
必要な設定：

● 本機でDVDプレーヤーの接続に使用した入力端子にあわせて、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを次のように設定してください。

使用した入力端子	AVコンピュリンクモード
ビデオ3	DVD1
ビデオ1	DVD2
ビデオ2	DVD3

56ページの図のように接続したときは、AVコンピュリンクモードを「DVD1」にします。

AVコンピュリンクII端子のあるビデオデッキも接続するときは：

1 次のようにAVコンピュリンクケーブルを接続する

2 DVDプレーヤーの映像・音声出力を本機後面のビデオ3入力端子に接続する

3 ビデオデッキの映像・音声出力を本機後面のビデオ1入力端子に接続する

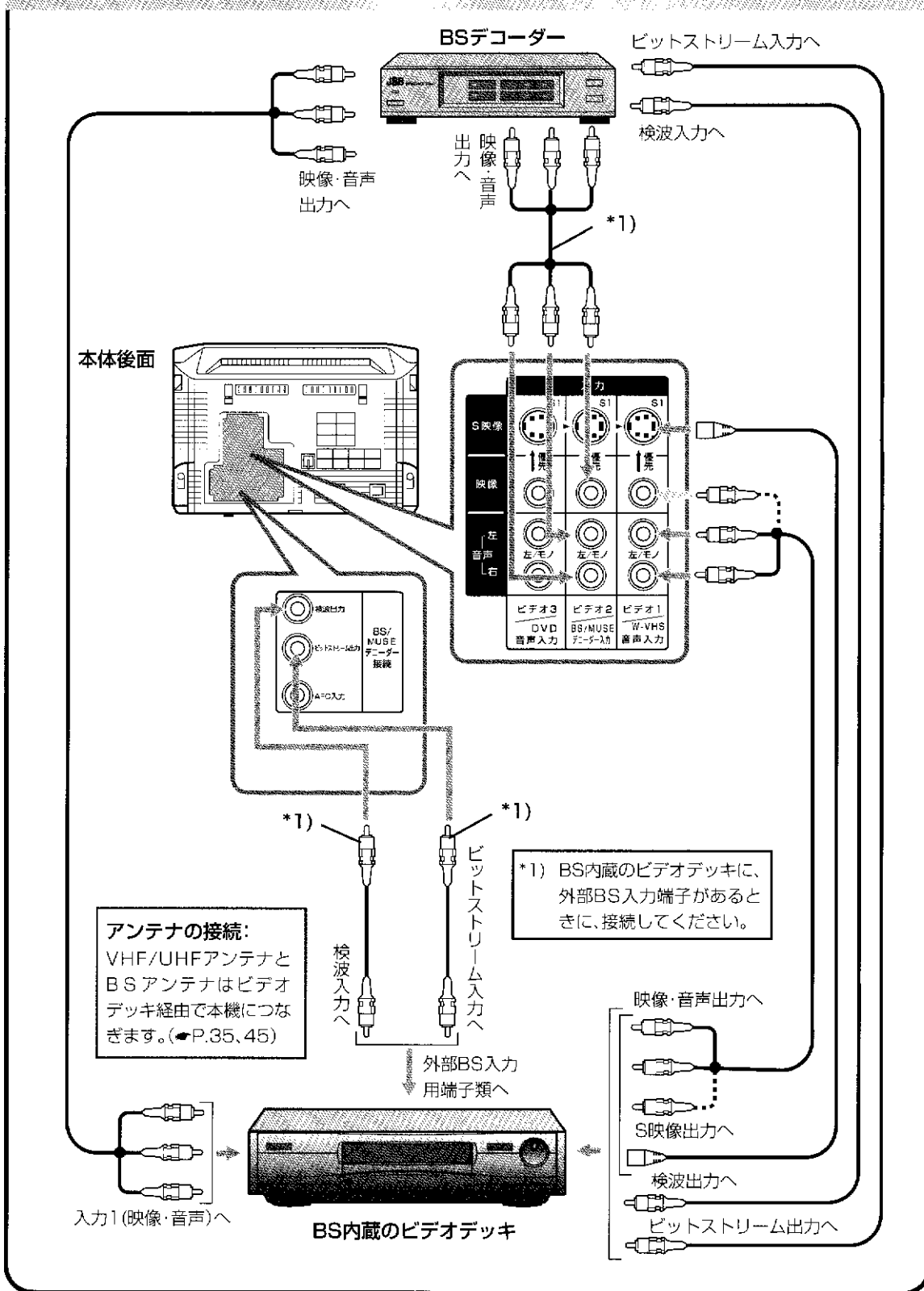
4 DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを「DVD1」に設定する

5 ビデオデッキのリモコンコードを「Aコード」に設定する

● BSジャックが「**入り(BS固定)**」のときは、DVDプレーヤーの電源を切らないでください。DVDプレーヤーの電源を切ると、録画が中止されることがあります。

● 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する**」にしているときは、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードを「DVD3」に設定すると、本機の入力は「ビデオ3」に切り変わるようになります。

● AVレシーバーを組み合わせて接続するときは、DVDプレーヤーのAVコンピュリンクモードの設定を変える必要がある場合があります。
詳しくは、AVレシーバーとDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

BSデコーダーとBS内蔵のビデオデッキを接続する

*1) BS内蔵のビデオデッキに、外部BS入力端子があるときに、接続してください。

アンテナの接続:
VHF/UHFアンテナとBSアンテナはビデオデッキ経由で本機につなぎます。(☛P.35、45)

設置後に次の設定をしてください。
- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.71)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.70)

ビデオを見るときは：

入力切換ボタンを押し、「ビデオ1」を選びます。

WOWOWを見るときは：

1 **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.15)

St. GIGAを聞くときは：

1 **デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ(☛P.15)
3 BSデコーダー側で独立音声(St. GIGA)を選ぶ
- BSデコーダー側で独立音声を選んでSt. GIGAの音声が聞けないときは、設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(固定)**」に設定してください。

BS内蔵のビデオデッキに外部BS入力端子がなく、58ページの*1)接続ができないのときは、以下の手順でWOWOWやSt.GIGAをお楽しみください。

1 BS内蔵のビデオデッキ側で、BS5チャンネルを選ぶ
2 本機の**入力切換**ボタンを押し、「ビデオ1」を選ぶ

- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用しない**」にする必要があります。

通常のテレビ番組（VHF/UHF/CATV）とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

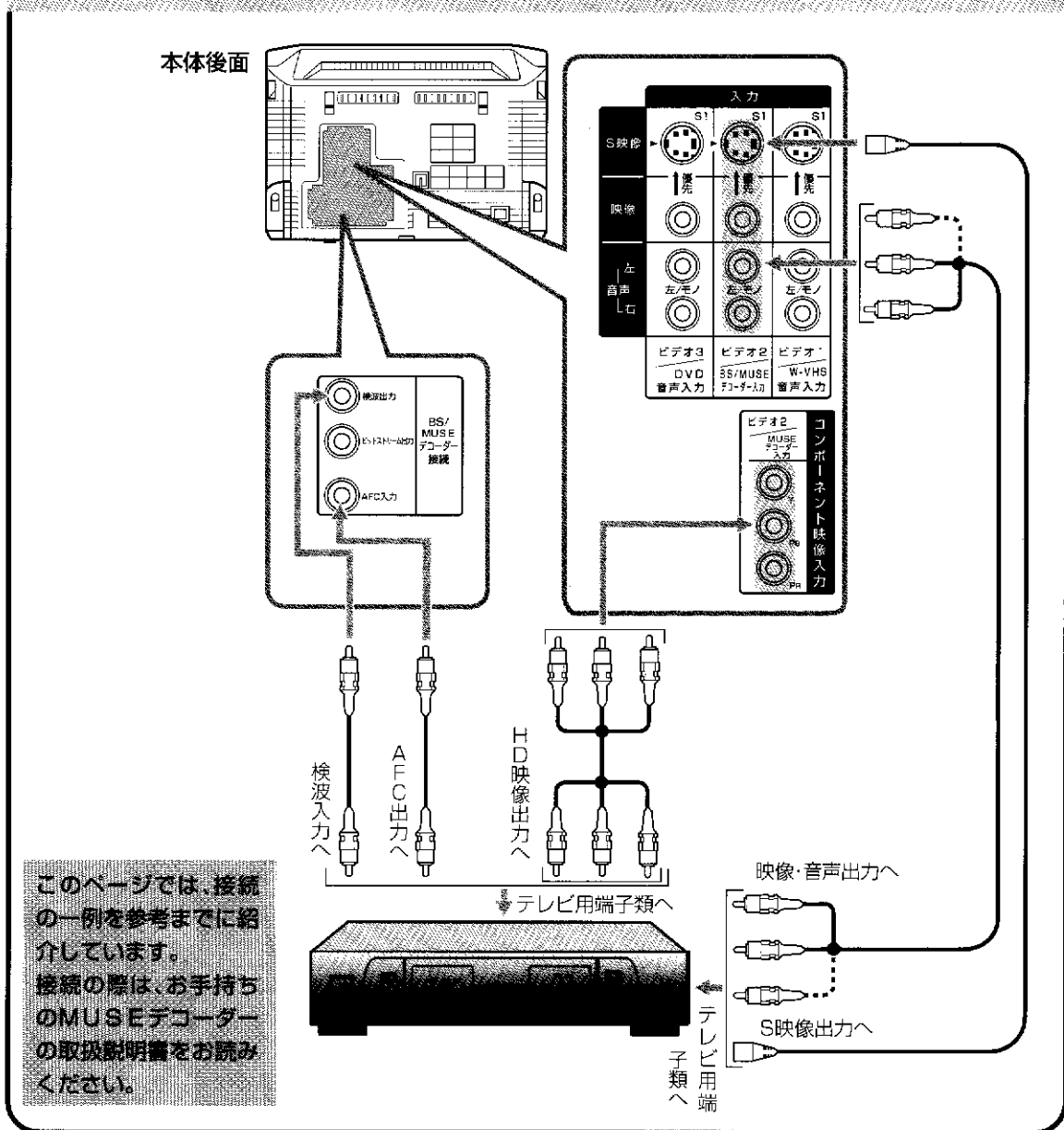
BS有料番組を録画するときは：

BSデコーダーとビデオデッキだけで行えます。(本機の操作とは関係なく、録画できます。)

1 **デコーダー電源**ボタンを押して、BSデコーダーの電源を入れる
2 ビデオデッキの電源を入れ、ビデオデッキで録画したい番組(BS5チャンネル)を選ぶ
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
3 BSデコーダーで音声を選ぶ
4 ビデオデッキで録画を始める

MUSEデコーダーを接続する

本体後面

このページでは、接続の一例を参考までに紹介しています。
接続の際は、お手持ちのMUSEデコーダーの取扱説明書をお読みください。

設置後に次の設定をしてください。

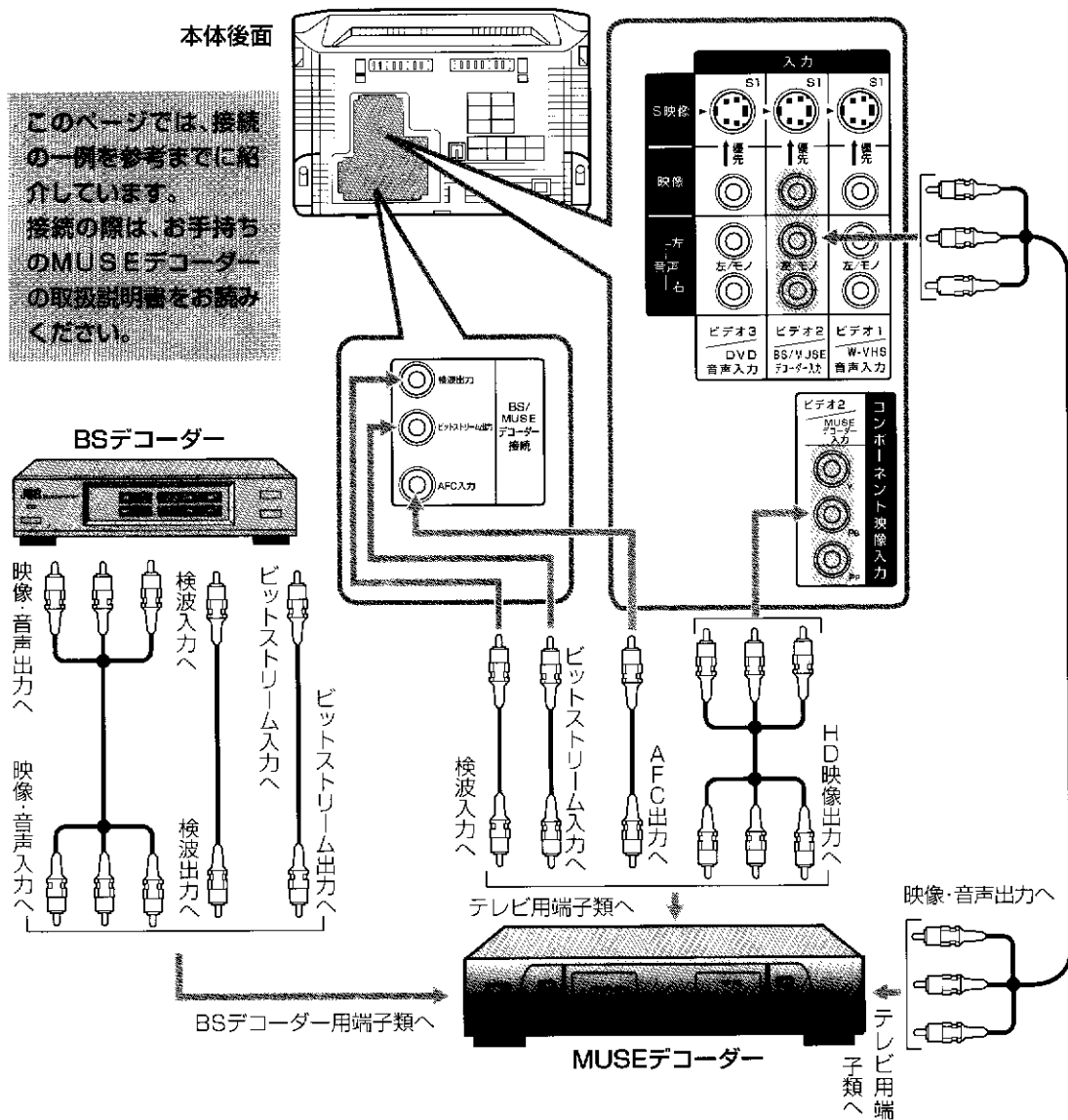
● 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.70)

ハイビジョン放送を見るときは：

1 MUSEデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS9チャンネル(ハイビジョン放送)を選ぶ(☛P.15)

MUSEデコーダーを設置するときは

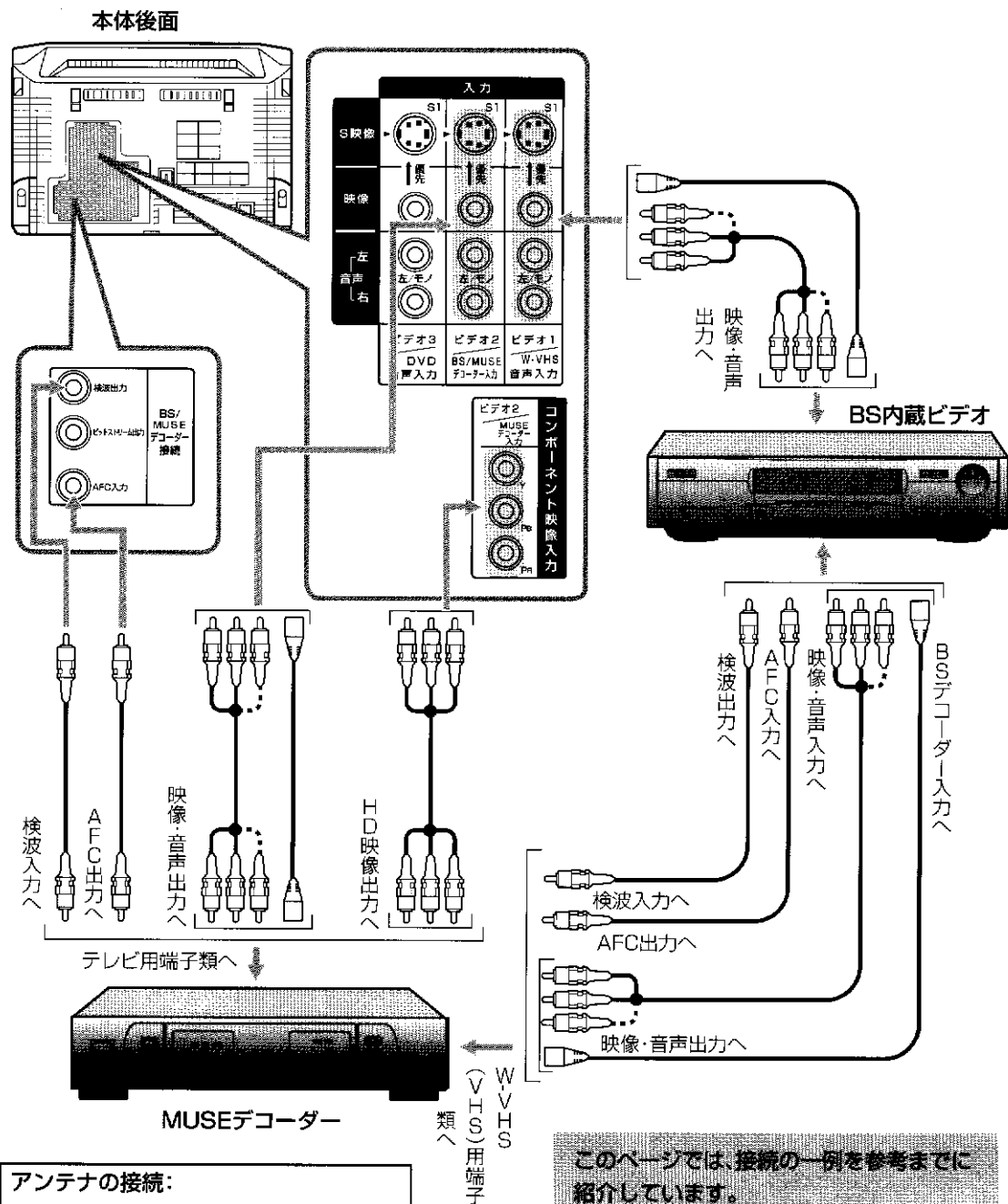
MUSEデコーダーはテレビ置台の中など、テレビからできるだけ離して設置してください。
テレビの上や横などに置くと、本来の映像とは関係のない横線が見えることがあります。

MUSEデコーダーとBSデコーダーを接続する

設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.70)

ハイビジョン放送やBS有料放送を見るときは：

1. MUSEデコーダーやBSデコーダーの電源を入れる
2. 本機でBS9チャンネル(ハイビジョン放送)やBS5チャンネル(WOWOW)を選ぶ(☛P.15)

MUSEデコーダーとBS内蔵のビデオデッキを接続する

アンテナの接続:
VHF/UHFアンテナとBSアンテナはビデオデッキにつなぎ、ビデオデッキ経由で本機につなぎます。(☛P.35、45)

このページでは、接続の一例を参考までに紹介しています。
接続の際は、お手持ちのMUSEデコーダーの取扱説明書をお読みください。

設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.71)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.70)

ビデオデッキの映像を見るときは：

1 **入力切換**ボタンを押して、「ビデオ1」を選ぶ
2 ビデオデッキの電源を入れ、テープを再生する

ハイビジョン放送を見るときは：

1 MUSEデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS9チャンネル(ハイビジョン放送)を選ぶ(☛P.15)

通常のテレビ番組（VHF/UHF/CATV）とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、ビデオデッキ側だけで録画します。
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

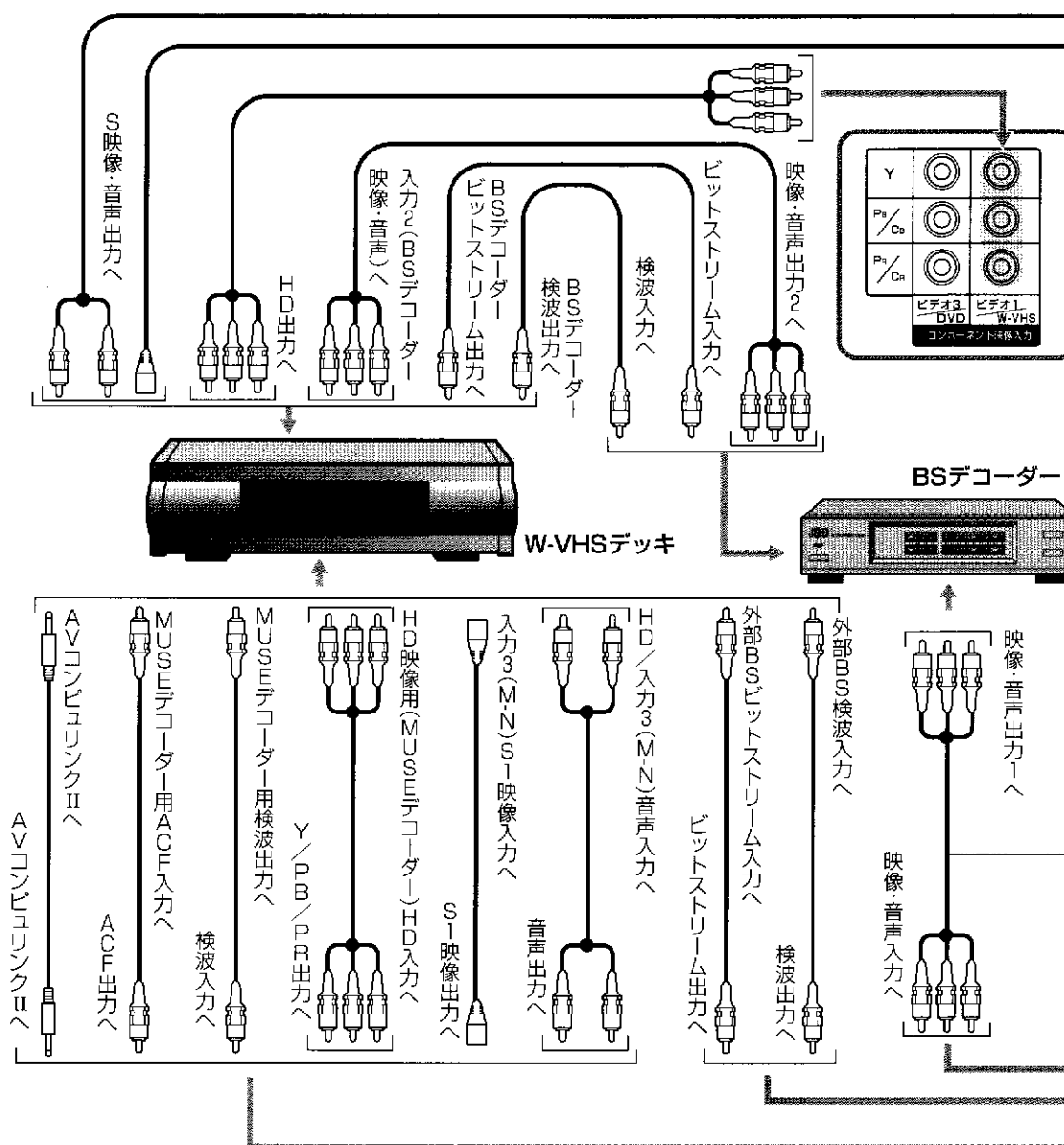
ハイビジョン放送の番組を録画するときは：

MUSEデコーダーとビデオデッキだけで行えます。(本機の操作とは関係なく、録画できます。)

1 MUSEデコーダーとビデオデッキの電源を入れる
2 ビデオデッキでBS9チャンネル(ハイビジョン放送)を選ぶ
3 録画を始める

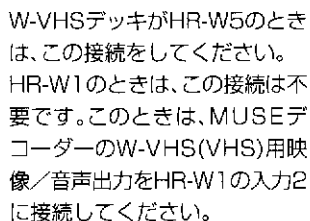
MUSEデコーダーを設置するときは

MUSEデコーダーはテレビ置台の中など、テレビからできるだけ離して設置してください。
テレビの上や横などに置くと、2画面で見ているときに本来の映像とは関係のない横線が見えることがあります。

MUSEデコーダー、BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する

このページでは、接続の一例を参考までに紹介しています。接続の際は、お手持ちのMUSEデコーダーの取扱説明書をお読みください。

アンテナの接続:

VHF/UHFアンテナとBSアンテナはW-VHSデッキにつなぎます。(☛P.35、45)

- W-VHSデッキのBSアンテナ出力と本機のBSアンテナ入力をつなぎます。
- W-VHSデッキのVHF/UHFアンテナ出力と本機のVHF/UHFアンテナ入力をつなぎます。

本体後面

W-VHSデッキがHR-W5のときは、この接続をしてください。HR-W1のときは、この接続は不要です。このときは、MUSEデコーダーのW-VHS(VHS)用映像／音声出力をHR-W1の入力2に接続してください。

入力
S映像
映像
左
音声
右
ビデオ3 DVD 音声入力
ビデオ2 BS/MUSE デコーダー
ビデオ1 W-VHS

検波出力
ビットストリーム出力
AFC入力
BS/MUSEデコーダー接続

ビデオ2 MUSEデコーダー入力
コンポーネント映像入力

検波入力へ
AFC出力へ
ビットストリーム入力へ
Y/PB/PR出力へ

テレビ用端子類へ
映像·音声出力へ
テレビ用端子類へ

BSデコーダー用端子類へ
BSデコーダー用端子類へ
W-VHS(VHS)用端子類へ

MUSEデコーダー

MUSEデコーダーを設置するときは

MUSEデコーダーはテレビ置台の中など、テレビからできるだけ離して設置してください。
テレビの上や横などに置くと、2画面で見ているときに本来の映像とは関係のない横線が見えることがあります。

次のページへ続く

MUSEデコーダー、BSデコーダーとW-VHSデッキを接続する(つづき)

設置後に次の設定をしてください。

- 設定メニューの「各種設定」の「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」を「**出力しない**」に設定する。(☛P.71)
- 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を「**使用する(自動切換)**」にする。(☛P.70)

W-VHSデッキの映像を見るときは：

1. **入力切換**ボタンを押し、「ビデオ1」を選ぶ
2. W-VHSデッキの電源を入れ、テープを再生する

ハイビジョン放送やBS有料番組を見るときは：

1. MUSEデコーダーやBSデコーダーの電源を入れる
2. BSチャンネルボタンを押して、見たい番組を選ぶ

通常のテレビ番組（VHF/UHF/CATV）とBS放送を録画するには

通常のテレビ番組やBS有料放送以外のBS放送は、W-VHSデッキ側だけで録画します。
34ページや44ページのアンテナ接続も行ってください。
操作のしかたは、ビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン放送やBS有料番組を録画するときは：

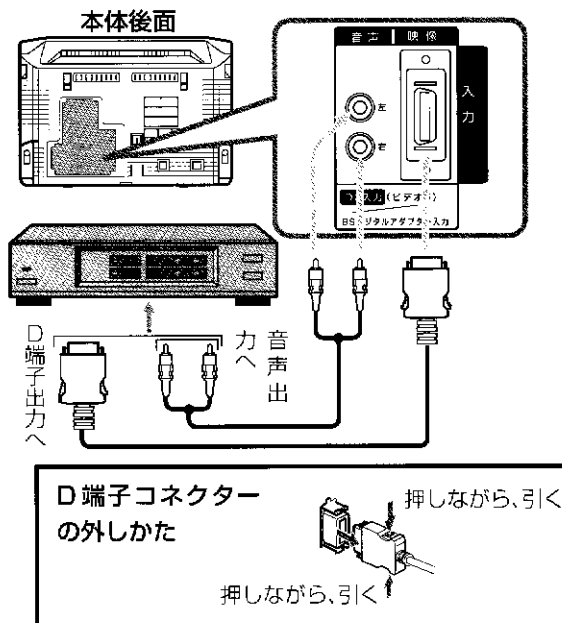
1. MUSEデコーダーやBSデコーダーの電源を入れる
2. W-VHSデッキの電源を入れ、W-VHSデッキで番組を選ぶ
3. MUSEデコーダーやBSデコーダーで音声を選ぶ
4. W-VHSデッキで録画を始める

ハイビジョン放送を録画中にBS有料放送を見るには

1. MUSEデコーダーの入力切換ボタンを押して、「W-VHS」を選ぶ
   W-VHSランプが点灯する
2. MUSEデコーダーのNTSC出力選択ボタンを押して、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ
   M-N/BSデコーダーランプが点灯する
3. W-VHSデッキでBS9チャンネル(ハイビジョン放送)を選び、録画を始める
4. 本機のリモコンの**デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
5. 本機のリモコンの**BSチャンネル**ボタンを押して、BS5チャンネル(WOWOW)を選ぶ

BS有料放送を録画中にハイビジョン放送を見るには

1. MUSEデコーダーの入力切換ボタンを押して、「TV」を選ぶ
   TVランプが点灯する
2. MUSEデコーダーのNTSC出力選択ボタンを押して、「M-N/BSデコーダー」を選ぶ
   M-N/BSデコーダーランプが点灯する
3. 本機のリモコンの**デコーダー電源**ボタンを押し、BSデコーダーの電源を入れる
4. W-VHSデッキでBS5チャンネル(WOWOW)を選び、録画を始める
5. 本機のリモコンの**BSチャンネル**ボタンを押して、BS9チャンネル(ハイビジョン放送)を選ぶ

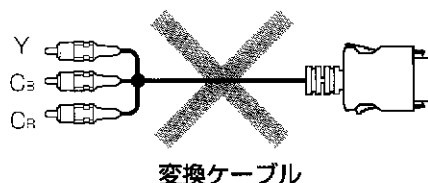
BSデジタルアダプターを接続する

接続するためには？

映像は「D端子ケーブル」という、専用ケーブルを使って接続します。

音声は通常の音声コード(ピンコード)を使って接続します。

D端子の接続には、D端子↔映像端子の変換ケーブルを使わないでください。

変換ケーブルを使って、本機のD3入力(ビデオ5)端子と接続すると、サイズ制御信号が受け取れなくなるために映像が流れたり、表示されなくなったり、正規の画面サイズで表示されなくなることがあります。

変換ケーブル

D端子とは？

近い将来始まるBSデジタル放送に備えて誕生した、新しい規格の端子です。

接続できる機器は？

BSデジタル放送を受信するためのBSデジタルアダプターや、BSデジタル放送の周辺機器としていろいろと開発・発売される予定です。

D端子の種類とフォーマット

D端子は、機器が出力できる信号の種類(フォーマット)により、D1からD5までに分けられています。

- **本機がもっている端子は「D3端子」です。**
- **接続できる機器のD端子が「D3」、「D2」または「D1」に対応していないと、本機には接続できません。**

D1	480i
D2	480p (480i)
D3	1080i (480p、480i)
D4	720p (1080i、480p、480i)
D5	1080p (720p、1080i、480p、480i)

- 表中の( )内の信号は、機器によっては対応していないことがあります。実際にお使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。また、「D4」と「D5」で扱える信号は変更になることがあります。
- 出力できる信号や切換方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

BSデジタル放送の映像を見るときは：

D3入力(ビデオ5)ボタンまたは**入力切換**ボタンを押し、「D3入力」を選ぶ

D端子で接続した機器からの映像が画面に映ります。(D端子ケーブルを本機に接続しないと、「D3入力」は選べません。)

1080iの映像信号を受信したときは、画面サイズは自動的に「サイズ2」になります。

480pの映像信号を受信したときは、画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- 16:9の映像の場合：「フル」になります。
- 劇場サイズの映像の場合：「シネマ」になります。
- 通常の4:3の映像の場合：「ノーマル」になります。

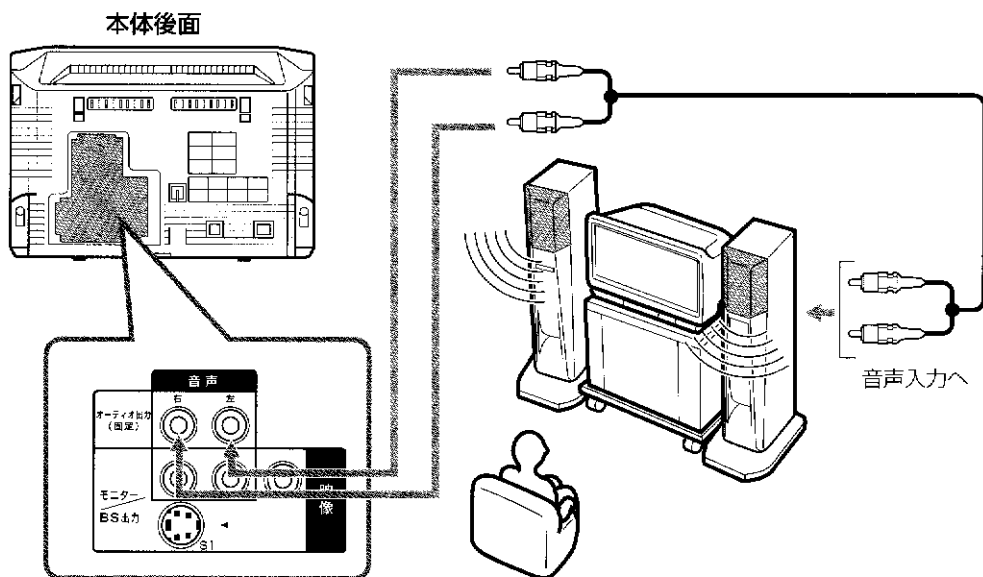
画面サイズが自動的に切り換った後で、「シネマ」、「フル」または「ノーマル」の中から、お好きな画面サイズを選ぶことができます。

480iの映像信号を受信したときは、画面サイズは次のように自動的に切り換わります。

- 16:9の映像の場合：「フル」になります。
- 劇場サイズの映像の場合：「シネマ」になります。
- 通常の4:3の映像の場合：設定メニューの「各種設定」の「オートパノラマ動作時の画面」で設定した画面サイズになります。

画面サイズが自動的に切り換った後で、「シネマ」、「フル」または「ノーマル」の中から、お好きな画面サイズを選ぶことができます。

アンプ(オーディオシステム)を接続する

オーディオ機器のスピーカーで本格的なステレオ音声を楽しむことができます。

本格的なステレオ音声を楽しむときは:

1 オーディオシステムの電源を入れる
2 オーディオシステムのソースセレクター(入力切換)で本機の音声を選ぶ
3 本機のリモコンの**音量ー**ボタンを押し、テレビの音量を「0」にする
4 オーディオシステム側からの音声を楽しむために、オーディオシステム側で音量を調節する

● オーディオシステムの操作のしかたは、オーディオシステムの取扱説明書をご覧ください。

お願い

● スピーカーは防磁タイプのものをお使いください。
● スピーカーをテレビに近づけ過ぎないでください。スピーカーから発生する磁気の影響で画面に色むらがでることがあります。スピーカーはテレビから20～30cm離して置いてください。スピーカーを離して置いても色むらがでるときは、いったん電源を切り、約30分間そのままにしておきます。その後再び電源を入れます。

ノートパソコンを接続する

VGA出力ができるパソコン(DOS/V機など)を接続できます。

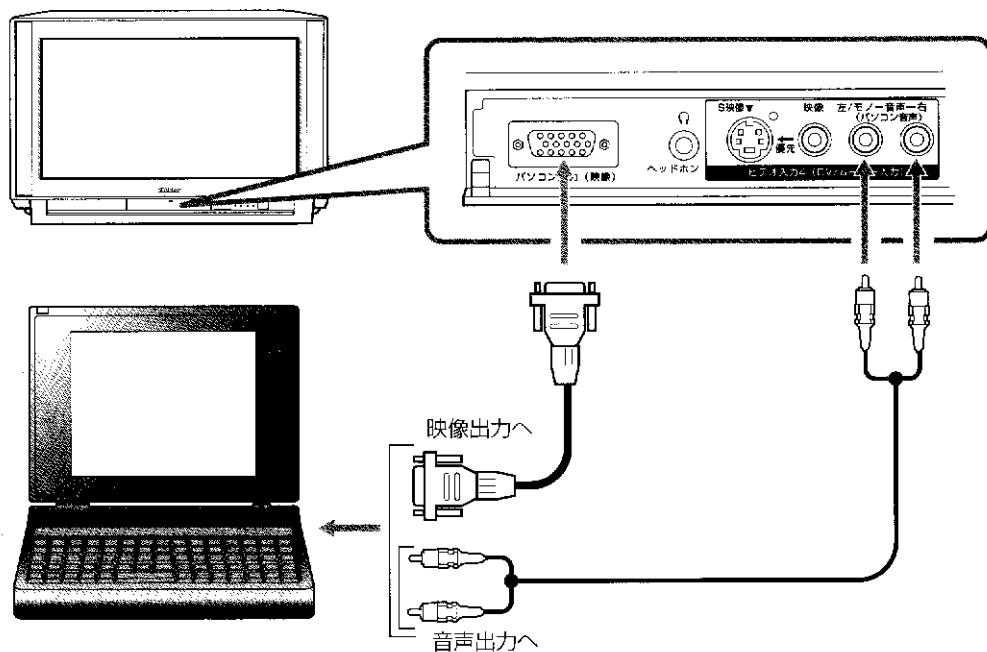
- Windows95などの「プラグアンドプレイ」には対応していません。

本体前面

パソコン入力(映像)

ヘッドホン

映像出力へ

音声出力へ

VGA

解像度:640 x 480/400/350ドット
水平走査周波数:　31.5 kHz
垂直走査周波数:　60.0/70.0 Hz

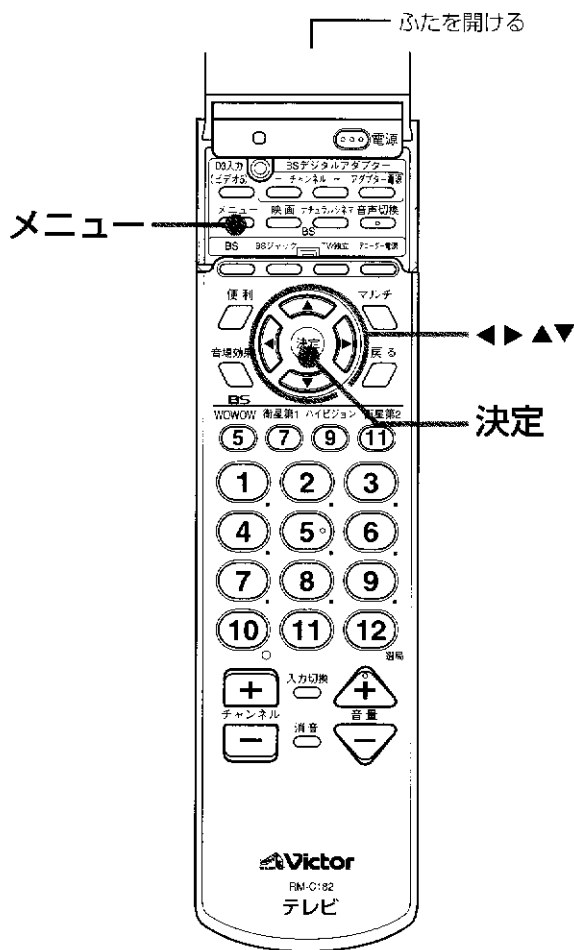
ノートパソコンの映像を見るときは：

入力切換ボタンを押し、「パソコン」を選びます。

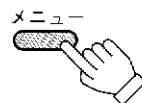
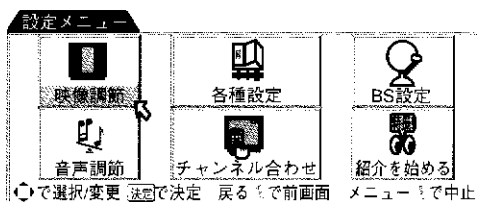
パソコンからの映像を2画面で見ることはできません。1画面でご覧ください。

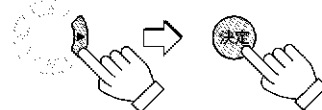
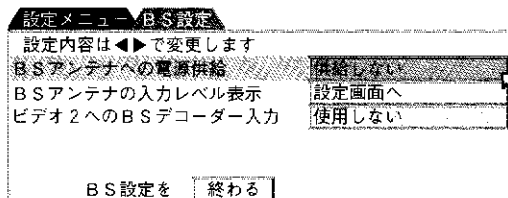
* Windows、Windows95はマイクロソフト社の登録商標です。

映像や音声を再生・録画するために

本機に接続されたビデオデッキやMUSEデコーダー、BSデコーダーを使うために必要な設定を行います。接続がまだお済みでない方は、先に接続を済ませてください(☛P.51～P.66)。

ビデオ2/BSデコーダー入力を設定する

ビデオ2/BS/MUSEデコーダー入力端子に接続した機器に合わせて設定します。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「BS設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

3 矢印を「ビデオ2へのBSデコーダー入力」に合わせる。

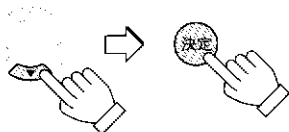
4 設定を変更する

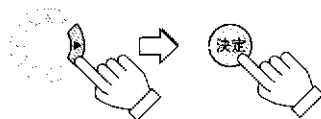
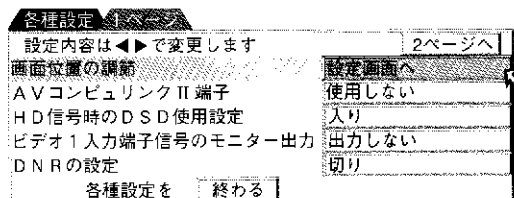
- 「**使用する(自動切換)**」:MUSEデコーダーやBSデコーダーを接続したときに選びます。
- 「**使用する(固定)**」:BSデコーダーで独立音声を選んでもSt. GIGAが聞けないときなど、デコーダー入力として固定したいときに選びます。
- 「**使用しない**」:MUSEデコーダーやBSデコーダー以外の機器を接続したときに選びます。

5 設定が終わったら、「BS設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

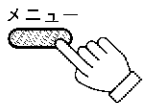
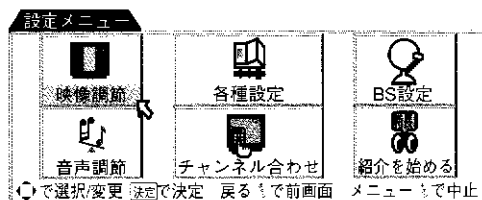
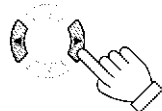
モニター/BS出力端子からのビデオ1出力を設定する

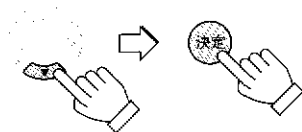
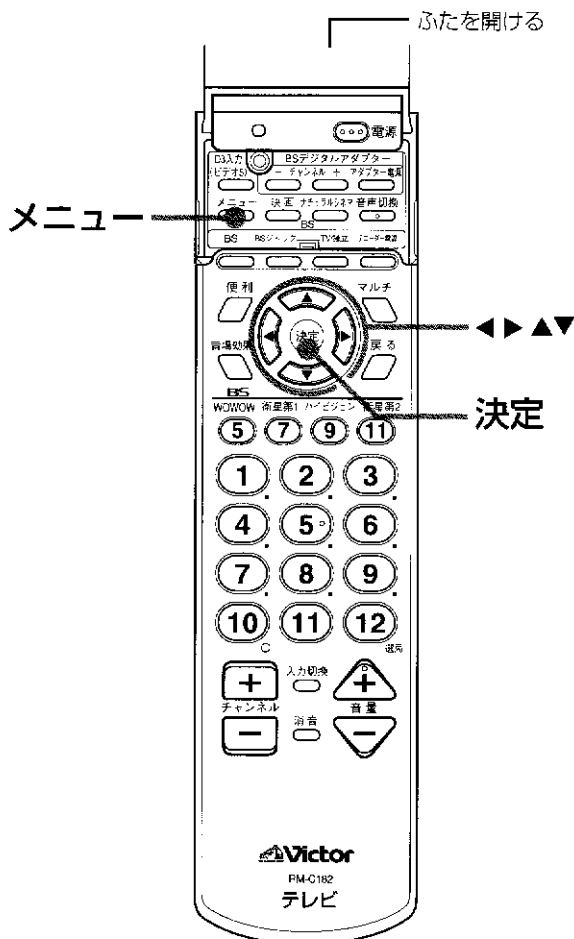
入力として「ビデオ1」が選ばれているときに、ビデオ1の映像をモニター/BS出力端子から出力するか、しないかを設定します。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

- 各種設定画面は全部で2ページあります。

3 矢印を「ビデオ1入力端子信号のモニター出力」に合わせる

4 設定を変更する

- 「**出力する**」:ビデオ1の映像と音声が出力できるようになります。
- 「**出力しない**」:ビデオ1の映像と音声信号ともに出力できません。

5 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

映像のざらつきを抑える

受信する電波が弱く、映像がざらつくときに使う機能です。

通常は「切り」でお使いください。

1 設定メニューを表示する

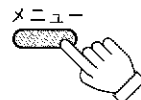
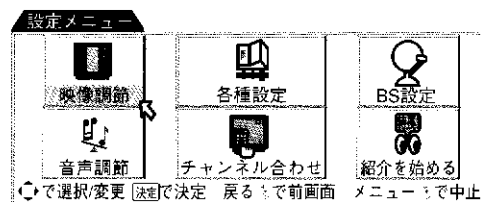
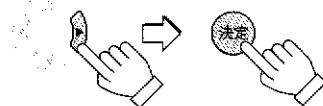
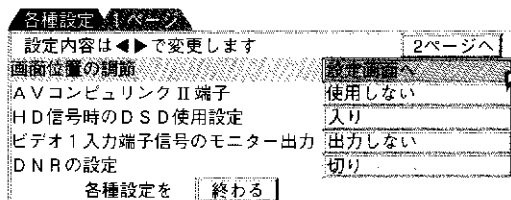
次の画面が表示されます。

2 矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

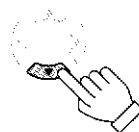
次の画面が表示されます。

各種設定 1ページ

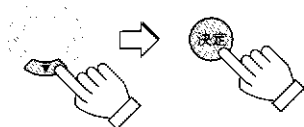
設定内容は◀▶で変更します　2ページへ

画面位置の調節	設定画面へ
AVコンピュリンクⅡ端子	使用しない
HD信号時のDSD使用設定	入り
ビデオ1入力端子信号のモニター出力	出力しない
DNRの設定	切り

各種設定を　終わる

● 各種設定画面は全部で2ページあります。

3 矢印を「DNRの設定」に合わせる

4 設定を変更する

- 「**切り**」：通常は「切り」にします。
- 「**入り**」：受信する信号が弱いときの映像のざらつきを抑えます。

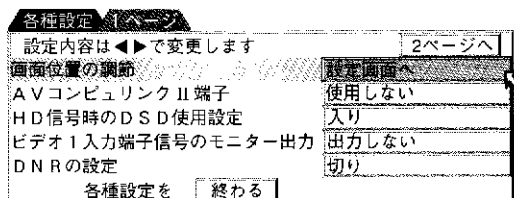
5 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

AVコンピュリンクII機能を設定する

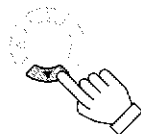
AVコンピュリンクII端子をつないだときに、AVコンピュリンクII機能を使うか、使わないかの設定をします。
AVコンピュリンクII機能を使わないときには、設定を「使用しない」にしてください。節電になります。

1 72ページの手順*1*と*2*を行う

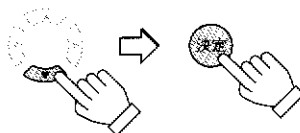
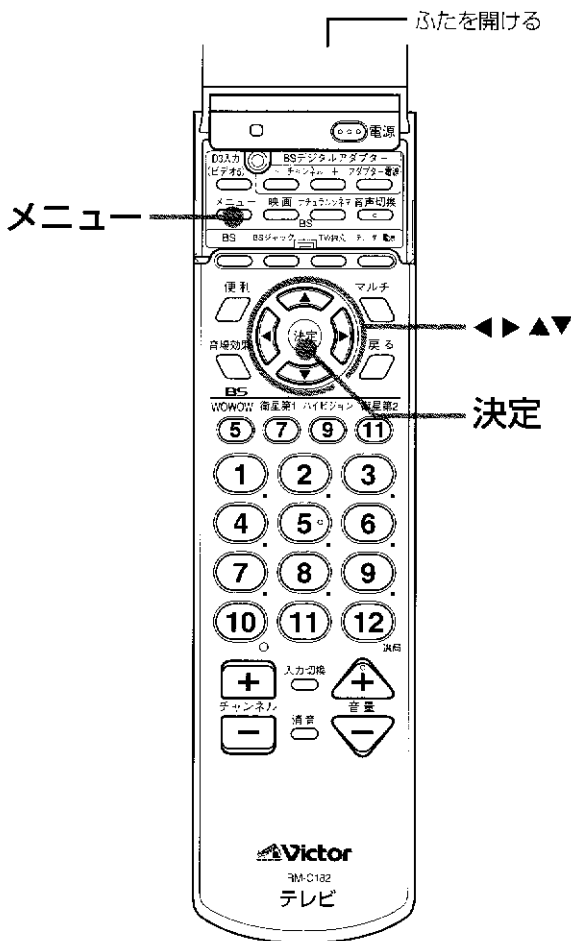
1 **メニュー**ボタンを押し、設定メニューを表示する
2 ►ボタンを押し、矢印を「**各種設定**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す
次の画面が表示されます。

各種設定　1ページ

設定内容は◀▶で変更します	2ページへ
画面位置の調節	設定画面へ
ＡＶコンピュリンクII端子	使用しない
ＨＤ信号時のＤＳＤ使用設定	入り
ビデオ１入力端子信号のモニター出力	出力しない
ＤＮＲの設定	切り
各種設定を	終わる

- 各種設定画面は全部で2ページあります。

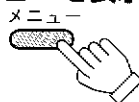
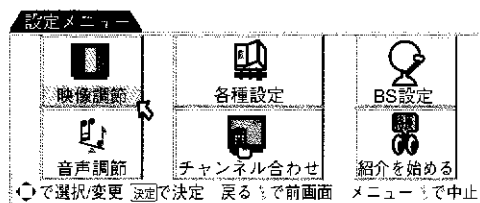
2 矢印を「AVコンピュリンクII端子」に合わせる

3 設定を変更する

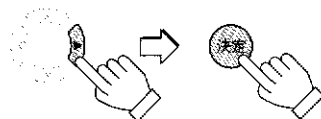
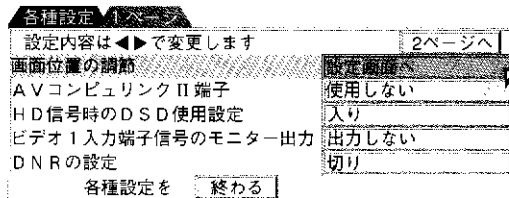
- 「**使用する**」：AVコンピュリンクII機能を使い、ビデオデッキなどと連係した操作ができるようになります。
- 「**使用しない**」：AVコンピュリンクII機能は使えませんが、より節電効果が高まります。

4 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

高画質な映像の輪郭を強調する

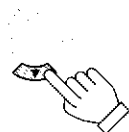
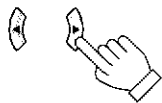
MUSEデコーダーなどの外部機器からの高画質な映像を再生するときに、映像の輪郭を強調するか、どうかを設定します。(DSD:デジタル・スーパー・ディテール)

- この設定は、通常のテレビ放送やビデオの映像に対しては効果がありません。
- 映像選択で「シアター」が選択されているときにだけ設定できます。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

- 各種設定画面は全部で2ページあります。

3 矢印を「HD信号時のDSD使用設定」に合わせる

4 設定を変更する

- **「入り」**:DSD機能を「入り」にします。
  MUSEデコーダーなどの外部機器からの高画質な映像を再生するときに、映像の輪郭を強調します。
- **「切り」**:DSD機能を「切り」にします。

5 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

オートパノラマでふつうの映像を見るときの画面サイズを設定する

オートパノラマのとき、従来のテレビ番組(画面サイズ4:3)を画面いっぱいに拡大して映すか、そのままのサイズで映すかを設定します。

1 74ページの手順*1*と*2*を行う

1. **メニュー**ボタンを押し、設定メニューを表示する
2. ►ボタンを押し、矢印を**「各種設定」**に合わせてから、**決定**ボタンを押す
   次の画面が表示されます。

各種設定 1ページ

設定内容は◀▶で変更します	2ページへ
画面位置の調節	設定画面へ
AVコンピュリンクII端子	使用しない
HD信号時のDSD使用設定	入り
ビデオ1入力端子信号のモニター出力	出力しない
DNRの設定	切り
各種設定を 終わる	

- 各種設定画面は全部で2ページあります。

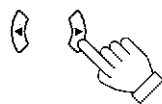
2 矢印を「2ページへ」に合わせて、決定ボタンを押す

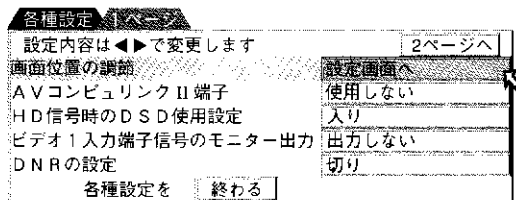
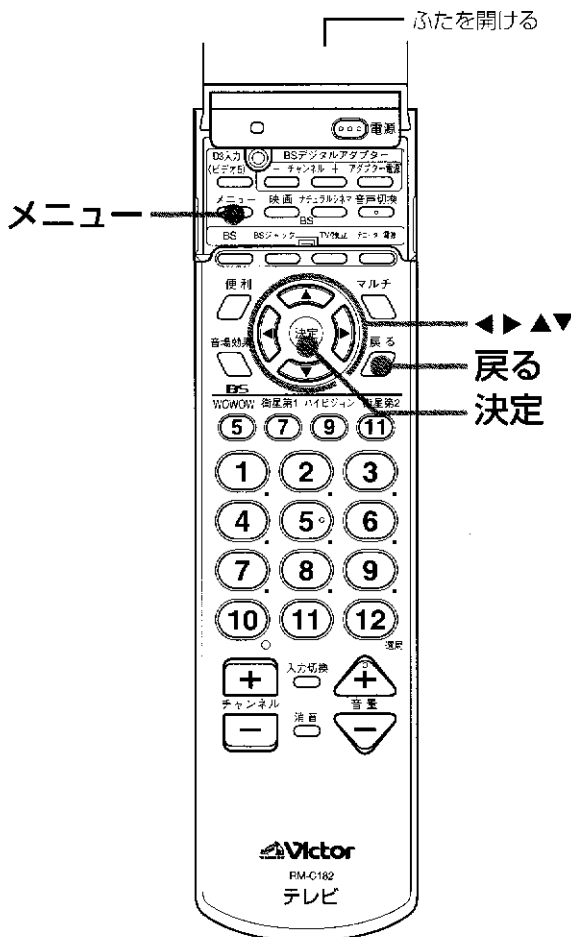
次の画面が表示されます。

各種設定 2ページ

設定内容は◀▶で変更します	1ページへ
E.E.センサーの効果表示	表示する
GRT(ゴースト低減)時間設定	標準
テレビ消し忘れ防止設定	設定する
オートパノラマ動作時の画面	パノラマ画面
地磁気補正	設定画面へ
各種設定を 終わる	

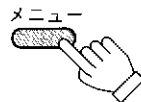
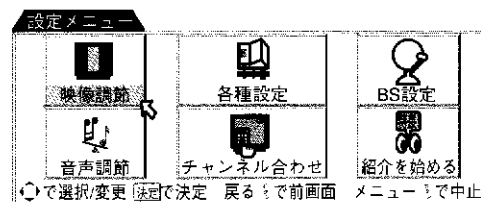
3 矢印を「オートパノラマ動作時の画面」に合わせる

4 設定を変更する

- **「パノラマ画面」**:画面いっぱいの映像になる。
- **「ノーマル画面 4:3画面」**:従来の4:3の映像になる。

5 設定が終わったら、矢印を「各種設定を『終わる』」に合わせて、決定ボタンを押す

シアタープロの設定を変更する

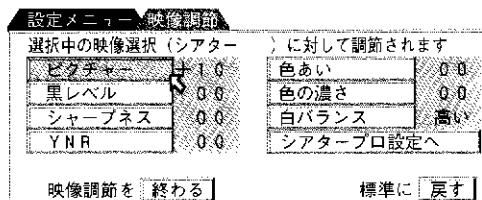
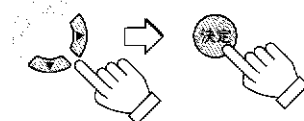
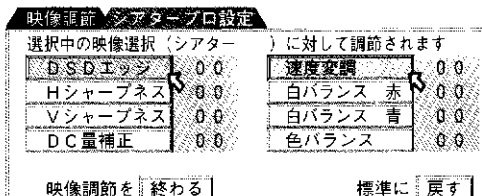
映像設定の「シアター」を選んでいるときは、「より微妙で繊細な映像調節ができるようになります。

1 設定メニューを表示する

映像設定の「シアター」を選択中に

次の画面が表示されます。

2 矢印が「映像調節」に合っていることを確認して、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

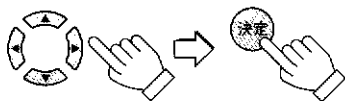
3 矢印を「シアタープロ設定へ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

映像調節 シアタープロ設定			
選択中の映像選択（シアター		）に対して調節されます	
DSDエッジ	00	速度変調	00
Hシャープネス	00	白バランス　赤	00
Vシャープネス	00	白バランス　青	00
DC量補正	00	色バランス	00
映像調節を 終わる		標準に 戻す	

ワンポイント

- シアタープロの設定(調節)は、標準(お買い上げ時の状態)のままで、十分高画質をお楽しみいただけるようになっています。
- シアタープロの設定(調節)は、映像の微妙な調節を行いたいお客様向けの機能です。微妙な調節を行うため、専門的な内容になっています。
  少しずつ調整値を変更して、変化を確認しながら設定項目の内容を把握されると良いでしょう。

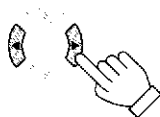
調整をして映像が見にくくなったときは

矢印を「標準に戻す」に合せて決定ボタンを押してください。
お買い上げ時の設定に戻すことができます。(☛P.77)

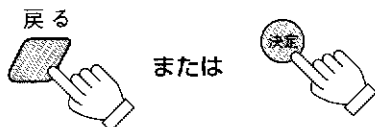
4 矢印を調節したい項目に合わせて、決定ボタンを押す

選んだ項目の調節画面が表示されます。

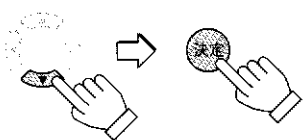
例:「白バランス 青」を選んだとき

例:「DC量補正」を選んだとき

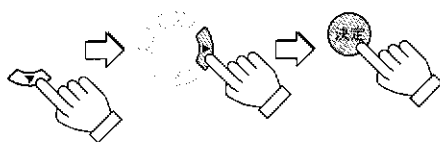
5 調節する

● 数秒間、操作を行わないと、手順**3**の映像調節画面に戻ります。

6 他の項目も調節するときは、映像調節画面に戻る

または

7 手順4から6を繰り返し、他の項目も調節する

8 調節が終わったら、「映像調節を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

映像設定の調節を元に戻すには

手順**4**で、映像調節画面の「標準に『**戻す**』」に矢印を合わせて、**決定**ボタンを押します。

● 標準の設定の戻るのは、「シアタープロ」の変更内容だけです。「シアター」の設定は標準設定には戻りません。

シアタープロの設定項目

● **DSDエッジ:**

文字やイラストなどの輪郭部の明るさの変化を急峻(きゅうしゅん)にして映像の輪郭をきちんと見せる効果があります。設定値を大きくしすぎると、風景などの映像が不自然になることがあります。

(設定値:輪郭をつけない －30・・・+30 輪郭をつける)

● **Hシャープネス、Vシャープネス:**

映像の輪郭部に明るいところはより明るく、暗い部分はより暗い信号を加えて輪郭を強調してはっきりとした映像にします。
調節するときにはHシャープネス、Vシャープネスを交互に調節します。数値を大きくしすぎると、加えた信号が目立ち不自然な映像になることがあります。

(設定値:輪郭を強調しない －30・・・+30 輪郭を強調する)

● **DC量補正:**

全体に明るい画面のとき、あるいは全体に暗い画面のときの黒の再現性を補正します。
「黒レベル」調節で画面を明るくすると、本来黒い部分が白っぽく感じたり、その反対に、暗くすると黒い部分がつぶれ気味になり見にくくなる場合があります。そのようなときには黒の再現性を調節してバランスをとってください。

(設定値:黒味を増やす －30・・・+30 黒味を減らす)

● **速度変調:**

映像の縦線の輪郭強調度合を調節します。
通常は、忠実な映像でご覧いただくために、設定は「0」のままでお使いください。
忠実な映像では、シャッキリ感が不足していると感じたときに、ほんのちょっと補正してください。

(設定値:補正しない 0・・・+15 補正する)

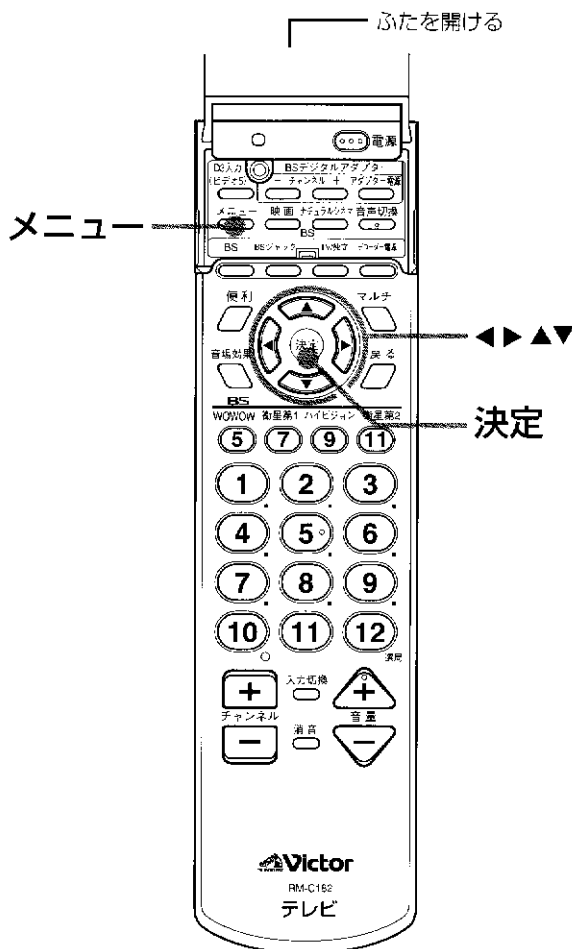
● **白バランス 赤、 白バランス 青:**

映像の基準となる白をより白く見えるように調節する項目です。
調節するときには「白バランス赤」と「白バランス青」を交互に調節して、白が白らしく見えるように調節します。

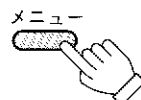
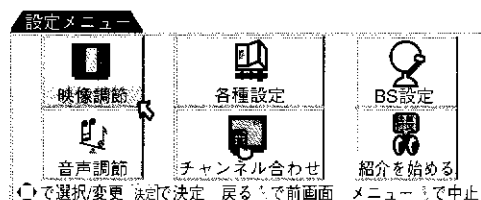
(設定値:赤みをつけない －30・・・+30 赤みをつける)
(設定値:青みをつけない －30・・・+30 青みをつける)

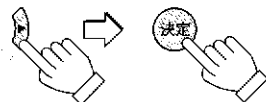
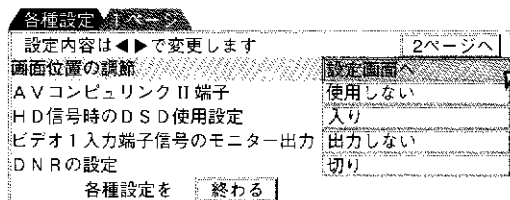
● **色バランス:**

肌色の調節をしたあと、他の色のバランスを整えるときに使います。
映像調節の「色合い」で肌色を調節すると他の色もわずかに変化してしまいます。(例:肌色を調節したら、緑の葉が少し黄色味がかった葉になってしまった。)このようなとき、お好みに調節した肌色はそのままに、青みだけを変化させることができます肌色以外の色が自然な色になるように調節してください。

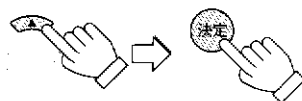
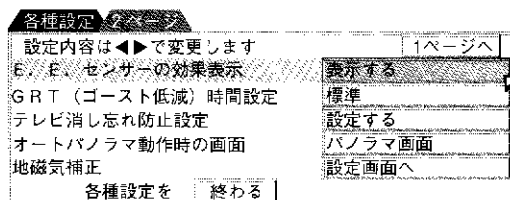
(設定値:青みを弱くする －5・・・+5 青みを強くする)

E.E.センサーの効果を表示する

E.E.センサーが「入り」になっているときに、E.E.センサーの効果のかかり具合をテレビ画面に表示することができます。

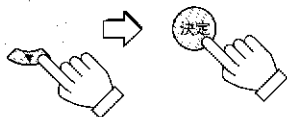
1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

● 各種設定画面は全部で2ページあります。

3 矢印を「2ページへ」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

4 矢印が「E.E.センサーの効果表示」に合っていることを確認してから、設定を変更する

- 「**表示する**」:部屋の明るさが変化したときに、E.E.センサーの効果のレベルがハートのマークでテレビ画面に表示されます。
- 「**表示しない**」:E.E.センサーの効果のレベルを表示しないときに選びます。

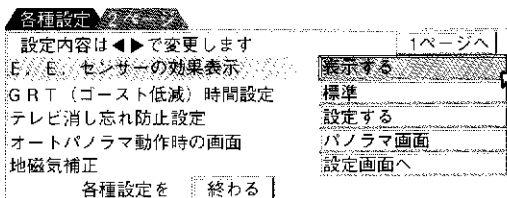
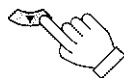
5 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

ゴースト低減後の映像を表示するタイミングを指定する*

チャンネル切換直後はゴースト低減処理が行われるため映像が不安定になることがあります。この不安定な処理中の映像を画面にリアルタイムに表示させるか、あるいは、ある程度ゴースト低減処理を終えてから画面に表示させるかを指定することができます。

1 78ページの手順*1*から*3*を行う

1 **メニュー**ボタンを押し、設定メニューを表示する
2 ►ボタンを押し、矢印を「**各種設定**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す
3 ▲ボタンを押し、矢印を「**2ページへ**」に合わせてから、**決定**ボタンを押す

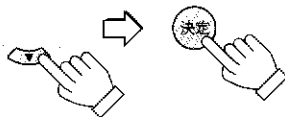
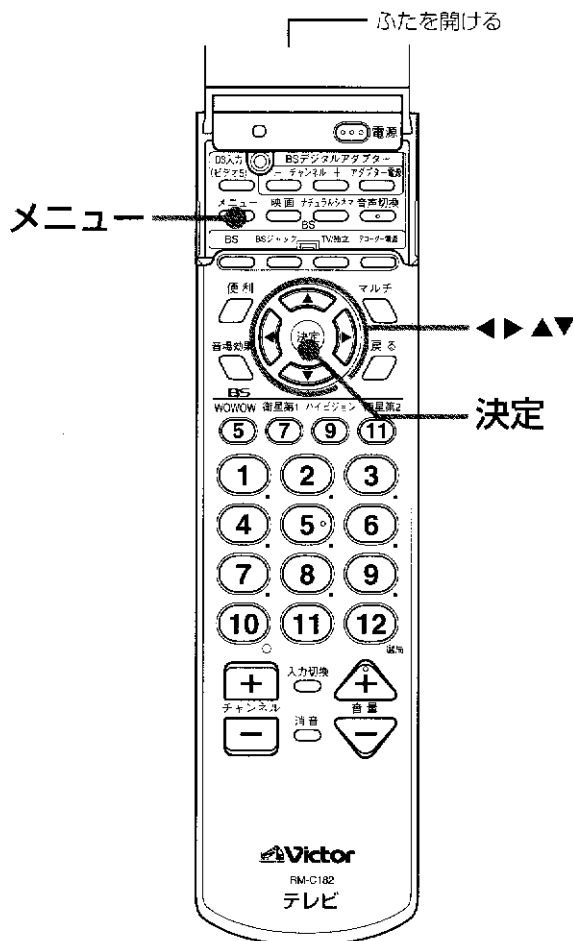
各種設定 2ページ

設定内容は◀▶で変更します	1ページへ
E.E.センサーの効果表示	表示する
GRT(ゴースト低減)時間設定	標準
テレビ消し忘れ防止設定	設定する
オートパノラマ動作時の画面	パノラマ画面
地磁気補正	設定画面へ
各種設定を 終わる	

2 矢印を「GRT(ゴースト低減)時間設定」に合わせる

3 設定を変更する

- 「**標準**」:通常は「標準」を選んでください。
- 「**短い**」:ゴースト低減効果が現れるのが遅いと感じる場合や、効果を確認しながらテレビをご覧になりたい場合に選んでください。

4 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

(* 裏表紙の「ゴースト低減機能とは?」をご覧ください。)

> **お願い**
>
> **テレビは地磁気の影響を受けています**
>
> 画面の映像が右上がりになったり、左上がりなったりすることがありますが、これは地磁気による影響で故障ではありません。
>
> ● 特に、画面の大きなテレビは地磁気の影響を受けやすくなります。
>
> また、近くに高圧線があったり、鉄骨の建物の中にテレビを設置したりしたときなども、地磁気の影響を受けて、映像に色むらがでたり、映像が揺れることがあります。テレビを設置するときは、場所や向きを変えてみて、いちばん影響の少なくなるところに設置してください。

地磁気による影響を少なくする

(AV-32MP900のみ)

大型テレビは地球による磁気の影響を受けやすくなっています。初めて本機を設置したときや、引っ越しなどで本機を移動したときは、地磁気による影響をなるべく少なくしてからお使いください。よりきれいな、色むらの少ない映像をご覧いただけます。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「各種設定」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

各種設定 1ページ

設定内容は◀▶で変更します　2ページへ

画面位置の調節	設定画面へ
AVコンピュリンクII端子	使用しない
HD信号時のDSD使用設定	入り
ビデオ1入力端子信号のモニター出力	出力しない
DNRの設定	切り

各種設定を　終わる

● 各種設定画面は全部で2ページあります。

3 矢印を「2ページへ」に合わせて、決定ボタンを押す

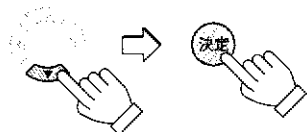
次の画面が表示されます。

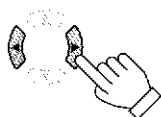
各種設定 2ページ

設定内容は◀▶で変更します　1ページへ

E. E. センサーの効果表示	表示する
GRT(ゴースト低減)時間設定	標準
テレビ消し忘れ防止設定	設定する
オートパノラマ動作時の画面	パノラマ画面
地磁気補正	設定画面へ

各種設定を　終わる

4 矢印を「地磁気補正」に合わせて、決定ボタンを押す

次の画面が表示されます。

5 テレビ画面を見ながら調節する

● テレビ画面の四隅が同じくらいの白さになるように調節します。

6 決定ボタンを押し、調節を終了する

ふたたび、手順3の画面に戻ります。

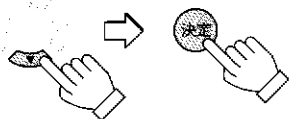
7 設定が終わったら、「各種設定を『終わる』」に矢印を合わせて、決定ボタンを押す

映像バランスを調整する

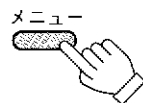
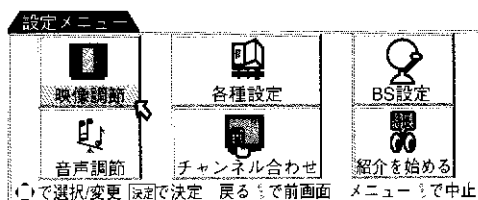
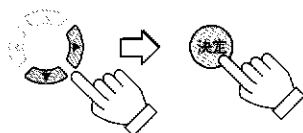
地磁気の影響で映像が左右に傾いているときに、水平になるように調整します。

本体前面のドアの中

映像バランス調整スイッチをスライドします。

● 「左上」:右上がりに傾いた映像を補正します。
● 「切」:通常はこの位置に合せておきます。
● 「右上」:左上がりに傾いた映像を補正します。

本機の特長を知るには

デモ機能を使えば、本機に内蔵している主な機能を一覧することができます。

1 設定メニューを表示する

次の画面が表示されます。

2 矢印を「紹介を始める」に合わせて、決定ボタンを押す

本機に内蔵されている主な機能の紹介が始まります。

● 機能を紹介中は「…(機能名)を紹介しています。中止するには、紹介を始めるを選んでください。」というメッセージが表示されます。

デモを中止するには

もう1度、上の手順**1**と**2**を繰り返します。
「紹介を中止しました。」というメッセージが表示されます。

故障かな？と思ったらまず確かめて

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対処（参照ページ）

電源が入らない

- 電源プラグがはずれていませんか。（☛P.8）
- 本体の電源ランプは点灯していますか。点灯していない場合は、まず本体の電源ボタンを押し電源ランプを点灯させてください。電源ランプが点灯していれば、リモコン側の電源ボタンで電源を入れられます。

リモコンで操作できない

- 本体の電源ランプが赤く点灯していますか。点灯していなければ、本体の電源ボタンを押してください。（☛P.14）
- リモコンのボタンを押したときに、リモコン上部の操作ランプが暗かったり、点滅しなければ、電池の消耗が考えられます。電池を交換してください。（☛P.8）

正常に動作しない

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなったときは、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

VHF/UHFが映らない

- アンテナは正しく接続されていますか。（☛P.34）
- チャンネル合わせは済んでいますか。（☛P.36）

CATVが映らない

- 受信契約はお済みですか。
- ケーブルは正しく接続されていますか。
- チャンネル＋／－ボタンで選べないときは、「＋－ボタン選局」の設定を「見る」にしてください。（☛P.39、43）

BSが映らない

- BSアンテナは正しく接続されていますか。（☛P.44）
- BSアンテナの向きが変わっていませんか。（☛P.47）
- コンバーターに電源が供給されていますか。（☛P.46）

症状	原因と対処（参照ページ）

BS有料放送が映らない

- BSデコーダーは正しく接続されていますか。（☛P.55、58、61）
- BSデコーダーの電源は入っていますか。（☛P.55、59、61）
- 設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」は「使用する（自動切換）」または「使用する（固定）」になっていますか。（☛P.70）

「D3入力」が選べない

- 本機後面のD3入力端子に何も接続されていないときは、「D3入力」は選べません。

色が出ない、おかしい

- 色あいや色の濃さの調節がズレていませんか。映像調節をやり直してください。（☛P.28）
- 受信周波数がズレていませんか。設定メニューの「チャンネル合わせ」で「受像微調整」をしてみてください。（☛P.39、43）

音が出ない

- ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか。
- 消音ボタンを押していませんか。（☛P.14）

音声がダブッて聞こえる

- 二重放送の音声が「主＋副音声」になっていませんか。（☛P.30）

音声が切り換えられない

- 設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」を確認してください。各種設定が「使用する（自動切換）」または「使用する（固定）」になっているときは、BSデコーダーでしか音声の切り換えができません。（☛P.70）

チャンネルを選ぶときの動作がおかしい

- CATVのチャンネル選局方式が「数字入力方式」に設定されている場合は、CATV以外のチャンネル選局も2桁入力になります。CATVをご覧にならない場合は、CATVのチャンネル選局方式を「12ボタン方式」にしてください。（☛P.41）

症状	原因と対処(参照ページ)

接続したビデオ機器からの映像、音声が出ない

- ビデオ機器は正しく接続されていますか。(☛P.51～P.66)
- 正しいビデオ入力を選んでいますか。(☛P.15)
- ビデオ機器の電源は入っていますか。

突然電源が切れた

- オフタイマーを設定していませんか。(☛P.15)
- 放送終了後に電源が切れたときは、無信号電源オートオフ機能が働いたためです。(☛P.22)
- テレビ消し忘れ防止を設定していませんか。(☛P.24)

画面表示が消えない

- ビデオ機器の映像が映っていますか。受信できるチャンネルを選んでいますか。入力信号がないときは強制的に表示され、消すことはできません。

BSチャンネルが選べない

- BSジャックランプがオレンジ色に点灯していませんか。
  BSジャックが「入り(BS固定)」のときは切り換えられません。録画が終わってからBSジャックを解除してください。

パソコンの映像が映らない

- 接続ケーブルは正しく接続されていますか。(☛P.69)
- パソコンのディスプレイ表示の設定は正しいですか。640x480ドットのVGAに設定してください。

映像が2重・3重になる(ゴースト)

- チャンネル設定で「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしましたか。(☛P.39、43)
  ただし、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にしても、ゴーストを完全に消すことはできません。

このようなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。色付きが消えるまでには少し時間がかかる場合があります。色付きが起こる場合は、ピクチャーの設定を10程度下げることで色付きを軽減できます。(☛P.28)
- 部屋の温度変化により、テレビから「ミシッ」という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。
- 磁石やスピーカーやブースターなどを近づけたとき、画面が揺れたり色むらが出ることがあります。これは磁気の影響を受けているためで故障ではありません。
- ワイドテレビは、地磁気の影響を受けやすいため、画面の映像が右下がりあるいは左下がりに傾くことがあります。これは、故障ではありません。

以下のようなときは、アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられなこともあります。

雪が降っているような画面になる(スノーノイズ)・雑音が出る

- アンテナは正しく接続されていますか。
- 屋外のアンテナ線が切れたり、はずれたりしていませんか。
- アンテナの向きが変わっていたり、壊れていたりしていませんか。

画面にはん点が出る・雑音が出る(妨害)

- ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。

画面にしま模様が出る・雑音が出る(混信)

- 無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。

こんなメッセージが表示されたら

次のようなメッセージが表示されたときは、操作を中止するか、画面の指示にしたがって機能を解除してからもう1度操作してください。

メッセージ	原因
ノーマル画面サイズに対して、位置調節はできません。	画面サイズが「ノーマル」のときに、画面位置の調節をしようとしたため。
CATV選局方式が12ボタンのため設定できません。	CATV選局方式が12ボタン方式のときに、CATVチャンネルの設定を変更しようとしたため。
ヘッドホン音声に対して、この操作はできません。	ヘッドホンから出る音に対して、音声切り換えや音場効果を使おうとしたため。
ビデオ2入力になっていますので、この設定はできません。	「ビデオ2」入力を選択時に、設定メニューの「ビデオ2へのBSデコーダー入力」の設定をしようとしたため。
BS放送にしてから、この設定を選んでください。	BS放送以外を見ているときに、次の操作をしようとしたため。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぼうとした。 ● TV/独立ボタンを押した。 ● BSジャックボタンを押した。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」の設定をしようとした。
BSジャック機能が(入り)になっていますので、この操作はできません。	BSジャックが「入り(BS固定)」のときに、次の操作をしようとしたため。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナの入力レベル表示」を選ぼうとした。 ● 設定メニューの「BS設定」の「ビデオ2へのBSデコーダー入力」の設定をしようとした。 ● 設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」の設定をしようとした。 ● TV／独立ボタンを押した。
BSアンテナに不具合があります。 BSアンテナ、コード、端子などを調べてください。	設定メニューの「BS設定」の「BSアンテナへの電源供給」が正しく設定されていないか、BSアンテナのケーブルがショートしているため。「BSアンテナへの電源供給」(☛P.46)を変更しても、まだこのメッセージが表示されるときは、販売店にご相談ください。
Bモード音声中です。	BS放送の音声がBモードのときに、TV/独立ボタンを押したため。
デコーダーで設定してください。	WOWOWを見ているときに、音声切換ボタンを押したため。
現在のモードではこの操作はできません。	次のようなときに、次の操作をしようとしたため。 ● ビデオやパソコンを見ているときに、音声切換ボタンを押したため。 ● 1画面表示のときに、画面入換ボタンを押したため。 ● 映像選択で「シアター」を選んでいるときに、「シャープネス」の調節をしようとしたため。

メッセージ	原因
無操作のためまもなく電源が切れます。 続けて見る場合は音量ボタンを押してください。	何も操作しない状態が約3時間続き、テレビ消し忘れ防止機能が働いたため。
無信号のためまもなく電源が切れます。	放送が終了したときなど、画面に映像が映っていない状態が続き、無信号電源オートオフ機能が働いたため。
BS放送を2つ以上映すことはできません。	2画面、裏番組で2つの画面にBS放送を映そうとしたため。
2画面のとき、同じチャンネルを映すことはできません。	2画面のときに、左右の画面に同じテレビ放送(VHF/UHF/CATV)を映そうとしたため。
2画面のとき、同じビデオ入力を映すことはできません。	2画面のときに、左右の画面に同じビデオデッキからの映像を映そうとしたため。
マルチ画面のとき、この操作はできません。	2画面、裏番組、番組一覧中に、次の操作をしようとしたため。 ● 画面サイズを変えようとしたため。 ● ナチュラルシネマボタンを押し、設定を「入り」にしようとしたため。
静止画中のため、この操作はできません。	静止画中に、操作画面を切り換えようとしたため。
パソコンモードのため、この操作はできません。	パソコンの映像を見ているときに、マルチボタンを押したため。
D3入力に端子が接続されていません。	本機後面のD3入力端子にD端子ケーブルを接続していない状態で、D3入力を選択しようとしたため。

メニュー階層表

本機のメニューは、次のような階層になっています。

● ここで説明しているメニュー表示は、一例です。映像や選んでいる入力により表示は変わります。

便利メニュー

便利

画面サイズ　映像選択　おトク

17ページ参照

画面サイズ → 画面サイズ選択
- オートパノラマ
- パノラマ
- 字幕パノラマ
- シネマ
- フル
- ノーマル

26ページ参照

映像選択 → 映像選択
- スタンダード
- ダイナミック
- シアター
- ゲーム

22ページ参照

おトク → おトク設定
- すべて設定する
- 設定しない
- 選んで設定する

23ページ参照

すべて設定

次のように設定しました

E．E．センサー	：	入り
無信号電源オートオフ	：	する
ＢＳ電源オートオフ	：	する

23ページ参照

選んで設定の選択

E．E．センサー	入り	切り
無信号電源オートオフ	する	しない
ＢＳ電源オートオフ	する	しない
この設定を	終わる	

マルチメニュー

設定メニュー

メニュー

設定メニュー
映像調節
各種設定
BS設定
音声調節
チャンネル合わせ
紹介を始める
で選択/変更 決定で決定 戻るで前画面 メニューで中止

28ページ参照
映像調節
設定メニュー 映像調節
選択中の映像選択（ダイナミック）に対して調節されます
ピクチャー +10
黒レベル 00
シャープネス 00
YNR 00
色あい 00
色の濃さ 00
白バランス 高い
映像調節を 終わる
標準に 戻す
「シアター」選択中
選択中の映像選択（シアター）に対して調節されます
シアタープロ設定へ

76ページ参照
映像調節 シアタープロ設定
選択中の映像選択（シアター）に対して調節されます
DSDエッジ 00
Hシャープネス 00
Vシャープネス 00
DC量補正 00
速度変調 00
白バランス 赤 00
白バランス 青 00
色バランス 00
映像調節を 終わる
標準に 戻す

音声調節

31ページ参照
設定メニュー 音声調節
BBE 入り 切り
高音 00
低音 00
左右バランス 00
音声調節を 終わる
標準に 戻す

ピクチャー 00
薄く 濃く
黒レベル 00
暗く 明るく
シャープネス 00
やわらか くっきり
YNR 00
色あい 00
赤っぽく 緑っぽく
色の濃さ 00
薄く 濃く
映像調節 白バランス
高い色温度
低い色温度
DSDエッジ 00
Hシャープネス 00
Vシャープネス 00
DC量補正 00
速度変調 00
00 15
白バランス 赤 00
白バランス 青 00
色バランス 00

メニュー階層表(つづき)

37ページ参照

地域チャンネル合わせ

チャンネル合わせ　地域チャンネル合わせ
始めにお住まいの地方を選んでください
北海道
東北
九州　中国　北陸　甲信越
近畿　東海　関東
沖縄　四国

チャンネル合わせ　地域チャンネル合わせ
お住まいの地域または近辺の地域を◀▶で選んでください

みと	ひたち	うつのみや	やいた
まえばし	きりゅう	うらわ	くまがや
ちちぶ	ちば	ちょうし	23区
はちおうじ	たま	よこはま1	よこはま2
ひらつか	はだの	おだわら	

38ページ参照

チャンネル1～12
ボタンの設定変更

チャンネル合わせ　チャンネル1～12ボタンの設定変更
□はリモコンチャンネルボタン　□は見るチャンネルです
変更したいチャンネルボタンを選んでください

1	1	2	14	3	3
4	4	5	16	6	6
7	26	8	8	9	42
10	10	11	46	12	12

この設定を　終わる　　初期設定に戻す

49ページ参照

BSチャンネルボタン
の設定変更

チャンネル合わせ　BSチャンネルボタンの設定変更
設定するチャンネルを選んでから、各項目を合わせてください
設定チャンネル　BS9
画面の表示　ハイビジョン
十一ボタン選局　見る　見ない
この設定を　終わる

チャンネル合わせ　チャンネル1～12ボタンの設定
チャンネルボタン（　3）の設定を変更できます
見るチャンネル　1
画面の表示　1
十一ボタン選局　見る　見ない
GRT（ゴースト低減）　入り　切り
受像微調整　する（調整画面へ）
設定変更を　終わる

41ページ参照

CATVの選局方式
の変更

チャンネル合わせ　CATV選局方式の選択
この設定はCATVを見る方だけの設定です
1～12ボタン方式　（記憶させた1～12ボタンで選ぶ方式）
数字入力方式　（チャンネル番号を直接入力して選ぶ方式）

43ページ参照

CATVチャンネル
の設定変更

→27ページ参照
→73ページ参照
→74ページ参照
→71ページ参照
→72ページ参照

各種設定　2ページ
設定内容は◀▶で変更します　1ページへ

項目	設定	
E．E．センサーの効果表示	表示する	→78ページ参照
GRT（ゴースト低減）時間設定	標準	→79ページ参照
テレビ消し忘れ防止設定	設定する	→24ページ参照
オートパノラマ動作時の画面	パノラマ画面	→75ページ参照
地磁気補正	設定画面へ	→80ページ参照

各種設定を　終わる

BS設定

設定メニュー　ＢＳ設定

設定内容は◀▶で変更します

ＢＳアンテナへの電源供給	供給しない	→46ページ参照
ＢＳアンテナの入力レベル表示	設定画面へ	→47ページ参照
ビデオ２へのＢＳデコーダー入力	使用しない	→70ページ参照

ＢＳ設定を　終わる

デモが始まります（81ページ参照）

ご参考に

地域番号表

リモコンのチャンネル番号

都道府県名	地域番号 地域名（対応都市） 地域番号	1 放送局名 受信チャンネル	2 放送局名 受信チャンネル	3 放送局名 受信チャンネル

放送局名、受信チャンネルは当社の調査によるものです。（1999年3月現在）

	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		放送局名・受信チャンネル											
―	初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌(江別) 001	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽 002		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川 003		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄 004			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内 005		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭 006		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧 007		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館 008		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広 009		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路 010		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走 011	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見 012		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森(弘前) 013	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸 014		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ 015				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12
岩手	盛岡 016				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日放送 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
	釜石 017		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日放送 62	岩手放送 10		NHK教育 12
	二戸 018		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日放送 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台 019	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
	石巻 020	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
	気仙沼 021		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田 022		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
	大館 023				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
	大曲 024		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビユー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビユー山形 22				山形テレビ 39
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビユー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島(郡山) 028		NHK教育 2		テレビユー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
	いわき 029		テレビユー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
	会津若松 030	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビユー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		

お願い

- ご自分のお住まいの地域を選んでも放送が受信できないときは、近県の地域を選んでください。
- 八王子にお住まいの方で、「八王子(043)」で放送が受信できないときは、「23区(042)」に設定してください。
- 横浜市にお住まいの方は、はじめに「横浜2(046)」で設定してください。放送が受信できないときは「横浜1(045)」に設定してください。

	地域番号		放送局名・受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城	水戸(ひたちなか)	031	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
茨城	日立	032	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮	033	NHK総合 29		NHK教育 27	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	とちぎTV 31	テレビ東京 17
栃木	矢板	034	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	とちぎTV 33	テレビ東京 61
群馬	前橋 (伊勢崎・高崎)	035	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
群馬	桐生	036	NHK総合 43		NHK教育 45	日本テレビ 39	群馬テレビ 41	TBS 37	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 33		テレビ東京 31
埼玉	浦和 (三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越)	037	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
埼玉	熊谷	038	NHK総合 33		NHK教育 35	日本テレビ 25		TBS 23		フジテレビ 21		テレビ朝日 19	テレビ埼玉 28	テレビ東京 17
埼玉	秩父	039	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 47	テレビ東京 61
千葉	千葉 (我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代)	040	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
千葉	銚子	041	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区 (昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹)	042	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
東京	八王子	043	NHK総合 51	MXテレビ 47	NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59		テレビ東京 61
東京	多摩	044	NHK総合 30	MXテレビ 28	NHK教育 32	日本テレビ 26		TBS 24		フジテレビ 22		テレビ朝日 20		テレビ東京 18
神奈川	横浜1 (横浜の一部)	045	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
神奈川	横浜2 (横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀)	046	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
神奈川	平塚(茅ヶ崎)	047	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
神奈川	秦野	048	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
神奈川	小田原	049	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	050	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1	051		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
長野	長野2	052		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
長野	松本	053		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
長野	飯田	054			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
長野	岡谷・諏訪	055				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟(長岡)	056			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
新潟	上越	057	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		
富山	富山	058	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
富山	高岡	059	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢(小松)	060		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
石川	七尾	061	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井	062			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
福井	敦賀	063						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12

地域番号表(つづき)

リモコンのチャンネル番号

	地域番号	1	2	3
都道府県名	地域名（対応都市） 地域番号	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

放送局名、受信チャンネルは
当社の調査によるものです。
（1999年3月現在）

	地域番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岐阜	岐阜(大垣)	064	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
岐阜	高山	065		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
岐阜	中津川	066				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡（清水・焼津）	067		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
静岡	浜松	068		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
静岡	富士(富士宮)	069		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
静岡	三島・沼津	070		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
静岡	島田	071	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
静岡	藤枝	072	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）	073	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
愛知	豊橋(豊川)	074	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
愛知	豊田	075	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市）	076	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
三重	伊勢	077	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
三重	名張	078	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	
滋賀	大津	079		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
滋賀	彦根	080		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都(宇治)	081		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
京都	舞鶴	082		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
京都	福知山	083		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）	084		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神戸	085		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 18		朝日放送 20		関西テレビ 22		読売テレビ 24	テレビ大阪 19	NHK教育 26
兵庫	神戸灘	086		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
兵庫	川西	087		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
兵庫	三木	088		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
兵庫	姫路	089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
兵庫	明石(加古川)	090		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良(橿原)	091		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
奈良	五条	092		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山	093		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
和歌山	海南・田辺	094		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥取	095	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松江	096	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
島根	浜田	097		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山(倉敷)	098	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
岡山	津山	099		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
岡山	笠岡	100		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	

	地域番号		放送局名・受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島	101	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
広島	福山	102	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
広島	尾道	103	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
広島	呉	104	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口(徳山・防府)	105	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
山口	下関	106	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
山口	宇部	107	NHK教育 14				山口朝日 31		テレビ山口 20		NHK総合 16	テレビ西日本 10	山口放送 18	
山口	岩国	108	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	109	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	110	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
香川	丸亀	111	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
愛媛	松山	112		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
愛媛	新居浜	113		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
愛媛	今治	114		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
愛媛	宇和島	115	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
高知	高知	116				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	117	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
福岡	久留米	118	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
福岡	大牟田	119	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
福岡	北九州	120		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
福岡	行橋	121		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀	122		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	123	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
長崎	佐世保	124		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
長崎	諫早	125	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
熊本	熊本(八代)	126		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分(別府)	127			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
大分	中津	128			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎(都城)	129						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
宮崎	延岡	130		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	131	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
鹿児島	阿久根	132		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
鹿児島	鹿屋	133		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇(沖縄)	134		NHK総合 2			琉球朝日放送 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことです。

消費電力0W（ゼロワット）機能
テレビ本体の電源ボタンを押し電源を切ると、コンセントから電源プラグを抜いた状態と同じになり、一切電源を消費しません。
節電のために、本機能のご利用をお勧めします。

シネスコサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1:2.35になっているものをこう呼びます。ビスタサイズより横長です。

スクランブル放送
映像・音声の信号を暗号化した放送。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われています。

スーパーオートパノラマ
オートパノラマ機能の呼称です。

独立音声
テレビ画面と関係のない音声だけの放送。

ハイビジョン放送
現行のテレビ放送(NTSC)の約5倍の情報量を持つ高画質の放送方式。

ビスタサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1:1.85になっているものをこう呼びます。

ワイドクリアビジョン放送
画面の縦横比9:16の放送。画面サイズが9:16のテレビでは信号を検出して、自動的に画面サイズを「シネマ」に切り換えます。(画面サイズが3:4のテレビで見ると画面の上下に黒帯が出ます。)

A（エー）モード音声
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

B（ビー）モード音声
BSで送信される音声の種類のひとつ。
音質はCD(コンパクトディスク)と同等です。

BS（ビーエス）デコーダー
BS有料放送(JSB、St.GIGA)のスクランブルを解除する機器。

BS（ビーエス）デジタル放送
2000年に打ち上げが予定されている「BS-4後発機」で行われる放送です。すべてデジタル方式で放送されます。

BS（ビーエス）デジタル受信アダプター
本説明書の中では、「BSデジタルアダプター」という呼び方をしています。
現行のハイビジョンテレビやBS放送受信機でBSデジタル放送を見るときに接続する機器です。

E.E.（イーイー）
Ecology & Economy(目にやさしい省電力)+Electronic Eye(電子の目)
部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的の調節します。

JSB（ジェイエスビー）
日本衛星放送株式会社

MUSE（ミューズ）
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式。

MUSE-NTSC（ミューズ エヌティーエスシー）コンバーター
MUSE信号を現行方式のNTSC信号に変換するための機器。

S（エス）映像信号
映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。

S1（エス）映像信号
S映像信号にMUSE-NTSCコンバーターのフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号。画面サイズが9:16のテレビでは識別信号を検出して自動的に画面サイズを「フル」に切り換えます。

St.GIGA
衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名。WOWOWの独立音声を使って放送しています。

WOWOW（ワウワウ）
JSBが放送する番組の愛称。

索引

アルファベット／数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ご参考に

主な仕様

種類　BSフラットワイドテレビ

受信方式　NTSC

受信チャンネル　VHF 1～12、UHF 13～62
CATV C13～C38
BS1、3、5、7、9、11、13、15

使用電源　AC 100V、50／60Hz

消費電力　AV-28MP900：192W、待機時 0.29W、BS裏録時 22.0W（BSコンバーター最大4Wを除く）
AV-32MP900：194W、待機時 0.29W、BS裏録時 22.0W（BSコンバーター最大4Wを除く）

年間消費電力量　AV-28MP900：233kW·h／年
AV-32MP900：236kW·h／年

画面寸法（幅X高さX対角）
AV-28MP900：28型 57.2 x 32.2 x 65.7 cm
AV-32MP900：32型 65.9 x 37.1 x 75.6 cm

音声出力　10W＋10W

スピーカー　AV-28MP900：28型
8 x 12cm楕円型、 2個
AV-32MP900：32型
低中音用 8 x 12cm楕円型、 2個
高音用　2cm丸型、 2個

アンテナ端子　VHF／UHF：75Ω、F型
BS：　75Ω、F型
（BSコンバーター用電源DC15V4W重畳）

入力／出力端子

ビデオ1（W-VHS音声）、ビデオ2（BSデコーダー）、ビデオ3（DVD音声）、ビデオ4（DV、ムービー）入力端子
S1映像：　Y　1Vp-p、75Ω、同期負
C　0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：　1Vp-p、75Ω、同期負
音声：　0.5Vrms、ハイインピーダンス

D3入力（ビデオ5）端子
映像：　D端子（D3）、1080i·480p·480iに対応
音声：　0.5Vrms、ハイインピーダンス

コンポーネント映像入力
ビデオ1/W-VHS、ビデオ3/DVD
Y　1Vp-p、75Ω、3値同期
PB、PR：±0.35V、75Ω
CB、CR：±0.7V、75Ω
ビデオ2/MUSEデコーダー
Y　1Vp-p、75Ω、3値同期
PB、PR：±0.35V、75Ω

パソコン入力端子
映像：　D-SUB、3列、15ピン
R、G、B映像信号　0.7Vp-p、75Ω
（アナログ）
水平／垂直同期信号　TTL、同期正·負
水平走査周波数：31.5kHz
垂直走査周波数：60.0Hz/70.0Hz
表示ドット数：640 x 480、640 x 400、640 x 350

モニター／BS出力端子
S1映像：　Y　1Vp-p、75Ω、同期負
C　0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：　1Vp-p、75Ω、同期負
音声：　0.5Vrms、ローインピーダンス

オーディオ出力（固定）端子
音声：0.5Vrms、ローインピーダンス

BS/MUSEデコーダー接続
ビットストリーム出力端子：0.5Vp-p、75Ω
検波出力端子：0.67Vp-p、75Ω
AFC入力端子：BTA S-1003に準拠

AVコンピュリンクII端子　直径　3.5 mm、ミニジャック

ヘッドホン端子　直径　3.5 mm、ステレオミニジャック

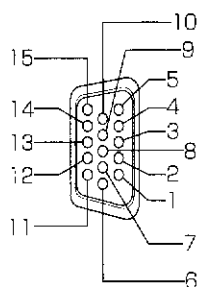
その他

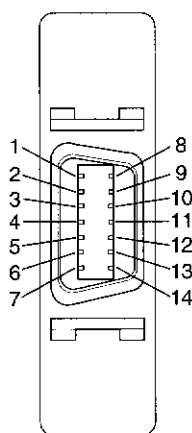
最大外形寸法（幅X高さX奥行）
AV-28MP900：72.5 x 49.5 x 47.9 cm
AV-32MP900：81.7 x 55.0 x 54.9 cm

質量（重さ）　AV-28MP900：　44.0kg
AV-32MP900：　57.0kg

付属品　8ページ参照

別売品　テレビスタンド　28型用：　RK-C28FD1
32型用：　RK-C32FD1
アンテナ混合器　VZ-84

パソコン入力端子(ピン配列)

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Red	9	N/C
2	Green	10	GND (SYNC)
3	Blue	11	GND
4	N/C	12	N/C
5	N/C	13	H.SYNC
6	GND (Red)	14	V.SYNC
7	GND (Green)	15	N/C
8	GND (Blue)		

D端子(ピン配列)

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	Y	8	ライン1
2	Y GND	9	ライン2
3	Pb	10	予備ライン2
4	Pb GND	11	ライン3
5	Pr	12	スイッチ GND
6	Pr GND	13	予備ライン3
7	予備ライン1	14	スイッチ

※ このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※ 仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。
※ テレビの型(32型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
※ 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
※ 年間消費電力量とは、省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での年間視聴時間を基準に算出した、1年間に使用する電力量です。
※ 本機は、マイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、1度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、改めてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
※ AV-28MP900、AV-32MP900は「家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン」に適合しています。

保証書とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし、ブラウン管については2年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は、カラーテレビの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有します。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

修理を依頼になる前に、「故障かな？と思ったらまず確かめて」 (P.82)にしたがって確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または最寄りのご相談窓口にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	ビクターフラットワイドテレビ
型　名	AV-28MP900 または AV-32MP900
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせて
お 名 前	(　　)　－
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店	(　　)　－

ビクター製品のアフターサービスはお買いあげの販売店にご依頼ください

ご贈答品等で保証書に記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●**修理についてのご相談窓口（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）**

所在地、電話番号は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
[illegible]				
北海道	札　幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭　川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北　見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧　路S.C.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯　広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函　館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青　森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八　戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘　前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛　岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水　沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋　田S.C.	(0188)24-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大　館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横　手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙　台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石　巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山　形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒　田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡　山S.C.	(0249)52-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市湊沢町1-5
	福　島S.S.	(0245)53-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
[illegible]				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C. ビクター本郷ビル4F	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	新　潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
[illegible]				
新潟	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長　岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上　越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C. ビクター本郷ビル4F	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	長　野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松　本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C. ビクター本郷ビル4F	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	前　橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C. ビクター本郷ビル4F	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C. ビクター本郷ビル4F	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	土　浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水　戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C. ビクター本郷ビル4F	(0552)27-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	甲　府S.S.	(0552)37-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都道府県	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
		千葉		
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
		東京		
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S.	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9395	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
		埼玉		
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(0485)53-5105	361-0057	行田市城西2-7-39 ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4436	350-1106	川越市小室491-1
		神奈川		
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏S.C.	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
	平塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9 (木村ビル)
	相模原S.C.	(0427)76-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
		静岡		
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町1785
		東海・北陸		
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町 丸之内鵜田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(0592)29-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(0764)25-2397	939-8211	富山市二口町2-11
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	920-0867	金沢市長土塀2-1-27
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-21
		近畿		
滋賀	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(0775)82-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	京都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内中町91
京都北部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	奈良S.C.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明石S.S.	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵庫西部	【サービス関連すべて】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1
		中国		
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-8839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.C.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
		四国		
香川	高松S.C.	(0878)66-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(0886)22-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(0888)82-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(0899)23-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
		九州・沖縄		
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.C.	(0942)33-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-15
		山陰		
島根	山陰ビクター販売（株）サービスセンター（松江・米子担当）	(0852)31-8900	690-0823	松江市西川津町1484-3
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0845	鳥取市千代水1丁目22-1

C699

ゴースト低減機能とは？

ビルなどの高い建物や山などがあるところでは、放送局からの電波がビルや山に反射し、その反射した電波がいろいろな方向から、アンテナを通じてテレビに入ってきます。
この反射した電波の映像を「ゴースト」と呼び、これをテレビが受信すると映像が2重・3重に映ることになります。
このゴーストを低減する機能を、本機では「ゴースト低減(GRT)」機能と呼んでいます。この機能は、放送局から電波に乗って送られてくるGCR(Ghost Cancel Reference)という基準信号をもとにゴーストを低減する働きをします。

ゴースト低減機能を使うには

「地域チャンネル合せ」(☛P.36)でチャンネル設定をすると、自動的に「GRT(ゴースト低減)」が「入り」になります。個別にチャンネル合わせを行った場合は「GRT(ゴースト低減)」を「入り」に設定してください。(☛P.39、43)
「GRT(ゴースト低減)」が「入り」に設定されたチャンネルを選ぶとゴースト低減処理が行われます。

ゴースト低減処理中の映像が見たいとき

「ゴーストの低減後の映像を表示するタイミングを指定する」(☛P.79)をご覧ください。

- 次のようなときは、ゴースト低減機能は働きません。
  - 放送局からGCR信号が送られてきていないとき(平成11年4月現在、群馬テレビ、琵琶湖放送、BS放送、CS放送や、ほとんどのCATV放送は、GCR信号を送っていません。)
  - 常に違った方向からゴーストが入ってくるときや、ゴーストの電波が強いとき
  - アンテナの向きが正しくないとき(アンテナは、最も強い電波がくる方向に向けます。)
  - ビデオデッキに内蔵のテレビチューナーで受信している放送を見ているとき
- チャンネルを変えたすぐ後は、一時的にゴーストが増えることがあります。

お願い

- 次のようなときは、ゴースト低減機能を使わないでください。
  - 受信する電波の弱い放送局に対して、「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にすると、逆に新たなゴーストが発生することがあります。
  - 「GRT(ゴースト低減)」を「入り」にすると、逆に見苦しい映像になってしまうことがあります。
  - ビデオデッキのアンテナ出力(RF出力)を1chまたは2chにして、テレビと接続している場合は、「GRT(ゴースト低減)」を「切り」にしてください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
98～99ページをご覧ください。	東京 ☎ (03) 5684−9311 [代表] 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル 大阪 ☎ (06) 6765−4161 [代表] 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

愛情点検 ●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

日本ビクター株式会社
テレビ事業部
〒306-0698 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話 (0297) 35-0066

LCT0389-001D
0200-TN-M-NI